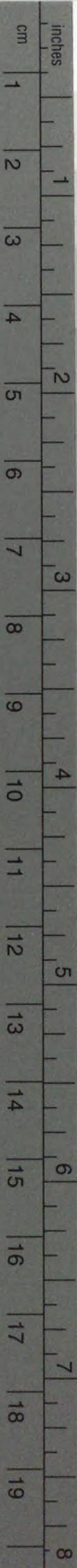


# Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



# Kodak Color Control Patches

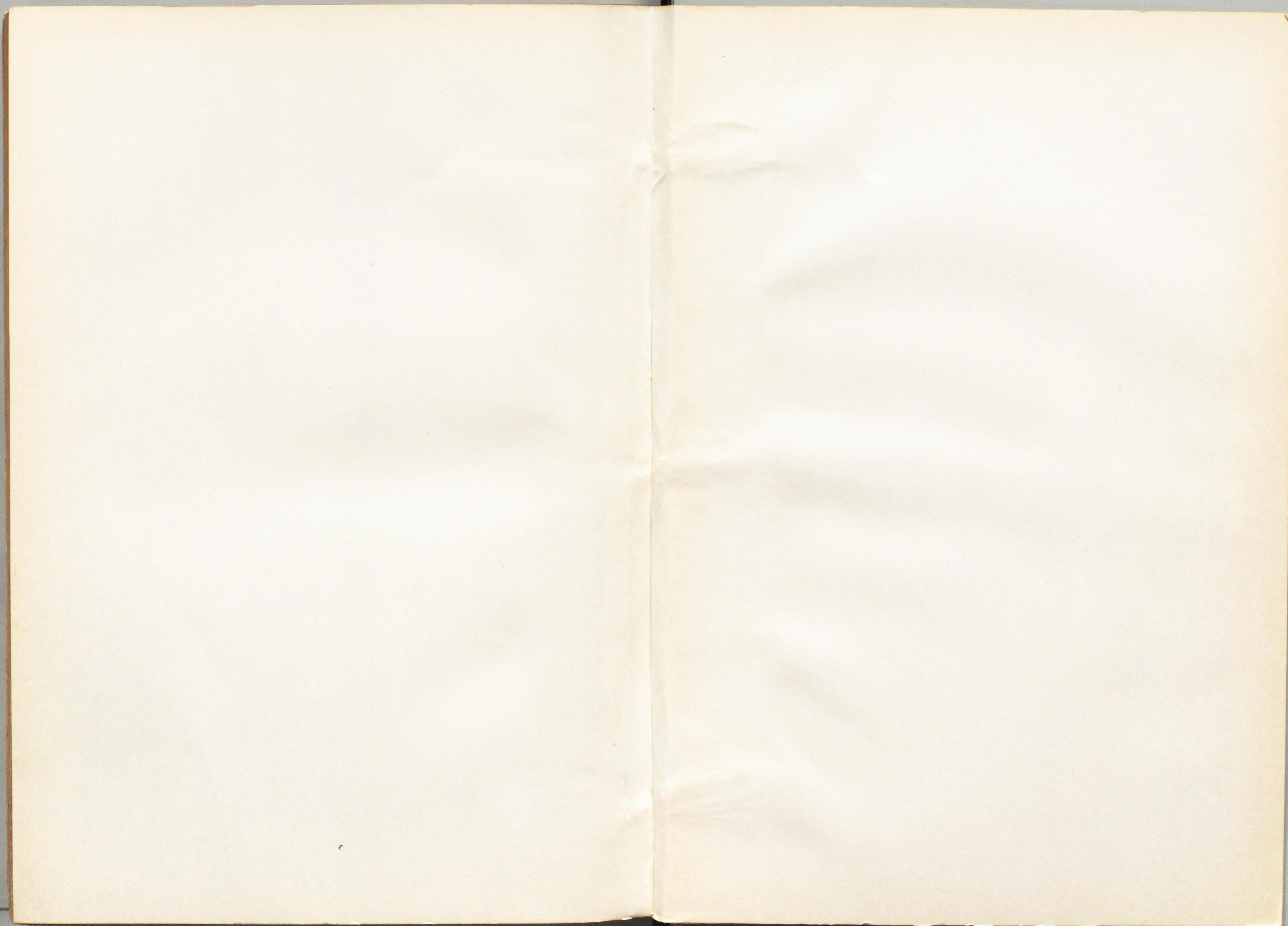
© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue	Cyan	Green	Yellow	Red	Magenta	White	3/Color	Black
0	1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	32	33	34	35
36	37	38	39	40	41	42	43	44
45	46	47	48	49	50	51	52	53



CZ  
431  
65  
  
79W54320







シシ3M17

昭和十四年三月

肥料關係法規

農林省農務局





肥料關係法規



農林省農務局

CZ  
431  
65



328.613  
(613.4)

79W54320



目次

一、肥料取締法

(一) 肥料取締法施行期日ニ關スル件

(二) 肥料取締法施行規則

(三) 肥料依頼検査規則

(四) 肥料依頼検査手數料令

(五) 肥料検査上分析鑑定請求心得

二、重要肥料業統制法

(一) 肥料製造業組合令

民法中準用條文

非訟事件手續法中準用條文

(二) 重要肥料業統制法施行規則

(三) 重要肥料業委員會官制

一  
四  
五  
一四  
一九  
一九  
二〇  
二六  
三五  
四六  
五七



(四) 硫酸アンモニア輸出入許可規則…………… 二

附

○硫安肥料製造業組合定款…………… 六

○石灰窒素肥料製造業組合定款…………… 七

○過磷酸肥料製造業組合定款…………… 九

三、臨時肥料配給統制法…………… 一〇六

(一) 臨時肥料配給統制法施行期日ノ件…………… 一〇八

(二) 臨時肥料配給統制法施行令…………… 一〇八

(三) 臨時肥料配給統制法施行規則…………… 一一

(四) 粗製加里鹽類ノ輸入及販賣ニ關スル件…………… 一四

(五) 臨時配合肥料ニ關スル件…………… 一五

四、硫酸アンモニア増産及配給統制法…………… 一二七

(一) 硫酸アンモニア増産及配給統制法施行期日ノ件…………… 一三五

(二) 硫酸アンモニア増産及配給統制法施行令…………… 一三五

(三) 硫酸アンモニア増産及配給統制法施行規則…………… 一三七

附

○日本硫安株式會社定款…………… 一三七

五、肥料改善獎勵ニ關スル規則及通牒…………… 一四〇

(一) 肥料改良獎勵規則…………… 一四〇

(イ) 肥料改良獎勵規則施行ニ關スル件…………… 一四〇

(ロ) 施肥標準調査施行方法ニ關スル件…………… 一五〇

(ハ) 施肥標準調査獎勵ニ關スル件…………… 一五五

(ニ) 肥料改良獎勵事業成績報告ニ關スル件…………… 一五五

(二) 肥料配給改善助成規則…………… 一六三

(イ) 肥料ノ配給改善助成ニ關スル件…………… 一六三

(ロ) 肥料配給改善助成金交付ニ關スル件…………… 一七〇

(ハ) 肥料配給改善助成規則ニ關スル様式…………… 一七二

(三) 自給肥料改良増産及施用改善獎勵ニ關スル件…………… 一七四

自給肥料改良増産及施用改善並施肥標準調査獎勵ニ關スル件…………… 一八九

(四) 肥料改善獎勵ニ關スル件…………… 一九二



六、硫酸アンモニア配給豫備貯藏規則……………三〇一

(五) 肥料消費調整ニ關スル件……………三〇二

附 錄

(A) 朝鮮ノ部

一、朝鮮肥料取締令……………二〇七

(一) 朝鮮肥料取締令施行期日ニ關スル件……………二〇八

(二) 朝鮮肥料取締令施行規則……………二〇八

二、朝鮮重要肥料業統制令……………二一六

(一) 朝鮮重要肥料業統制令施行期日ニ關スル件……………二二一

(二) 朝鮮重要肥料業統制令施行規則……………二二二

(三) 硫酸アンモニア輸出入許可規則……………二二六

三、朝鮮臨時肥料配給統制令……………二三三

(一) 朝鮮臨時肥料配給統制令施行期日ノ件……………二三三

(二) 臨時肥料配給統制令第二條第二項ノ證票ノ件……………二三三

(B) 臺灣ノ部

一、肥料取締法ヲ臺灣ニ施行スルノ件……………二三五

(一) 臺灣肥料取締法施行期日ニ關スル件……………二三五

(二) 臺灣肥料取締法施行規則……………二三六

二、重要肥料輸出入制限ニ關スル件……………二四六

(一) 昭和十二年律令第十二號ノ肥料ノ種類ニ關スル件……………二四七

(二) 臺灣硫酸アンモニア輸出入許可規則……………二四七



# 一、肥料取締法

(明治三十二年四月五日法律第九十七號  
明治四十一年四月十二日法律第五十一號改正)

第一條 本法ニ於テ肥料ト稱スルハ植物ノ營養ニ供用スル物料ヲ謂フ

第二條 肥料ノ製造、輸入、移入又ハ賣買ヲ營業ト爲サムトスル者ハ地方長官ノ免許ヲ受クヘシ

肥料ノ調合又ハ製造業ニ伴フ肥料ト爲ルヘキ副産物ノ産出ハ之ヲ肥料ノ製造ト看做ス

前項ノ製造業及副産物ハ主務大臣之ヲ指定ス

第三條 前條第一項ノ免許願書ニハ製造者ニ在リテハ製造場ノ位置、製造及藏置ニ關スル設備、肥料ノ名稱及製造方法ヲ、輸入者、移入者又ハ賣買者ニ在リテハ肥料ノ名稱及營業所ノ位置ヲ記載ス

前項ニ依リ願書ニ記載シタル事項ヲ變更セムトスルトキハ地方官ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 肥料營業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ肥料ニ保證票ヲ添附スヘシ

第五條 當該官吏ハ肥料營業者、運送業者又ハ倉庫業者ノ店舗、倉庫、工場、船車等ニ臨檢シ物品及帳簿其ノ他ノ書類ニ就キ検査ヲ爲シ必要ナル分量ニ限り無償ニテ肥料又ハ製造原料ヲ收去スルコトヲ得

當該官吏臨檢ノ際肥料ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ搜索ヲ爲シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得



臨檢、搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス

第六條 肥料營業ノ免許ヲ受ケタル者正當ノ理由ナクシテ其ノ免許ノ日ヨリ一年以内ニ開業セス又ハ一年以上其ノ營業ヲ休止シタルトキハ地方長官ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

第七條 肥料營業者本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキ又ハ公益上必要ト認ムルトキハ地方長官ハ免許ヲ取消シ又ハ營業ヲ停止若ハ制限スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ地方長官ハ其ノ營業者ニ對シ三年ヲ超過セサル期間肥料營業ニ關スル一切ノ行爲ヲ禁スルコトヲ得

第八條 植物ノ營養ニ供用スル物料ニシテ地方長官ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ得テ指定シタルモノハ之ヲ他ノ用途ニ供スル爲製造、輸入、移入又ハ賣買スル場合ニ限り本法ヲ適用セス

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ肥料及原料ハ刑法第十九條ノ物ニ非サル場合ト雖之ヲ沒收スルコトヲ得

一 詐欺ノ行爲ヲ以テ免許ヲ受ケタル者

二 肥料ヲ偽造シ又ハ人ヲ欺罔スルノ目的ヲ以テ肥料ニ他物ヲ混和シタル營業者

三 偽造シ又ハ人ヲ欺罔スル目的ヲ以テ他物ヲ混和シタル肥料ヲ輸入、移入又ハ授受シタル營業者

四 肥料ニ虛偽ノ保證票ヲ添附シタル營業者又ハ他人ノ保證票若ハ他人ノ保證票ヲ有スル容器ヲ他ノ肥料ニ使用シタル營業者

五 虛偽ノ保證票ヲ添附シタル肥料又ハ他人ノ保證票若ハ他人ノ保證票ヲ有スル容器ヲ使用シタル肥料ヲ輸入、移入又ハ授受シタル營業者

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處シ第一號乃至第四號ノ場合ニ於テハ其ノ肥料及原料ハ刑法第十九條ノ物ニ非サルトキト雖之ヲ沒收スルコトヲ得

一 免許ヲ受ケスシテ肥料營業ヲ爲シタル者

二 第七條ニ依ル命令ニ違反シタル者

三 免許又ハ認可ヲ受ケサル製造方法ニ依リ肥料ヲ製造シタル營業者

四 免許又ハ認可ヲ受ケサル肥料ヲ製造、輸入、移入又ハ賣買シタル營業者

五 認可ヲ受ケスシテ製造場ノ位置又ハ製造若ハ藏置ニ關スル設備ヲ變更シタル營業者

第十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第四條ニ依ル保證票ヲ添附セサル營業者

二 第五條ニ依ル處分ヲ拒ミタル者

第十二條 肥料營業者ガ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 肥料營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關



シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第十四條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前ニ於ケル肥料ノ製造販賣又ハ販賣ノ免許ノ効力ハ明治四十一年十二月三十一日限トス

(一) 肥料取締法施行期日ニ關スル件 (明治四十一年六月二十九日勅令第百六十六號)

肥料取締法ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(二) 肥料取締法施行規則

(明治四十一年八月十三日農商務省令第十七號)  
大正元年八月二十日農商務省令第一號改正  
大正十年三月十七日同 第四號改正  
昭和十三年十月十二日農林省令第三十五號改正

第一條 肥料製造營業ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ免許願書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附シ所轄地方長官ニ差出スヘシ

一 營業者ノ氏名又ハ名稱及住所

二 營業所ノ位置

三 藏置所ノ位置

第二條 免許願書ニ記載スヘキ肥料ノ製造方法ハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 原料ノ名稱

二 製造法ノ大要

三 第十三條第一項第一號又ハ第五號ニ該當スル肥料ニ在リテハ各原料ニ含有スル百分ノ一以上ノ窒素、磷酸、加里ノ最少量及同第五號ニ該當スル肥料ニ付角粉、蹄粉、皮粉、毛粉、羽粉、骨炭末、骨灰、「グアノ」其ノ他之ニ類スル原料ヲ使用スル場合ニ在リテハ其ノ配合歩合ノ最多量

四 保證票ヲ添附スヘキ肥料ニ在リテハ其ノ保證成分量

第三條 肥料ノ輸入、移入又ハ賣買ノ營業ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ免許願書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附シ所轄地方長官ニ差出スヘシ



一 營業者ノ氏名又ハ名稱及住所

二 藏置所ノ位置

三 製造者ノ氏名若ハ名稱及其ノ主タル製造場所在地又ハ肥料生産地

四 賣買營業者ヲ除クノ外保證票ヲ添附スヘキ肥料ニ在リテハ其ノ保證成分量

第三條ノ二 肥料賣買營業ノ免許願書又ハ認可願書ニ記載スヘキ肥料ノ名稱ハ左記ノ肥料ニ限り普通肥料ト記載シ其ノ各別ノ名稱ノ記載ヲ省略スルコトヲ得

一 第十三條第一項各號ノ肥料

二 溶劑ヲ使用セスシテ製造シタル大豆油粕、魚肥類、人糞尿、獸肉搾粕、干蠶蛹、米糠、草木灰

第四條 地方長官肥料營業ノ免許又ハ認可ノ出願ニ對スル處分ノ爲必要ト認ムルトキハ其ノ出願者ニ對シ肥料又ハ其ノ原料ノ提出ヲ命スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ指定ノ期間内ニ肥料又ハ其ノ原料ヲ提出セサルトキハ地方長官ハ免許願書又ハ認可願書ヲ却下スルコトヲ得

第五條 肥料營業ノ免許ヲ受ケタル者ニシテ行商ヲ爲サムトスルトキハ行商地ノ地方長官ニ願出テ行商鑑札ヲ受ケ之ヲ携帶スヘシ雇人其ノ他ノ從業者ヲシテ行商ヲ爲サシムル場合ニ於テハ各之ヲ携帶セシムルヘシ

第六條 肥料營業ノ免許ヲ與ヘタル地方長官ノ所轄區域外ニ於テ行商スルノ目的ヲ以テ行商鑑札ノ下付ヲ出願セムトスル者ハ願書ニ肥料營業ニ關スル免許願書、認可願書及其ノ添附書類並免許書ノ寫ヲ添ヘ行商地ノ地方長官ニ差出スヘシ

前項ニ依リ地方長官ニ差出シタル書類ノ寫ニ記載シタル事項ニ變更アリタルトキハ直ニ其ノ旨届出ツヘシ

第七條 行商者ヲ變更シタルトキ又ハ肥料營業者若ハ行商者ノ氏名、名稱若ハ住所ニ變更アリタルトキハ肥料營業者ハ二週間内ニ行商地ノ地方長官ニ鑑札ノ書換ヲ出願シ行商ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク鑑札ヲ返納スヘシ

肥料營業者死亡シタルトキハ其ノ相續人、行商者死亡シタルトキハ其ノ肥料營業者前項ニ準シ遲滯ナク行商鑑札ヲ返納スヘシ

第八條 肥料ノ製造營業者第一條第二號ニ掲ケタル事項ヲ變更シ又ハ肥料ノ輸入、移入ノ營業者第三條第四號ニ掲ケタル事項ヲ變更セムトスルトキハ所轄地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第九條 肥料營業者ハ第一條第一號、第三號、第三條第一號乃至第三號ニ掲ケタル事項ニ變更アリタルトキ又ハ其ノ營業ヲ廢止若ハ休止シタルトキハ二週間内ニ、其ノ休止シタル營業ヲ開始シタルトキハ直ニ各製造場、營業所及藏置所所在地ノ地方長官ニ届出ツヘシ

肥料營業者死亡シタルトキハ其ノ相續人ハ前項ニ準シ其ノ旨届出ツヘシ

第十條 肥料營業者其ノ營業ノ免許又ハ肥料取締法第三條第二項若ハ本則第八條ノ認可アリタル場



合ニ於テ其ノ製造場、營業所、藏置所カニ以上ノ道府縣ニ涉ルモノナルトキハ其ノ免許又ハ認可ノ日ヨリ二週間内ニ願書及其ノ添附書類、免許書及認可書ノ寫ヲ添ヘ其ノ旨關係地方長官ニ届出ツヘシ

第十一條 肥料營業者ハ各製造場及營業所ニ其ノ營業ニ關スル願書其ノ添附書類、免許書及認可書、届書又ハ其ノ寫ヲ備ヘ置クヘシ

第十二條 左記ノ副産物ハ肥料取締法第二條第二項ノ副産物トス

一 大豆油粕、菜種油粕、棉實油粕、荏油粕、胡麻油粕、蓖麻子油粕、椰子油粕、落花生油粕、亞麻仁油粕、麻實油粕、植物雜油粕、米糠油粕

二 魚族荒粕、獸肉搾粕、蠶蛹油粕

三 硫酸「アンモニア」、加里鹽類、「トーマス」燐肥

前項ノ副産物ヲ産出スル製造業ハ肥料取締法第二條第二項ノ製造業トス

第十三條 左記ノ肥料ヲ製造、輸入若ハ移入スル營業者ハ肥料ノ主成分量ヲ保證スル爲其ノ製造、輸入若ハ移入後遲滞ナク保證票ヲ肥料ノ各容器ノ外部ニ、容器ヲ使用セサルモノニ在リテハ各箇ノ外部ニ添附スヘシ

一 過磷酸石灰、重過磷酸石灰、沈澱磷酸石灰、「トーマス」燐肥、硝酸鹽類、「アンモニア」鹽類、加里鹽類及化學的方法ニ依リ製造シタル肥料

二 骨粉、骨炭末、骨灰、肉粉、「タンケージ」、乾血、「グアノ」及特ニ粉碎シタル肥料

三 菜種油粕、棉實油粕、荏油粕、胡麻油粕、蓖麻子油粕、椰子油粕、落花生油粕、亞麻仁油粕、

麻實油粕、植物雜油粕、米糠油粕、溶劑ヲ使用シテ製造シタル大豆油粕、蠶蛹油粕

四 堆積肥料、乾糞肥料、燐炭肥料、液肥ヲ他物ニ吸收セシメタル肥料

五 二種以上ノ肥料ヲ調合シタル肥料

肥料營業者ニシテ保證票ヲ添附シタル肥料ノ容器ヲ變更シ若ハ之ヲ開キ若ハ天災其ノ他特別ノ事故ニ因リ其ノ主成分量ニ異動ヲ生シタル場合又ハ保證票ヲ添附スヘキ肥料ニシテ其ノ添附ナキモノ若ハ保證票ニ第十五條第一項第一號乃至第五號ノ事項ノ記載ヲ缺キ若ハ其ノ記載ノ不明ナル保證票ヲ添附シタルモノヲ取得シタル場合ハ前項ノ規定ヲ準用ス保證票喪失シ若ハ著シク毀損汚染シタル場合亦同シ

第十四條 地方長官必要ト認ムルトキハ前條ニ掲ケサル肥料ト雖農商務大臣ノ認可ヲ經テ肥料營業者ニ保證票ノ添附ヲ命スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ地方長官必要ト認ムルトキハ其ノ肥料ニ含有スル百分ノ一未滿ノ主成分量ト雖之カ記載ヲ命スルコトヲ得

第十五條 保證票ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 保證票ナル文字



二 肥料ノ名稱

三 肥料百分中ノ主成分量

四 保證票ヲ添附スル者ノ氏名又ハ名稱、主タル營業所ノ位置及營業種別

五 前各號ノ外肥料製造ノ營業者ニ在リテハ其ノ肥料ノ製造年月及製造場ノ所在地、輸入、移入ノ營業者ニアリテハ肥料ノ輸入若ハ移入ノ年月、仕入、肥料賣買ノ營業者ニ在リテハ其ノ肥料ノ製造、輸入若ハ移入ノ營業者ノ氏名若ハ名稱又ハ仕入先及保證票添附ノ年月

前項第三號ノ主成分量ハ左ノ區別ニ從ヒ肥料ニ含有スル百分ノ一以上ノ主成分ノ最少量ヲ記載スベシ

一 「アンモニア」鹽類 「アンモニア」性窒素

二 硝酸鹽類 硝酸性窒素

三 過磷酸石灰、重過磷酸石灰 可溶性磷酸

四 沈澱磷酸石灰「トーマス」燐肥 枸橼酸ニ溶解スル磷酸

五 前二號以外ノ磷酸鹽類 水溶性磷酸、水ニ溶解セズシテ枸橼酸「アンモニア」液ニ溶解スル磷酸

六 加里鹽類 水溶性加里

七 有機質肥料 窒素全量、磷酸全量、加里全量

八 前各號以外ノ肥料 窒素全量、「アンモニア」性窒素、硝酸性窒素、磷酸全量、可溶性磷

酸(又ハ水溶性磷酸、水ニ溶解セズシテ枸橼酸「アンモニア」液ニ溶解スル磷酸若ハ枸橼酸ニ溶解スル磷酸)加里全量、水溶性加里

前項ニ依ル可溶性磷酸ノ記載ハ水溶性磷酸ノ量ト水ニ溶解セズシテ枸橼酸「アンモニア」液ニ溶解スル磷酸ノ量トノ合計量ニ付之ヲ爲スベシ

第十六條 保證票ニハ前條ニ規定シタル事項並肥料ノ正味量、商標及商號ノ外他ノ事項ヲ記載スルコトヲ得ス

第十七條 検査ノ爲必要ナル肥料又ハ其ノ原料ヲ收去セムトスルトキハ其ノ肥料又ハ原料ノ存在スル場所ノ所有者、借主、管理者、從業者、同居者若ハ鄰佑ニシテ成年ニ達シタル者ノ立會ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

收去シタル肥料又ハ原料ハ之ヲ容器ニ密封シ之ニ肥料又ハ原料ノ名稱、肥料營業者ノ氏名若ハ名稱、收去ノ年月日及場所ヲ記載シ當該官吏及立會人之ニ署名封印スヘシ立會人署名封印セス又ハ署名封印スルト能ハサルトキハ其ノ旨附記スヘシ

第十八條 臨檢、搜索差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法施行規則第二條乃至第五條第八條及第十二條ノ規定ヲ準用ス

第十九條 肥料營業者ニシテ肥料ヲ輸入若ハ移入スルトキ又ハ輸入港若ハ移入港ニ於テ輸入若ハ移入ノ肥料ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ陸揚後遲滯ナク肥料ノ名稱、數量、仕入先並陸揚ノ場所及年月

ノ肥料ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ陸揚後遲滯ナク肥料ノ名稱、數量、仕入先並陸揚ノ場所及年月

ノ肥料ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ陸揚後遲滯ナク肥料ノ名稱、數量、仕入先並陸揚ノ場所及年月

ノ肥料ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ陸揚後遲滯ナク肥料ノ名稱、數量、仕入先並陸揚ノ場所及年月

ノ肥料ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ陸揚後遲滯ナク肥料ノ名稱、數量、仕入先並陸揚ノ場所及年月

ノ肥料ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ陸揚後遲滯ナク肥料ノ名稱、數量、仕入先並陸揚ノ場所及年月

ノ肥料ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ陸揚後遲滯ナク肥料ノ名稱、數量、仕入先並陸揚ノ場所及年月

ノ肥料ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ陸揚後遲滯ナク肥料ノ名稱、數量、仕入先並陸揚ノ場所及年月

ノ肥料ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ陸揚後遲滯ナク肥料ノ名稱、數量、仕入先並陸揚ノ場所及年月

ノ肥料ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ陸揚後遲滯ナク肥料ノ名稱、數量、仕入先並陸揚ノ場所及年月

ノ肥料ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ陸揚後遲滯ナク肥料ノ名稱、數量、仕入先並陸揚ノ場所及年月

ノ肥料ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ陸揚後遲滯ナク肥料ノ名稱、數量、仕入先並陸揚ノ場所及年月



日ヲ陸揚地ノ地方長官ニ届出ツヘシ但シ大豆油粕ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 肥料營業者ハ各營業所ニ帳簿ヲ備ヘ肥料ヲ讓受ケ若ハ肥料營業者ニ之ヲ讓渡ス毎ニ其ノ名稱、數量、價額、年月日、相手方ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

肥料製造營業者ハ前項ノ外其ノ製造場ニ帳簿ヲ備ヘ肥料ヲ製造スル毎ニ其ノ名稱、數量及年月日ヲ記載スヘシ

前二項ノ帳簿ハ之ニ最終ノ記載ヲ爲シタル日ヨリ二年以上之ヲ保存スヘシ

第二十一條 肥料製造營業者ハ各製造場ニ於テ前年中ニ製造シタル肥料及製造ノ原料ニ供シタル肥料

ニ付名稱別ノ數量及價額ヲ毎年二月末日迄ニ其ノ製造場所在地ノ地方長官ニ届出ツヘシ

肥料營業者ハ各營業所ニ於テ前年中ニ輸入、移入、輸出又ハ移出シタル肥料ニ付前項ニ準シ其ノ營業所所在地ノ地方長官ニ届出ツヘシ

前二項ノ規定ニ依リ届出ツヘキ事項ナキトキハ其ノ旨ヲ届出ツヘシ但シ輸出及移出ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

營業者其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ其ノ届出ト同時ニ前各項ニ準シ届出ツヘシ

營業者死亡シタルトキハ相續人ヨリ其ノ届出ト同時ニ前各項ニ準シ届出ツヘシ

第二十二條 肥料營業ノ免許、認可、其ノ取消又ハ其ノ營業ノ停止若ハ制限又ハ營業ニ關スル行爲ノ禁止ニ關スル處分ハ製造營業ニアリテハ主タル製造場所在地、輸入、移入又ハ賣買ノ營業ニ在リテ

ハ主タル營業所所在地ノ地方長官之ヲ行フモノトス

第二十三條 削 除

第二十四條 第五條、第七條乃至第十一條、第十六條、第十九條乃至第二十一條又ハ第二十六條第二項ニ違反シタル者又ハ肥料ノ效能ヲ誇稱シテ虚偽ノ廣告ヲ爲シタル者ハ百圓以下、罰金又ハ科料ニ處ス保證票ノ添附ヲ要セサル肥料ニ虚偽ノ主分量ヲ記載シタル票箋ヲ添附シタル者亦前項ニ同シ

附 則

第二十五條 本則ハ肥料取締法改正法律施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二十六條 本則施行ノ當時保證票ノ添附アル肥料ヲ所有スル肥料營業者ハ明治四十二年二月末日迄ニ本則ニ依リ更ニ保證票ヲ添附スヘシ

肥料營業者ハ本則施行後二週間内ニ前項肥料ノ名稱及數量ヲ其ノ肥料存在地ノ地方長官ニ届出ツヘシ

附 則 (大正十年三月十七日農商務省令第四號)

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ保證票ノ記載事項ニ付テハ大正十年四月三十日迄仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

附 則 (昭和十三年十月十二日農林省令第三十五號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ保證票ノ記載事項ニ付テハ第十五條第二項ノ改正規定ニ拘ラズ昭和十三年十二月三十一日迄仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得



(三) 肥料依頼検査規則

(昭和十三年三月十一日  
農林省令第七號)

第一條 地方長官ハ本則ニ依リ左ニ掲グル肥料ノ製造、輸入又ハ移入ヲ業トスル者ノ依頼ニ依リ肥料ノ品質検査ヲ行フ

一 調合肥料

二 化成肥料

三 菜種油粕

前項ノ検査ハ保證成分量、正味重量、有害物及夾雜物ノ有無竝ニ製造方法ニ付之ヲ行フ

第二條 前條ノ検査ハ當該官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第三條 第一條ノ検査ヲ依頼セントスル者ハ様式第一號ニ依ル肥料検査依頼書ニ肥料依頼検査手数料令ニ依ル相當收入印紙ヲ貼附シ之ヲ地方長官ニ提出スベシ

第四條 地方長官検査ノ依頼ニ應ズル場合ニ於テハ肥料検査依頼書ノ紙面ト印紙ノ彩紋トニ掛ケ黒肉又ハ朱肉ヲ以テ消印ヲ押捺スベシ

地方長官検査ノ依頼ニ應ズルコト能ハザル場合ニ於テハ肥料検査依頼書ヲ依頼者ニ還付スベシ

第五條 當該官吏ハ検査ヲ爲スニ際シ必要ナル分量ニ限り無償ニテ標品ヲ收去スルコトヲ得

第六條 當該官吏ハ前條ノ標品ヲ收去シタル肥料ヲ繩張り其ノ他適當ナル方法ニ依リ區分シ検査中ナルコトヲ明示スベシ

第七條 當該官吏検査ノ依頼アリタル肥料ノ品質適正ナリト認ムルトキハ其ノ肥料ノ各容器ノ外部ニ様式第二號ニ依ル毛判ヲ、其ノ保證票又ハ成分票ニ様式第三號ニ依ル検査済ノ検印ヲ押捺スベシ

第八條 當該官吏品質適正ナラズト認メタル肥料ニ付テハ検査ノ依頼ヲ爲シタル者ハ之ヲ再製シテ再検査ヲ依頼スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ様式第一號ニ準ジ肥料再検査依頼書ヲ提出スベシ

第九條 検査ヲ依頼セントスル肥料ニ添附スヘキ保證票又ハ成分票ハ縦十二糎、横六糎ノ荷札式トシ紙質強韌ニシテ白色ノモノヲ用フベシ

第十條 検査ノ依頼アリタル肥料ニ付左ノ各號ノ一ニ該當スル事由アル場合ニ於テハ第七條ノ規定ニ依ル毛判及検査済ノ検印ノ押捺ハ之ヲ爲サザルコトアルベシ

一 第六條ノ規定ニ依ル明示ノ手段ノ毀損、撤收其ノ他ノ不正アリタルトキ  
二 肥料取締法若ハ同法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反セル事實アリタルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本則ニ依ル検査ハ當分ノ内農林大臣ノ指定スル道府縣ノ地方長官之ヲ行フ



樣式

第一號

收入  
印紙

肥料檢查依頼書

一 肥料ノ種類、名稱及數量

二 肥料ノ保證成分量

三 肥料ノ製造方法

四 免許又ハ認可ヲ受ケタル官廳及其ノ年月日

五 肥料ノ製造地名、製造者ノ氏名又ハ名稱及藏置場所

右檢查依頼致度手數料

圓 錢收入印紙ヲ以テ納付候也

年 月 日

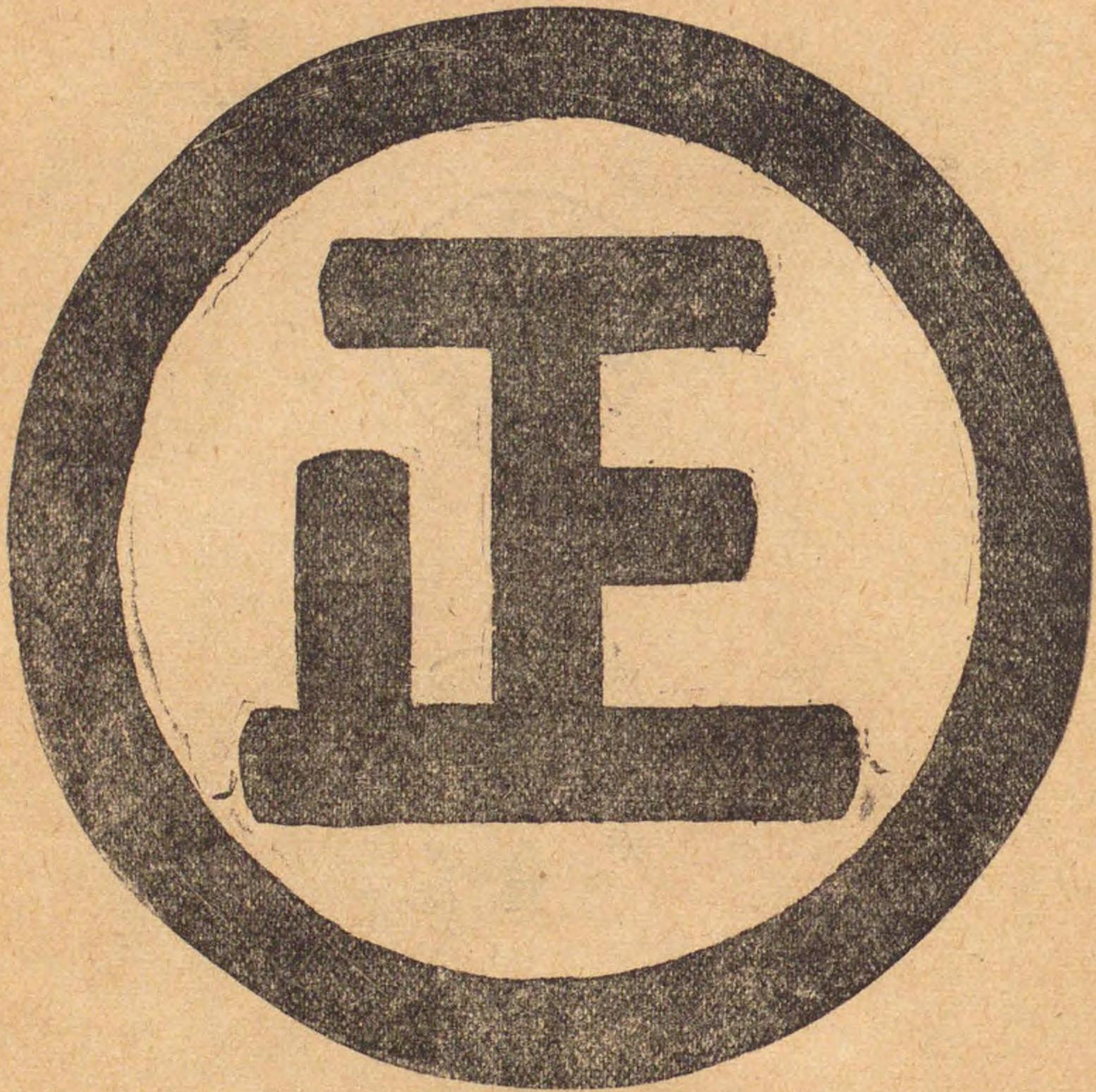
地方長官宛

住所

氏名又ハ名稱

印

第二號



外圓

外徑 一〇  
內徑 八

一〇 糲  
八 糲

字畫ノ肉厚 一糲

肉色 青





肉色	赤	外圓	直徑	二糶半
		内圓	直徑	一糶半

(四) 肥料依頼検査手数料令

(昭和十三年三月十一日勅令第一一二號)

第一條 地方長官ニ對シ肥料依頼検査規則ニ依リ肥料ノ品質検査ノ依頼ヲ爲ス者ハ同一名稱ノ肥料十疋又ハ其ノ端數毎ニ二圓五十錢ノ手数料ヲ納ムベシ但シ再検査ノ依頼ヲ爲ス場合ニ於テハ手数料ハ其ノ半額トス

第二條 手数料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムベシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(五) 肥料検査上分析鑑定請求心得

(明治四十一年九月十一日訓令第二十五號(沿革)大正八年五月農商務省訓令第五號改正)

- 一 肥料検査ノ爲必要アルトキハ農事試験場本場ニ肥料又ハ原料ノ分析又ハ鑑定ヲ請求スルコトヲ得
- 二 検査ノ爲收去シタル肥料又ハ原料ノ分析又ハ鑑定ヲ請求スルトキハ肥料取締法施行規則第十七條第二項ノ手續ヲ爲シタル肥料又ハ原料ヲ密封ノ儘差出スヘシ
- 三 肥料又ハ原料ノ分析請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
  - 一 肥料又ハ原料ノ名稱
  - 二 分析ヲ要スル成分



- 三 生産者、製造者、輸入者若ハ移入者ノ氏名又ハ名稱及住所並其ノ肥料又ハ原料十貫目ノ價格
- 四 生産者、製造者、輸入者若ハ移入者ノ氏名若ハ名稱又ハ住所不明ナルモノニ在リテハ賣買營業者ノ氏名又ハ名稱及住所並其ノ肥料又ハ原料十貫目ノ價格
- 四 肥料又ハ原料ノ鑑定請求書ニハ前項第一號第三號又ハ第四號ニ掲ケタル事項ノ外鑑定ヲ要スル事項並鑑定上參考ト爲ルヘキ事項ヲ記載スヘシ
- 五 本令ニ依リ分析又ハ鑑定ヲ請求スル場合ニ於テハ手数料ヲ納付スルコトヲ要セス
- 六 分析又ハ鑑定ヲ要スル肥料又ハ原料ノ送付ニ關スル費用ハ道府縣ニ於テ肥料取締ニ關スル經費中ヨリ之ヲ支辨スヘシ

## 附 則

七 本令ハ肥料取締法改正法律施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十四年八月訓令第二十二號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

## 一、重要肥料業統制法

(昭和十一年五月二十九日  
法律第三十九號)

第一條 本法ハ肥料ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖リ肥料製造業及農業經營ノ改善發達ヲ期スルコトヲ目的トス

第二條 本法ノ適用ヲ受クル肥料ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ニ於テ肥料製造業ト稱スルハ命令ノ定ムル所ニ依リ肥料ヲ製造スル事業ヲ謂フ

第三條 肥料製造業者ハ肥料ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖リ肥料製造業ノ改善發達ヲ期スル爲メ政府ノ認可ヲ受ケ肥料ノ種類別ニ肥料製造業組合ヲ設立スルコトヲ得

第四條 肥料製造業者肥料製造業組合ヲ設立セザル場合ニ於テ政府必要アリト認ムルトキハ肥料製造業者ニ對シ肥料製造業組合ノ設立ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者命令ノ定ムル所ニ依リ設立ノ認可ヲ申請セザルトキハ政府ハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第五條 肥料製造業組合ハ法人トス

肥料製造業組合ハ營利ヲ目的トシテ其ノ事業ヲ營ムコトヲ得ズ

第六條 肥料製造業組合ハ左ノ事業ヲ行フコトヲ得

- 一 肥料ノ製造總數量及各組合員ニ對スル其ノ割當ノ決定、肥料ノ販賣價格ノ決定其ノ他肥料ノ生産又ハ販賣ニ關スル決定
- 二 組合員ノ委託ニ依ル肥料ノ販賣但シ前號ノ決定ヲ實行スル爲メ必要アル場合ニ限ル
- 三 組合員ノ肥料製造業ニ必要ナル物ノ供給



四 其ノ他組合ノ目的達成上必要ナル事業

第七條 肥料製造業組合ハ設立ノ認可アリタル時又ハ第四條第二項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス

肥料製造業組合ノ設立アリタルトキハ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スベシ登記シタル事項中ニ變更ヲ生ジタルトキ亦同ジ

肥料製造業組合ノ設立又ハ登記シタル事項ノ變更ハ其ノ登記ヲ爲スニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第八條 肥料製造業組合ハ肥料ノ種類毎ニ一箇トス

第九條 肥料製造業組合ニハ所得税及營業收益稅ヲ課セズ

第十條 肥料製造業組合ノ設立アリタルトキハ其ノ種類ノ肥料製造業者ハ其ノ組合ノ組合員トス

肥料製造業組合ハ政府ノ認可ヲ受ケ本法施行地域外ニ於テ肥料製造業ヲ營ム者ヲ組合員ト爲スコトヲ得

第十一條 肥料製造業組合第六條第一號ノ決定ヲ爲シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ實施前豫メ之ヲ政府ニ届出デ其ノ承認ヲ受クベシ

肥料製造業組合ノ組合員ハ前項ノ規定ニ依ル届出前ニ於テハ其ノ決定ニ基キ肥料ノ生産又ハ販賣ヲ爲スコトヲ得ズ届出後命令ノ定ムル期間内亦同ジ

政府肥料ノ需給ノ圓滑又ハ價格ノ公正ヲ圖ル爲其ノ他公益上必要アリト認ムルトキハ第一項ノ決定ノ全部又ハ一部ノ變更又ハ取消ヲ爲スコトヲ得

第十二條 肥料製造業者又ハ肥料製造業組合ハ政府ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ肥料ノ生産、販賣、輸出、輸入、移出又ハ移入ニ關シ統制協定ヲ爲スコトヲ得ズ

第十三條 肥料製造業組合肥料ノ製造總數量及各組合員ニ對スル其ノ割當ノ決定又ハ肥料ノ販賣價格ノ決定ヲ爲サザル場合ニ於テ政府公益上必要アリト認ムルトキハ其ノ決定ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十四條 政府公益上必要アリト認ムルトキハ肥料製造業組合ノ組合員ニ對シ肥料ノ生産又ハ販賣ニ關スル組合ノ決定ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十五條 政府ハ肥料製造業組合又ハ其ノ組合員ニ對シ其ノ業務ニ關シ報告ヲ爲サシメ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

政府監督上必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ肥料製造業組合又ハ其ノ組合員ノ事務所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第十六條 肥料製造業組合ノ決議又ハ組合ノ役員ノ行爲ガ法令、定款若ハ政府ノ處分ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ政府ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得



- 一 決議ノ取消
  - 二 役員ノ解任
  - 三 組合ノ事業ノ停止
  - 四 組合ノ解散
- 第十七條 本法ニ規定スルモノヲ除クノ外肥料製造業組合ノ設立、登記、組織、管理、解散、清算其ノ他組合ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第十八條 政府公益上必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ期間ヲ定メ肥料ノ輸出又ハ輸入ヲ制限スルコトヲ得
- 第十九條 第十一條第三項ノ規定ニ依ル處分、前條ノ規定ニ依ル制限其ノ他本法施行ニ關スル重要事項ニ付政府ノ諮問ニ應ゼシムル爲重要肥料業委員會ヲ置ク
- 第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス
- 一 第十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者
  - 二 第十二條ノ規定ニ違反シ政府ノ許可ヲ受ケズシテ統制協定ヲ爲シタル者
  - 三 第十四條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者
  - 四 第十八條ノ規定ニ依ル制限ニ違反シ肥料ノ輸出又ハ輸入ヲ爲シタル者

前項第四號ノ場合ニ於テハ其ノ肥料ハ之ヲ沒收スルコトヲ得若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徴スルコトヲ得

第二十一條 第十三條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十二條 正當ノ事由ナクシテ第十五條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ若ハ虚偽ノ報告ヲ爲シ又ハ検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ其ノ他政府ノ命令又ハ處分ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十三條 當該官吏又ハ其ノ職ニ在リタル者本法ニ依ル職務執行ニ關シ知得シタル個人又ハ法人ノ業務上ノ秘密ヲ漏洩シ又ハ竊用シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

職務上前項ノ秘密ヲ知得シタル他ノ公務員又ハ公務員タリシ者其ノ秘密ヲ漏洩シ又ハ竊用シタルトキ罰前項ニ同ジ

第二十四條 肥料製造業組合、肥料製造業組合ノ組合員、肥料製造業者其ノ他肥料ニ關スル業ヲ爲ス者ハ其ノ代理人、戸主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第二十五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ



第二十六條 肥料製造業組合第十一條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲サザルトキハ組合ノ役員ヲ五百圓以下ノ過料ニ處ス

第二十七條 肥料製造業組合法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキハ組合ノ役員又ハ清算人ヲ三百圓以下ノ過料ニ處ス

第二十八條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和十一年勅令第三百九十五號ヲ以テ昭和十一年十一月十五日ヨリ施行)

登録税法第十九條第七號中「又ハ輸出組合聯合會」ヲ「輸出組合聯合會又ハ肥料製造業組合」ニ、「又ハ輸出組合法」ヲ「輸出組合法又ハ重要肥料業統制法」ニ改ム

(一) 肥料製造業組合法

(昭和十一年十一月十一日勅令第三百九十六號)

第一條 本令ニ於テ組合ト稱スルハ重要肥料業統制法第三條又ハ第四條ノ規定ニ依リ設立スル肥料製造業組合ヲ謂フ

第二條 組合ハ其ノ名稱中ニ當該肥料ノ種類ヲ示スベキ文字及肥料製造業組合ナル文字ヲ用フベシ  
組合ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ肥料製造業組合ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第三條 組合ハ主タル事務所ヲ東京市ニ置クベシ

第四條 本令ニ依リ登記スベキ事項ハ登記前ニ在リテハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第五條 重要肥料業統制法又ハ本令ニ依リ登記スベキ事項ハ其ノ事實ノ生ジタル後二週間以内ニ之ヲ登記スベシ

重要肥料業統制法又ハ本令ニ依リ登記スベキ事項ニシテ商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ要スルモノハ其ノ認可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

第六條 重要肥料業統制法第三條ノ規定ニ依リ組合ヲ設立セントスルトキハ組合員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定メ役員ヲ選任シ商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ申請スベシ

特別ノ事由ニ因リ前項ノ同意ヲ得ルコト能ハザルトキハ商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ受ケ創立總會ヲ招集スルコトヲ得

第七條 重要肥料業統制法第四條第一項ノ規定ニ依リ組合ノ設立ヲ命ゼラレタルトキハ創立總會ヲ開キ定メ其ノ他必要ナル事項ヲ定メ役員ヲ選任シ商工大臣及農林大臣ノ指定スル期限迄ニ設立ノ認可ヲ申請スベシ



第八條 創立總會ノ議事ハ第六條ノ創立總會ニ在リテハ設立同意者ノ三分ノ二以上、前條ノ創立總會ニ在リテハ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ決ス

第十七條第二項ノ規定ハ創立總會ニ於ケル役員選任ノ決議ニ之ヲ準用ス

第九條 設立同意者ハ創立總會ニ於テ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得

前項ノ代理人ハ設立同意者タルコトヲ要ス但シ法人タル設立同意者ハ其ノ業務ヲ執行スル役員又ハ登記シタル支配人ヲ代理人ト爲スコトヲ得

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ提出スベシ

第十條 商工大臣及農林大臣重要肥料業統制法第四條第二項ノ規定ニ依リ定款ヲ作成シタルトキハ組合ノ理事及監事ヲ命ズ

前項ノ理事ハ遲滯ナク總會ヲ招集スベシ

前項ノ總會ニ於テハ初年度ニ於ケル收支豫算及經費ノ分賦收入方法ヲ議決スベシ

第十一條 定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一 目的

二 名稱

三 事務所ノ所在地

四 組合員ノ權利義務ニ關スル規定

五 事業及其ノ執行ニ關スル規定

六 役員ニ關スル規定

七 會議ニ關スル規定

八 會計ニ關スル規定

第十二條 組合ノ設立ノ登記ハ左ニ掲グル事項ニ付之ヲ爲スベシ

一 前條第一號及第二號ニ掲グル事項

二 事務所

三 成立ノ年月日

四 理事及監事ノ氏名及住所

第十三條 組合ニハ理事及監事ヲ置ク

理事及監事ハ總會ニ於テ組合員又ハ組合員タル法人ノ役員ノ中ヨリ之ヲ選任ス但シ設立當時ノ理事及監事ハ第十條第一項ノ場合ヲ除クノ外創立總會ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者又ハ組合員タル資格ヲ有スル法人ノ役員ノ中ヨリ之ヲ選任スベシ

特別ノ事由アルトキハ理事又ハ監事ハ前項ニ該當セザル者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第十四條 理事ノ任期ハ三年トシ監事ノ任期ハ一年トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十五條 監事ハ理事又ハ事務員ト相兼ヌルコトヲ得ズ



第十六條 組合ト理事トノ利益相反スル事項ニ付テハ監事組合ヲ代表ス

理事缺ケタルトキハ監事其ノ職務ヲ行フ但シ其ノ期間ハ三月ヲ超ユルコトヲ得ズ  
理事ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ商工大臣及農林大臣ハ假理事ヲ選任シ理事ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第十七條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ベシ

- 一 收支豫算
- 二 經費ノ分賦收入方法
- 三 事業報告及收支決算ノ承認
- 四 決算殘餘金ノ處分
- 五 借入金
- 六 基本財産ノ造成、管理及處分
- 七 重要肥料業統制法第六條第一號ノ決定
- 八 重要肥料業統制法第六條第二號又ハ第三號ノ事業ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ實施計畫及委託方法並ニ手数料ノ額及徵收方法
- 九 重要肥料業統制法第六條第四號ノ事業ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ實施計畫並ニ手数料ヲ徵收スル場合ニ於ケル其ノ額及徵收方法

十 定款ノ變更

十一 役員ノ選任及解任

十二 重要肥料業統制法施行地域外ニ於テ肥料製造業ヲ營ム者ノ加入

前項第一號、第二號、第十號及第十一號ニ掲グル事項ノ決議ハ商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ効力ヲ生ゼズ

第十八條 組合員ハ總組合員ノ四分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ理事ニ提出シテ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

理事正當ノ理由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル請求アリタル後二週間以内ニ總會招集ノ手續ヲ爲サザルトキハ請求者ハ商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

第十九條 總會ヲ招集スルニハ少クトモ十日日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ各組合員ニ通知スベシ

總會ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ豫メ通知シタル事項ニ付テノ議決ヲ爲スコトヲ得但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十條 總會ノ議事ハ本令又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス

組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス



前項ノ代理人ハ組合員タルコトヲ要ス但シ法人タル組合員ハ其ノ業務ヲ執行スル役員又ハ登記シタル支配人ヲ代理人ト爲スコトヲ得

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ提出スベシ

第二十一條 第十七條第一項第七號、第十號及第十一號ニ掲グル事項ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

第二十二條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ定款ノ定ムル所ニ依リ書面ニ依ル組合員ノ表決ヲ以テ總會ノ議決ニ代フルコトヲ得

第二十三條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノハ理事商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ理事ハ次ノ總會ニ於テ其ノ報告ヲ爲スベシ

第二十四條 組合ノ事業年度ハ一年トス

第二十五條 組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ課スルコトヲ得  
組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第二十六條 組合ノ解散ノ決議ハ總會ニ於テ總組合員ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ以テ之ヲ爲ス

前項ノ決議ハ商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ効力ヲ生ゼズ

第二十七條 組合ノ清算ハ其ノ主タル事務所所在地ノ區裁判所ノ監督ニ屬ス

裁判所ハ何時ニテモ職權ヲ以テ前項ノ監督ニ必要ナル検査ヲ爲シ又ハ特ニ選任シタル者ヲシテ監督ニ必要ナル検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十八條 第三十五條ノ規定ニ依リ準用シタル民法第七十九條及第八十一條第一項ノ規定ニ依リ爲スベキ公告ハ裁判所ガ爲スベキ登記事項ノ公告ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第二十九條 清算終了シタルトキハ清算人ハ主タル事務所所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スベシ

第三十條 組合ノ登記ニ付テハ其ノ主タル事務所所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス  
登記所ニ肥料製造業組合登記簿ヲ備フ

第三十一條 組合ノ設立ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スベシ  
申請書ニハ定款、創立總會ノ決議録ノ謄本、組合ノ設立アリタルコトヲ證スル書面及申請人ノ資格

ヲ證スル書面ヲ添附スベシ但シ商工大臣及農林大臣ノ處分ニ因リ組合ノ設立アリタル場合ニ於テハ創立總會ノ決議録ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要セズ

第三十二條 主タル事務所ノ移轉其ノ他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、其ノ職務ヲ行フ監事若ハ假理事又ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スベシ

申請書ニハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面及申請人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スベシ但シ前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル申請人ガ前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要セズ



第三十三條 組合ノ解散ノ登記ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スベシ  
申請書ニハ總會ノ決議録ノ謄本、解散認可書及理事ガ清算人タラザル場合ニ於テハ申請人ノ資格ヲ  
證スル書面ヲ添附スベシ

組合ガ商工大臣及農林大臣ノ處分ニ因リテ解散シタルトキハ登記所ハ商工大臣及農林大臣ノ囑託ニ  
因リテ登記ヲ爲スベシ

第三十四條 重要肥料業統制法又ハ本令ニ依リ登記シタル事項ハ裁判所遲滯ナク之ヲ公告スベシ

第三十五條 民法第四十四條第一項、第四十八條第二項、第五十條、第五十二條第二項、第五十三條  
乃至第五十五條、第五十九條、第六十條、第六十一條第一項、第六十五條第一項、第六十六條、第  
七十三條乃至第八十一條及第八十三條竝ニ非訟事件手續法第三十七條ノ二、第三百三十六條乃至第百  
三十八條、第四百十一條乃至第五百十條ノ二、第五百一十一條乃至第五百一十一條ノ四、第五百一十一條  
ノ六、第五百五十四條、第五百五十六條、第五百五十七條、第六十五條、第七十五條及第七十六條  
ノ規定ハ組合ニ之ヲ準用ス但シ民法第七十七條中一週間トアルハ之ヲ二週間トシ同法第五十九條第  
三號、第七十七條及第八十三條中主務官廳トアルハ之ヲ商工大臣及農林大臣トス

附 則

本令ハ重要肥料業統制法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

組合ノ設立當時ノ事業年度ニ付テハ第二十四條ノ規定ニ拘ラズ定款ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

○民法中準用條文

民 法

第四十四條第一項 法人ハ理事其他ノ代理人カ其職務ヲ行フニ付キ他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責  
ニ任ス

第四十八條第二項 同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其移轉ノミノ登記ヲ  
爲スコトヲ要ス

第五十條 法人ノ住所ハ其主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第五十二條第二項 理事數人アル場合ニ於テ定款又ハ寄附行爲ニ別段ノ定ナキトキハ法人ノ事務ハ理  
事ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第五十三條 理事ハ總テ法人ノ事務ニ付キ法人ヲ代表ス但定款ノ規定又ハ寄附行爲ノ趣旨ニ違反スル  
コトヲ得ス又社團法人ニ在リテハ總會ノ決議ニ從フコトヲ要ス

第五十四條 理事ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第五十五條 理事ハ定款、寄附行爲又ハ總會ノ決議 依リテ禁止セラレサルトキニ限り特定ノ行爲ノ  
代理ヲ他人ニ委任スルコトヲ得

第五十九條 監事ノ職務左ノ如シ





- 一 法人ノ財産ノ狀況ヲ監査スルコト
- 二 理事ノ業務執行ノ狀況ヲ監査スルコト
- 三 財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付キ不整ノ廉アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ總會又ハ主務官  
應ニ報告スルコト

四 前號ノ報告ヲ爲ス爲メ必要アルトキハ總會ヲ招集スルコト

第六十條 社團法人ノ理事ハ少クトモ毎年一回社員ノ通常總會ヲ開クコトヲ要ス

第六十一條第一項 社團法人ノ理事ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ  
得

第六十五條第一項 各社員ノ表決權ハ平等ナルモノトス

第六十六條 社團法人ト或社員トノ關係ニ付キ議決ヲ爲ス場合ニ於テハ其社員ハ表決權ヲ有セス

第七十三條 解散シタル法人ハ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ其清算ノ結了ニ至ルマテ尙ホ存續スルモ  
ノト看做ス

第七十四條 法人カ解散シタルトキハ破産ノ場合ヲ除ク外理事其清算人ト爲ル但定款若クハ寄附行爲  
ニ別段ノ定アルトキ又ハ總會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此限ニ在ラス

第七十五條 前條ノ規定ニ依リテ清算人タル者ナキトキ又ハ算清人ノ缺ケタル爲メ損害ヲ生スル虞ア  
ルトキハ裁判所ハ利害關係人若クハ檢事ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ清算人ヲ選任スルコトヲ得

第七十六條 重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ利害關係人若クハ檢事ノ請求 因リ又ハ職權ヲ以テ清  
算人ヲ解任スルコトヲ得

第七十七條 清算人ハ破産ノ場合ヲ除ク外解散後一週間内ニ其氏名、住所及ヒ解散ノ原因、年月日ノ  
登記ヲ爲シ又何レノ場合ニ於テモ之ヲ主務官廳ニ届出ツルコトヲ要ス

清算中ニ就職シタル清算人ハ就職後一週間内ニ其氏名、住所ノ登記ヲ爲シ且ツ之ヲ主務官廳ニ届出  
ツルコトヲ要ス

第七十八條 清算人ノ職務左ノ如シ

- 一 現務ノ結了
- 二 債權ノ取立及ヒ債務ノ辨濟
- 三 殘餘財産ノ引渡

清算人ハ前項ノ職務ヲ行フ爲メニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲スコトヲ得

第七十九條 清算人ハ其就職ノ日ヨリ二ヶ月内ニ少クトモ三回ノ公告ヲ以テ債權者ニ對シ一定ノ期間  
内ニ其請求ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス但其期間ハ二ヶ月ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ公告ニハ債權者カ期間内ニ申出ヲ爲ササルトキハ其債權ハ清算ヨリ除斥セラルヘキ旨ヲ附記  
スルコトヲ要ス但清算人ハ知レタル債權者ヲ除斥スルコトヲ得ス

清算人ハ知レタル債權者ニハ各別ニ其申出ヲ催告スルコトヲ要ス



第八十條 前條ノ期間後ニ申出テタル債權者ハ法人ノ債務完済ノ後未タ歸屬權利者ニ引渡ササル財産ニ對シテノミ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十一條 清算中ニ法人ノ財産カ其債務ヲ完済スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキハ清算人ハ直チニ破産宣告ノ請求ヲ爲シテ其旨ヲ公告スルコトヲ要ス

清算人ハ破産管財人ニ其事務ヲ引渡シタルトキハ其任ヲ終ハリタルモノトス  
本條ノ場合ニ於テ既ニ債權者ニ支拂ヒ又ハ歸屬權利者ニ引渡シタルモノアルトキハ破産管財人ハ之ヲ取戻スコトヲ得

第八十三條 清算カ結了シタルトキハ清算人ハ之ヲ主務官廳ニ届出ツルコトヲ要ス

○非訟事件手續法中準用條文

非訟事件手續法

第三十七條ノ二 第二百二十九條ノ三及ヒ第二百二十九條ノ四ノ規定ハ裁判所カ法人ノ清算人又ハ第三十六條ノ規定ニ依リ検査ヲ爲スヘキ者ヲ選任シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三百二十六條 清算人ノ選任又ハ解任ニ關スル事件ハ會社ノ本店所在ノ裁判所ノ管轄トス銀行又ハ無盡業若ハ無盡管理業ヲ營ム會社ノ清算ノ監督亦同シ

第三百二十七條 清算人ノ選任又ハ解任ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス裁判所カ銀行又ハ無盡業若ハ無盡管理業ヲ營ム會社ノ清算ノ監督ニ付キ爲シタル命令ニ對シ亦同シ

第三百二十八條 左ニ掲ケタル者ハ清算人トシテ之ヲ選任スルコトヲ得ス

- 一 未成年者
- 二 禁治産者及ヒ準禁治産者
- 三 剝奪公權者及ヒ停止公權者
- 四 裁判所ニ於テ解任セラレタル清算人
- 五 破産者

第四百十一條 各登記所ニ各商業登記簿ノ見出帳ヲ備フ

第四百十二條 登記所ハ何人ニモ登記簿ノ閱覽ヲ許シ又ハ手数料ヲ納付スルトキハ之ニ其謄本若クハ抄本ヲ交付スヘシ

登記所ハ登記上利害ノ關係ヲ疏明シテ申請ヲ爲シタル者ニハ其關係アル部分ニ限り登記簿ノ附屬書類ノ閱覽ヲ許スヘシ

郵送料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ請フトキハ登記所ハ之ヲ送付スヘシ

第四百十三條 登記所ハ申請ニ因リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ爲スヘシ

第四百十四條 登記シタル事項ノ公告ハ官報及ヒ新聞紙上ニ少クモ一回之ヲ爲スコトヲ要ス

公告ハ之ヲ掲載シタル最終ノ官報及ヒ新聞紙發行ノ日ノ翌日之ヲ爲シタルモノト看做ス



第四百十五條 區裁判所ハ毎年十二月ニ翌年登記事項ノ公告ヲ掲載セシムヘキ新聞紙ヲ選定シ官報及ヒ新聞紙ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

公告ヲ掲載セシムヘキ新聞紙カ休刊又ハ廢刊ヲ爲ストキハ更ニ他ノ新聞紙ヲ選定シ前項ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

第四百十六條 區裁判所ハ其管轄内ニ公告ヲ爲サシムルニ適當ナル新聞紙ナシト認ムルトキハ新聞紙上ノ公告ニ代ヘ登記所及ヒ其管轄内ノ市町村役場ノ揭示場ニ公告ヲ爲スコトヲ得

第四百十七條 登記スヘキ事項ノ登記、其變更又ハ消滅ノ登記ハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外當事者ノ申請アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百十八條 當事者ハ登記ヲ受ケタル後其登記ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ管轄登記所ニ其更正ヲ申請スルコトヲ得

第四百十八條ノ二 當事者ハ登記ヲ受ケタル後其登記カ商法又ハ本法ノ規定ニ依リテ許スヘカラサルモノナルコトヲ發見シタルトキハ管轄登記所ニ其抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四百十九條 登記ノ申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス  
申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人又ハ其代理人之ニ署名、捺印スヘシ

一 申請人ノ氏名、住所、會社カ申請人ナルトキハ其商號及ヒ本店又ハ支店  
二 代理人ニ依リテ申請ヲ爲ストキハ其氏名、住所

三 登記ノ目的及ヒ事由

四 年 月 日

五 登記所ノ表示

第四百五十條 本章ノ規定ニ依リ連署ヲ以テ申請ヲ爲スヘキ場合ニ於テ正當ノ事由ニ因リ連署スルコト能ハサル者アルトキハ其ノ他ノ者ノミニテ申請ヲ爲スコトヲ得

連署ヲ爲スコト能ハサル事由ハ之ヲ證明スルコトヲ要ス

第四百五十條ノ二 官廳ノ許可ヲ要スル事項ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ官廳ノ許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第四百五十一條 登記所ハ登記ノ申請カ商法又ハ本章ノ規定ニ適セサルトキハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ却下スヘシ此決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ決定ハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ之ヲ申請人ニ送達スルコトヲ要ス

第四百五十一條ノ二 登記所ハ登記ヲ爲シタル後其登記カ商法又ハ本法ノ規定ニ依リテ許スヘカラサルモノナルコトヲ發見シタルトキハ登記ヲ爲シタル者ニ對シ一ヶ月ヲ超エサル期間ヲ定メ其期間内ニ異議ノ申立ナキトキハ登記ヲ抹消スヘキ旨ヲ通知スヘシ

登記ヲ爲シタル者ノ住所又ハ居所カ知レサルトキハ前項ノ通知ニ代ヘ登記事項ノ公告ト同一ノ方法ヲ以テ公告スヘシ



登記所ハ右ノ外相當ト認ムル新聞紙ニ同一ノ公告ヲ掲載セシムルコトヲ得

第一百五十一條ノ三 異議ノ申立アリタルトキハ登記所ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ其裁判ヲ爲スヘシ

前項ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第一百五十一條ノ四 異議ノ申立ナキトキ又ハ異議ヲ却下スル裁判カ確定シタルトキハ登記所ハ職權ヲ以テ登記ヲ抹消スヘシ

第一百五十一條ノ六 登記所ハ登記ヲ爲シタル後其登記ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ遲滯ナク登記ヲ爲シタル者ニ其旨ヲ通知スヘシ但其錯誤又ハ遺漏カ登記所ノ過誤ニ出テタルトキハ此限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ登記所ハ遲滯ナク地方裁判所長ノ許可ヲ得テ登記ノ更正ヲ爲スヘシ

第一百五十四條 商業登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テハ司法大臣ハ一定ノ期間ヲ定メテ登記ノ回復ニ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第一百五十六條 登記簿ノ調製其他登記ニ關スル施行細則ハ司法大臣之ヲ定ム

第一百五十七條 不動産登記法第十條、第十三條、第十八條、第二十條、第二十二條、第二十四條及ヒ

第五十九條ノ規定ハ商業登記ニ之ヲ準用ス

第一百六十五條 登記所カ第一百五十一條ノ六第二項ノ規定ニ依リ商號ニ關スル登記ノ更正ヲナシタルトキハ遲滯ナク登記ヲ爲シタル者ニ其旨ヲ通知スヘシ

第一百七十五條 清算人ニ關スル登記ハ清算ヲ爲スヘキ會社ノ登記所ノ管轄トス

前項ノ登記ハ會社ノ登記ニ記載シテ之ヲ爲ス

第一百七十六條 清算人ノ選任ノ登記ノ申請書ニハ其選任及ヒ商法第九十條第二號並ニ第三號ニ掲ケタル事項ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第二百六條 民法第八十四條、第一千百七條及ヒ民法施行法第二十二條及ヒ商法第十八條第二項、第二百六十二條、第二百六十二條ノ二及ヒ商法施行法第十一條第二項、第二十七條、第二十九條第二項、

第五十四條、第六十條第二項、第六十九條、第七十五條第三項、第八十七條及ヒ小切手法第七十一條ニ定メタル事件ハ過料ニ處セラルヘキ者ノ住所地ノ地方裁判所ノ管轄トス

第二百七條 過料ノ裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前當事者ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ

當事者及ヒ檢事ハ過料ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

手續ノ費用ハ過料ニ處スル言渡アリタル場合ニ於テハ其言渡ヲ受ケタル者ノ負擔トシ其他ノ場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス

抗告裁判所カ當事者ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタルトキハ抗告手續ノ費用及ビ前審ニ於テ當事者ノ負擔ニ歸シタル費用ハ國庫ノ負擔トス

第二百八條 過料ノ裁判ハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス此命令ハ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效



力ヲ有ス

過料ノ裁判ノ執行ハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス但執行ヲ爲ス前裁判ノ送達ヲ爲スコ  
ヲ要セス

(二) 重要肥料業統制法施行規則

(昭和十一年十一月十一日)  
商工農林省令

第一條 重要肥料業統制法第二條第一項ノ肥料ノ種類ハ左ニ掲グルモノトス

一 硫酸アンモニア

二 石灰窒素

三 過磷酸石灰(重過磷酸石灰ヲ含ム)

硫酸アンモニアヲ八割以上含有スル肥料ハ重要肥料業統制法中輸出又ハ輸入ニ關スル規定ノ適用ニ  
付テハ之ヲ前項第一號ノ肥料ト看做ス

第二條 重要肥料業統制法第二條第二項ノ肥料製造業ハ前條第一項各號ノ一ニ該當スル肥料ヲ製造ス  
ル事業トス但シ副産物トシテ硫酸アンモニアヲ製造スル事業ニシテ其ノ製造數量常時月額千吨ニ達  
セザルモノヲ除ク

第三條 重要肥料業統制法第三條ノ規定ニ依リ肥料製造業組合(以下組合ト稱ス)ヲ設立セントスル  
トキハ組合員タル資格ヲ有スル者發起人ト爲リ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ組合員タル  
資格ヲ有スル者ニ對シ設立ノ同意ヲ求ムベシ

一 目的及事業ノ概要

二 初年度ニ於ケル收支豫算及經費ノ分賦收入方法ノ概要

設立ノ同意ハ前項ノ書面ニ記名捺印スルコトニ依リテ之ヲ爲スベシ

發起人第一項ノ書面ヲ作成シタルトキハ遲滯ナク之ヲ商工大臣及農林大臣ニ届出ヅベシ

第四條 肥料製造業組合令第六條第一項ノ規定ニ依ル同意者アリタルトキ又ハ同條第二項ノ認可アリ  
タルトキハ發起人ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スベシ

肥料製造業組合令第六條第二項ノ規定ニ依ル創立總會招集ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書面ヲ添附  
スベシ

一 特別ノ事由ヲ記載シタル書面

二 設立同意者ノ數ヲ證スル書面

第五條 商工大臣及農林大臣重要肥料業統制法第四條第一項ノ規定ニ依リ組合ノ設立ヲ命ジタルトキ  
ハ左ニ掲グル事項ヲ告示ス



- 一 肥料ノ種類別組合名
- 二 設立委員ノ氏名又ハ名稱及住所
- 三 設立ノ認可ヲ申請スベキ期限

前項第二號ノ設立委員ハ組合員タル資格ヲ有スル者ノ中ヨリ之ヲ命ズ

設立委員ハ遲滞ナク創立總會ヲ招集スベシ

第六條 發起人創立總會ヲ招集スルニハ設立同意者ニ對シ、設立委員創立總會ヲ招集スルニハ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ通知スベシ

第七條 發起人又ハ設立委員ハ定款竝ニ初年度ニ於ケル收支豫算及經費ノ分賦收入方法ノ議案ヲ作成シ之ヲ創立總會ニ提出シ其ノ議決ヲ經ベシ

組合ノ負擔ニ歸スベキ設立費用及其ノ償却方法ハ創立總會ノ承認ヲ經ベシ

第八條 創立總會終了シタルトキハ發起人又ハ設立委員ハ遲滞ナク組合ノ設立ノ認可申請書及役員選任ノ決議ノ認可申請書ヲ商工大臣及農林大臣ニ提出スベシ

第九條 組合ノ設立ノ認可申請書ニハ定款、法定ノ設立同意者アリタルコトヲ證スル書面、創立總會ノ決議録ノ謄本及左ニ掲グル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

- 一 初年度ニ於ケル收支豫算及經費ノ分賦收入方法
- 二 組合ノ負擔ニ歸スベキ設立費用及其ノ償却方法

第十條 組合重要肥料業統制法第十條第二項ノ認可ヲ受ケントスルトキハ認可申請書ニ總會ノ決議録ノ謄本及組合ニ加入セントスル者ニ付左ニ掲グル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附シ之ヲ商工大臣及農林大臣ニ提出スベシ

- 一 氏名及住所、組合ニ加入セントスル者法人ナルトキハ名稱、事務所、定款竝ニ役員ノ氏名及住所
- 二 當該肥料ノ製造工場ノ所在地、一年間ノ工場別製造能力及最近三年間ニ於ケル工場別年別製造數量
- 三 加入ニ關シ條件ヲ附スルトキハ其ノ條件

第十一條 重要肥料業統制法第十條第二項ノ規定ニ依リ組合員ト爲リタル者ノ脫退アリタルトキハ組合ハ其ノ事由ヲ具シ遲滞ナク之ヲ商工大臣及農林大臣ニ届出ヅベシ

第十二條 組合重要肥料業統制法第十一條第一項ノ承認ヲ受ケントスルトキハ當該決定ノ實施期日ノ一月前迄ニ届出書ヲ商工大臣及農林大臣ニ提出スベシ

第十三條 前條ノ届出書ニシテ肥料ノ製造總數量及各組合員ニ對スル其ノ割當ノ決定ニ關スルモノニハ製造總數量、組合員別割當製造數量、實施期日、實施期間其ノ他決定ノ内容ヲ記載スベシ但シ變更決定ノ届出書ニハ變更セントスル事項、實施期日、實施期間其ノ他變更決定ノ内容ヲ記載スベシ前項ノ届出書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

- 一 當該決定ノ實施期間中ニ於ケル需給推算其ノ他製造總數量ノ決定又ハ其ノ變更決定ニ關スル基



基礎資料及説明書

二 組合員別製造能力其ノ他各組合員ニ對スル製造數量ノ割當ノ決定又ハ其ノ變更決定ニ關スル基礎資料及説明書

三 組合員別月別製造豫定數量ヲ記載シタル書類

四 總會ノ決議録ノ謄本

第十四條 第十二條ノ届出書ニシテ肥料ノ販賣價格ノ決定ニ關スルモノニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ但シ變更決定ノ届出書ニハ變更セントスル事項、實施期日、實施期間其ノ他變更決定ノ内容ヲ記載スベシ

一 當該決定ノ實施期間中ニ於ケル受渡月別ノ包装物一箇當内地各驛著渡賃込價格（第一條第一項

第三號ノ肥料ニ付テハ工場渡價格ニ依ルコトヲ得）及撒物一匁當工場渡價格

二 前號ノ價格ヲ以テ行フ取引條件（入目又ハ増目、代金決済方法等）

三 特別ノ事由ニ因リ前二號ノ販賣條件ト異ル販賣條件ニ依ル取引ヲ許容スル場合ニ於テハ其ノ販賣價格及取引條件

四 第一號又ハ第三號ノ價格中ニ算入セラレタル割戻手数料ノ額並ニ第一號又ハ第三號ノ價格中ニ包装費、出荷費又ハ運賃諸掛ヲ含ムモノニ在リテハ各其ノ額

五 實施期日

六 實施期間

七 其ノ他決定ノ内容

前項ノ届出書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 販賣價格ノ決定又ハ其ノ變更決定ニ關スル基礎資料及説明書

二 總會ノ決議録ノ謄本

第十五條 第十二條ノ届出書ニシテ前二條ニ該當セザルモノニハ當該決定事項、實施期日、實施期間其ノ他決定ノ内容ヲ記載スベシ但シ變更決定ノ届出書ニハ變更セントスル事項、實施期日、實施期間其ノ他變更決定ノ内容ヲ記載スベシ

前項ノ届出書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 當該決定又ハ其ノ變更決定ヲ必要トスル事由書

二 當該決定又ハ其ノ變更決定ニ關スル基礎資料及説明書

三 總會ノ決議録ノ謄本

第十六條 重要肥料業統制法第十一條第一項ノ承認ハ承認書ノ交付ニ依リテ之ヲ爲ス

第十七條 組合ノ組合員ハ重要肥料業統制法第十一條第一項ノ規定ニ依ル届出アリタル後一月ヲ經過スルニ非ザレバ其ノ決定ニ基キ肥料ノ生産又ハ販賣ヲ爲スコトヲ得ズ但シ其ノ期間經過前ト雖モ同項ノ承認アリタルトキハ此ノ限ニ在ラズ



第十八條 組合重要肥料業統制法第十一條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク届出ヲ爲シタルコト及其ノ年月日ヲ各組合員ニ通知スベシ

重要肥料業統制法第十一條第一項ノ承認アリタルトキハ組合ハ遲滞ナク承認アリタルコト及其ノ年月日ヲ各組合員ニ通知スベシ

重要肥料業統制法第十一條第三項ノ規定ニ依ル處分アリタルトキハ組合ハ遲滞ナク處分ノ内容及年月日ヲ各組合員ニ通知スベシ

第十九條 肥料製造業者又ハ組合重要肥料業統制法第十二條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ協定事項及統制ノ組織ヲ記載シタル許可申請書ヲ商工大臣及農林大臣ニ提出スベシ

前項ノ許可申請書ニハ統制協定ヲ必要トスル事由ヲ記載シタル書面、統制協定ヲ證スル書面及協定事項ノ基礎ヲ明ニスル書面ヲ添附スベシ

第二十條 重要肥料業統制法第十四條ノ規定ニ依リ組合ノ組合員ニ對シ肥料ノ生産又ハ販賣ニ關スル組合ノ決定ニ從フベキコトヲ命ズル場合ニ於テハ商工大臣及農林大臣ハ豫メ組合及從フベキ事項ヲ指定シ之ヲ告示ス

組合ノ組合員ハ前項ノ指定ニ從ヒ肥料ノ生産又ハ販賣ニ關スル組合ノ決定ニ從フコトヲ要ス

第二十一條 組合ノ組合員ハ組合員ト爲リタル後一月以内ニ左ニ掲グル事項ヲ商工大臣及農林大臣ニ届出ヅベシ

一 氏名及住所、組合員法人ナルトキハ名稱、事務所、定款並ニ役員ノ氏名及住所

二 當該肥料ノ製造工場ノ所在地及一年間ノ工場別製造能力

三 兼營事業又ハ附帶事業ノ概要

組合員ト爲リタル後前項第三號ノ事業ヲ開始シタルトキハ遲滞ナク之ヲ商工大臣及農林大臣ニ届出ヅベシ

第一項各號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク之ヲ商工大臣及農林大臣ニ届出ヅベシ

第二十二條 組合ノ組合員ハ毎月十日迄ニ其ノ前月ニ於ケル業務ノ狀況ヲ商工大臣及農林大臣ニ報告スベシ

組合ノ組合員ハ每營業期ニ於ケル業務ノ狀況ヲ其ノ營業期經過後遲滞ナク商工大臣及農林大臣ニ報告スベシ

組合ノ組合員ハ每營業期經過後遲滞ナク財産目錄、貸借對照表、損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書面ヲ商工大臣及農林大臣ニ提出スベシ

第二十三條 商工大臣及農林大臣監督上必要アリト認ムルトキハ組合ニ對シ收支豫算、經費ノ分賦收入方法又ハ定款ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

第二十四條 組合ノ事業報告及收支決算ハ次ノ事業年度内ニ總會ノ承認ヲ受ケ遲滞ナク之ヲ商工大臣及農林大臣ニ提出スベシ



前項ノ書類ニハ當該事業年度末日現在ニ依リ作成シタル財産目録及總會ノ決議録ノ謄本ヲ添附スベシ

第二十五條 決算殘餘金ノ處分及基本財産ノ處分ハ商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ總會ノ決議録ノ謄本ヲ添附スベシ尙基本財産ノ處分ノ認可申請書ニハ基本財産ノ現況ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

第二十六條 組合借入金ニ關スル決議又ハ基本財産ノ管理ニ關スル決議ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク之ヲ商工大臣及農林大臣ニ届出ヅベシ

前項ノ規定ニ依ル届出書ニハ總會ノ決議録ノ謄本ヲ添附スベシ

第二十七條 組合重要肥料業統制法第六條第二號ノ事業ヲ行ハントスルトキハ其ノ都度商工大臣及農林大臣ノ許可ヲ受クベシ

組合前項ノ許可ヲ受ケントスルトキハ實施計畫及委託方法、手数料ノ額及徵收方法竝ニ實施期日及實施期間ヲ記載シタル許可申請書ヲ商工大臣及農林大臣ニ提出スベシ

前項ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ  
一 當該事業ノ實施ヲ必要トスル事由書

二 總會ノ決議録ノ謄本

第二十八條 組合重要肥料業統制法第六條第二號ノ事業ヲ行フ場合ニ於テハ毎月十五日迄ニ其ノ前月

中ニ販賣シタル肥料ノ數量、價額及主タル販賣先ヲ商工大臣及農林大臣ニ報告スベシ

第二十九條 組合重要肥料業統制法第六條第三號又ハ第四號ノ事業ヲ行ハントスルトキハ其ノ實施前豫メ之ヲ商工大臣及農林大臣ニ届出ヅベシ

前項ノ規定ニ依ル届出書ニハ實施計畫、手数料ヲ徵收スル場合ニ於テハ其ノ額及徵收方法竝ニ實施期日及實施期間ヲ記載スベシ

第二十七條第三項ノ規定ハ第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第三十條 組合定款ノ施行又ハ事業ノ執行ニ關スル規程ヲ定メ又ハ之ヲ改廢セントスルトキハ商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第三十一條 組合ノ收支豫算及經費ノ分賦收入方法ノ決議ノ認可申請書ハ每事業年度開始ノ一月前迄ニ之ヲ商工大臣及農林大臣ニ提出スベシ但シ肥料製造業組合令第十條第三項ノ規定ニ依ル收支豫算及經費ノ分賦收入方法ノ決議ノ認可申請書又ハ收支豫算若ハ經費ノ分賦收入方法ノ變更ノ決議ノ認可申請書ハ議決後遲滯ナク之ヲ提出スベシ

前項ノ認可申請書ニハ總會ノ決議録ノ謄本ヲ添附スベシ

第三十二條 組合ノ定款變更ノ決議ノ認可申請書ニハ總會ノ決議録ノ謄本及理由書ヲ添附スベシ

第三十三條 組合ノ役員選任ノ決議ノ認可申請書ニハ履歷書及總會又ハ創立總會ノ決議録ノ謄本ヲ添附スベシ



肥料製造業組合令第十三條第三項ノ規定ニ依ル役員選任ノ決議ノ認可申請書ニハ前項ノ書類ノ外其ノ選任ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

組合ノ役員解任ノ決議ノ認可申請書ニハ總會ノ決議録ノ謄本ヲ添附スベシ

第三十四條 肥料製造業組合令第二十三條第一項ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

第三十五條 組合ノ解散ノ決議ノ認可申請書ニハ總會ノ決議録ノ謄本及理由書ヲ添附スベシ

第三十六條 重要肥料業統制法第十五條第二項ノ證票ハ別記様式ニ依ル

第三十七條 重要肥料業統制法、肥料製造業組合令又ハ本則ノ規定ニ依リ商工大臣及農林大臣ニ提出スル書類ハ二通ヲ作成シ商工省及農林省ニ各一通ヲ提出スベシ

附 則

本則ハ重要肥料業統制法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別記様式  
表 面

第 號	年	月	日交付
重要肥料業統制法第十五條第二項ノ證票			
官 職 氏 名			
農 林 省 印		商 工 省 印	

本證票用紙ノ寸法ハ商工省告示日本標準規格第九十二號B列八番(64mm×91mm)ニ依ルモノトス



重要肥料業統制法摘要

第十五條第二項 政府監督上必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ肥料製造業組合又ハ其ノ組合員ノ事務所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第二十二條 正當ノ事由ナクシテ第十五條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ報告ヲ爲シ又ハ検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ其ノ他政府ノ命令又ハ處分ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

(三) 重要肥料業委員會官制

(昭和十一年十二月二十六日勅令第四百五十二號)

第一條 重要肥料業委員會ハ内閣總理大臣ノ監督ニ屬シ商工大臣及農林大臣ノ諮問ニ應ジテ重要肥料業統制法第十一條第三項ノ規定ニ依ル處分、同法第十八條ノ規定ニ依ル制限其ノ他同法施行ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

委員會ハ關係各大臣ノ諮問ニ應ジテ前項ニ掲グル事項ノ外重要肥料業ノ統制ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

委員會ハ重要肥料業ノ統制ニ關スル重要事項ニ付關係各大臣ニ建議スルコトヲ得

第二條 委員會ハ會長一人、副會長二人及委員二十人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

前項定員ノ外必要アル場合ニ於テハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第三條 會長ハ内閣總理大臣ヲ以テ之ニ充ツ

副會長ハ商工大臣及農林大臣ヲ以テ之ニ充ツ

委員及臨時委員ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ左ニ掲グル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

一 關係各廳高等官



二 學識經驗アル者

前項第二號ニ掲グル者ノ中ヨリ命ゼラレタル委員ノ任期ハ二年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨グズ

第四條 會長ハ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ會 事故アルトキハ内閣總理大臣ノ指名スル副會長其ノ職務ヲ代理ス

第五條 委員會ニ幹事ヲ置ク内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

幹事ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第六條 委員會ニ書記ヲ置ク内閣ニ於テ之ヲ命ズ

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(四) 硫酸アンモニア輸出入許可規則

昭和十二年三月十五日  
商工、農林省令第一號  
昭和十三年十二月二十七日  
商工、農林省令第二號改正

第一條 硫酸アンモニアハ重要肥料業統制法第十八條ノ規定ニ依リ昭和十五年十二月三十一日迄ハ商

工大臣及農林大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ輸出シ又ハ輸入スルコトヲ得ズ但シ帝國法令ニ依リ設立シタル會社ノ製造ニ係ル硫酸アンモニアヲ輸入スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 硫酸アンモニアノ輸出ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル輸出許可申請

書ヲ商工大臣及農林大臣ニ提出スベシ

一 數量

二 輸出港

三 仕向港及仕向地

四 輸出時期

五 製造者ノ氏名又ハ名稱

重要肥料業統制法施行規則第一條第二項ノ肥料ノ輸出ノ許可ヲ申請スル場合ニ於テハ前項ニ掲グル事項ノ外輸出許可申請書ニ肥料ノ名稱及硫酸アンモニアヲ含有スル割合ヲ記載シ尙前項第一號ノ數量ハ肥料ノ名稱別ニ之ヲ記載スベシ

第三條 硫酸アンモニアノ輸入ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル輸入許可申請

書ヲ商工大臣及農林大臣ニ提出スベシ

一 數量



- 二 積出港
- 三 輸入港
- 四 積出時期
- 五 輸入時期
- 六 製造地

前條第二項ノ規定ハ重要肥料業統制法施行規則第一條第二項ノ肥料ノ輸入ノ許可ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第四條 商工大臣及農林大臣心要アリト認ムルトキハ第二條ノ輸出許可申請書又ハ前條ノ輸入許可申請書ノ提出時期ヲ指定スルコトアルベシ  
前項ノ指定ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示ス

第五條 商工大臣及農林大臣硫酸アンモニアノ輸出又ハ輸入ヲ許可スルトキハ輸出ノ場合ニ在リテハ輸出ノ期間ヲ、輸入ノ場合ニ在リテハ積出及輸入ノ期間ヲ指定ス

商工大臣及農林大臣ハ正當ノ事由アリト認ムル場合ニ限り前項ノ期間ノ延長ヲ許可スルコトアルベシ

硫酸アンモニアノ輸出又ハ輸入ノ許可ヲ受ケタル者前二項ノ期間内ニ輸出又ハ積出若ハ輸入ヲ爲サザルトキハ許可ハ其ノ効力ヲ失フ

第六條 硫酸アンモニアノ輸出又ハ輸入ノ許可ヲ受ケタル者第二條第一項第一號若ハ第三號又ハ第三條第一項第一號若ハ第二號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ事由ヲ具シ商工大臣及農林大臣ノ許可ヲ受クベシ第二條第二項又ハ第三條第二項ノ規定ニ依リ準用スル第二條第二項ノ規定ニ依リ記載シタル事項ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第七條 硫酸アンモニアノ輸出又ハ輸入ノ許可ヲ受ケタル者輸出港又ハ輸入港ヲ變更セントスルトキハ豫メ之ヲ商工大臣及農林大臣ニ届出ヅベシ

第八條 硫酸アンモニア輸出又ハ輸入ノ許可ヲ受ケタル者ハ輸出又ハ輸入ヲ爲ス場合ニ於テ商工大臣及農林大臣ノ交付スル輸出許可書又ハ輸入許可書ヲ輸出又ハ輸入ノ手續ヲ爲スベキ税關ニ提出スベシ

第九條 硫酸アンモニアノ輸入ノ許可ヲ受ケタル者ハ硫酸アンモニアノ積出アリタルトキハ其ノ都度遅滞ナク積出ノ數量、積出港、船名及積出ノ年月日ヲ商工大臣及農林大臣ニ届出ヅベシ

第十條 硫酸アンモニアノ輸出又ハ輸入ノ許可ヲ受ケタル者輸出又ハ輸入ヲ爲シタルトキハ其ノ都度遅滞ナク左ニ掲グル事項ヲ商工大臣及農林大臣ニ届出ヅベシ



- 一 輸出又ハ輸入ノ許可ヲ受ケタル數量及許可ノ年月日
- 二 輸出又ハ輸入ノ數量及價額
- 三 輸出港又ハ輸入港
- 四 輸出又ハ輸入ノ年月日
- 五 輸出ノ場合ニ在リテハ仕向港及仕向地並ニ製造者ノ氏名又ハ名稱、輸入ノ場合ニ在リテハ製造地

重要肥料業統制法施行規則第一條第二項ノ肥料ノ輸出又ハ輸入ヲ爲シタル場合ニ於テハ前項第一號ノ數量並ニ同項第二號ノ數量及價額ハ肥料ノ名稱別ニ之ヲ記載スベシ

第十一條 第一條但書ノ規定ニ依リ硫酸アンモニアヲ輸入セントスル者ハ當該硫酸アンモニアガ帝國法令ニ依リ設立シタル會社ノ製造ニ係ルモノナルコトヲ證スル書面ヲ輸入ノ手續ヲ爲スベキ稅關ニ提出スベシ

前項ノ證明書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ當該硫酸アンモニアノ製造地ノ帝國領事館其ノ他ノ帝國官廳ノ證明アルコトヲ要ス

- 一 輸入者ノ氏名又ハ名稱及住所
- 二 數量
- 三 製造シタル會社ノ商號及本店ノ所在地

四 製造地

五 積出港及積出時期

六 輸入港

第十二條 第一條但書ノ規定ニ依リ硫酸アンモニアノ輸入ヲ爲シタル者ハ輸入ノ都度遲滯ナク左ニ掲グル事項ヲ商工大臣及農林大臣ニ届出ヅベシ

- 一 數量及價額
- 二 製造シタル會社ノ商號及本店ノ所在地
- 三 製造地
- 四 輸入港
- 五 輸入ノ年月日

第十三條 硫酸アンモニアノ移出又ハ移入ヲ爲シタル者ハ移出又ハ移入ノ都度遲滯ナク其ノ數量、移出港又ハ移入港、仕向港又ハ積出港及移出又ハ移入ノ年月日ヲ商工大臣及農林大臣ニ届出ヅベシ

第十四條 本則ノ規定ニ依リ商工大臣及農林大臣ニ提出スル書類ハ二通ヲ作成シ商工省及農林省ニ各一通ヲ提出スベシ

第十五條 第七條、第九條、第十條、第十二條、第十三條又ハ附則第三項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スベキ場合ニ於テ之ヲ爲サズ又ハ不實ノ届出ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス



附 則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本則施行前輸出ノ目的ヲ以テ既ニ賣買契約（國內取引ヲ除ク）ヲ爲シタル硫酸アンモニアヲ昭和十二年四月十五迄ニ輸出スル場合又ハ本則施行ノ際現ニ保稅地域ニ在ル硫酸アンモニア若ハ内地ニ向ケ輸送ノ途ニ在ル硫酸アンモニアヲ輸入スル場合ニ於テ本則施行後十五日以内ニ第二條又ハ第三條ニ掲グル事項ヲ商工大臣及農林大臣ニ届出デタル者ハ第一條ノ規定ニ拘ラズ輸出又ハ輸入ヲ爲スコトヲ得第十條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ硫酸アンモニアノ輸出又ハ輸入ヲ爲シタル者ニ之ヲ準用ス昭和十二年四月十五日迄ニ第一條但書ノ規定ニ依リ硫酸アンモニアヲ輸入スル者本則施行後十五日以内ニ第十一條第二項各號ニ掲グル事項ヲ商工大臣及農林大臣ニ届出デタル場合ニ於テハ第十一條第一項ノ規定ニ拘ラズ輸入ヲ爲スコトヲ得

(附)

○ 硫安肥料製造業組合定款

(昭和十一年十二月二十四日認可)

第一章 總 則

第一條 本組合ハ硫酸アンモニアノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖リ硫酸アンモニア製造業ノ改善發達ヲ期スルコトヲ目的トス

第二條 本組合ハ硫安肥料製造業組合ト稱ス

第三條 本組合ノ主タル事務所ヲ東京市ニ置キ從タル事務所ヲ大阪市ニ置ク

第四條 本組合ハ重要肥料業統制法ノ規定スル硫酸アンモニア製造業ヲ營ム者ヲ以テ之ヲ組織ス但シ重要肥料業統制法施行地域外ニ於テ硫酸アンモニア製造業ヲ營ム者ヲ組合員ト爲スコトヲ得

第五條 本組合ノ公告ハ官報ニ掲載シテ之ヲ爲ス

第六條 本組合ハ定款及總會ノ決議録ヲ各事務所ニ備ヘ且組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クモノトス

組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載ス

- 一 組合員ノ氏名及住所、法人タル組合員ニ在リテハ其ノ名稱、事務所並ニ役員ノ氏名及住所
- 二 組合員ノ硫酸アンモニアノ製造工場ノ所在地及一年間ノ工場別製造能力
- 三 經費徵收ノ基礎ト爲ルベキ事項

組合員名簿ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ理事長ハ遲滯ナク之ヲ訂正スベシ

第二章 組合員ノ權利義務

第七條 組合員ハ本組合ニ對シ左ノ權利ヲ有ス

- 一 總會ニ出席シ其ノ議決權ヲ行使スルコト
- 二 定款ノ定ムル所ニ從ヒ役員ヲ選舉シ又ハ役員ニ選舉セララルコト



- 三 組合ノ設備ヲ利用スルコト
  - 四 組合ノ業務及財産ノ狀況ニ付理事ノ説明ヲ求メ又ハ組合ノ書類及帳簿ノ閲覧ヲ請求スルコト
- 第八條 組合員ハ本組合ニ對シ左ノ義務ヲ負フ

- 一 定款及決議ヲ遵守スルコト
- 二 左ノ事項ヲ届出ヅルコト

- イ 第六條第二項各號ニ掲グル事項
- ロ 兼營事業又ハ附帶事業ノ概要

- 三 前號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク之ヲ届出ヅルコト
- 四 組合所定ノ報告ヲ爲ス外照會質問ニ對シ速ニ正確ナル回答ヲ爲スコト
- 五 分賦收入方法ノ定ムル所ニ從ヒ組合ノ經費ヲ負擔スルコト
- 六 組合解散ノ場合ニ於テ組合ニ債務アルトキハ解散前五年間ニ於ケル分賦金ノ累計額ニ比例シ其ノ債務ヲ分擔スルコト但シ加入前又ハ脱退後ニ生ジタル債務ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第九條 第四條但書ノ規定ニ依リ組合員ト爲リタル者ハ組合ノ承認ヲ得ルニ非ザレバ脱退スルコトヲ得ズ

前項ノ承認ハ總會ニ於テ組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ決ス

第三章 事業及其ノ執行

第十條 本組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 硫酸アンモニアノ製造總數量及各組合員ニ對スル其ノ割當ノ決定、販賣價格ノ決定其ノ他生産又ハ販賣ニ關スル決定
- 二 組合員ノ委託ニ依ル硫酸アンモニアノ販賣但シ前號ノ決定ヲ實行スル爲必要アル場合ニ限ル
- 三 組合員ノ硫酸アンモニア製造業ニ必要ナル物ノ供給
- 四 其ノ他組合ノ目的達成上必要ナル事業

第十一條 本組合ガ製造總數量及各組合員ニ對スル其ノ割當ノ決定ヲ爲シタル場合ニ於テハ各組合員ハ其ノ割當テラレタル數量ハ之ヲ製造スベキモノトス但シ已ムコトヲ得ザル事由アル場合ニ於テ組合ノ承認ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ承認ヲ爲シタルトキハ組合ハ遲滯ナク之ヲ商工大臣及農林大臣ニ届出ヅルモノトス

第十二條 本組合ガ製造總數量及各組合員ニ對スル其ノ割當ノ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ組合員ノ製造數量ガ當該決定ニ依リ割當テラレタル製造數量ニ達セザルノ虞アリ爲ニ當該決定ニ依ル製造總數量ニ相當ノ不足ヲ生ズルノ虞アルトキハ組合ハ當該決定ニ依ル製造總數量ノ製造ヲ確保スル目的ヲ以テ遲滯ナク割當製造數量ノ變更決定ヲ爲スモノトス

第十三條 第十一條ニ掲グル場合ノ外本組合ガ第十條第一號ノ規定ニ依リ各組合員ニ對シ生産又ハ販賣ニ關スル決定ヲ爲シタル場合ニ於テハ各組合員ハ其ノ決定ニ從フベキモノトス



第十四條 本組合ハ第十條第一號ノ決定ヲ實行スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ總會ノ決議ヲ以テ各組合員ヲシテ其ノ製造ニ係ル硫酸アンモニアノ販賣ヲ組合ニ委託セシムルコトヲ得

前項ノ決議ハ總組合員ノ三分ノ二以上出席シ其ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ爲ス

第十五條 組合員ハ其ノ硫酸アンモニアノ製造數量、在庫數量及出荷數量ヲ記載シタル日報ヲ組合ニ提出スベシ

第十六條 本組合ハ必要アル場合ニ於テハ組合員ノ硫酸アンモニアノ製造數量及在庫數量並ニ販賣狀況及出荷狀況ヲ検査スルコトヲ得

前項ノ検査ハ本組合ノ検査員ヲシテ之ヲ行ハシム

第十七條 第十條第二號乃至第四號ノ事業ヲ行フ場合ニ於テハ本組合ハ手数料ヲ徴收スルコトヲ得

前項ノ手数料ノ額及徴收方法ハ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 第十條第一號及第二號ノ事業ノ執行ニ關スル規程ハ總會ノ議決ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

前項ノ決議ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ爲ス

第四章 役員

第十九條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

理事 十五名以内

監事 五名以内

理事ノ中一名ヲ理事長、三名ヲ常務理事トシ理事ノ互選ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 理事及監事ハ總會ニ於テ組合員又ハ組合員タル法人ノ役員ノ中ヨリ之ヲ選任ス

特別ノ事由アルトキハ理事又ハ監事ハ前項ニ該當セザル者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第二十一條 理事又ハ監事ニ選任セラレタル者ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ辭スルコトヲ得ズ

第二十二條 理事又ハ監事組合ニ對シ不正ノ行爲アリ又ハ不適任ト認メラルルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

總會ニ於テ理事又ハ監事ノ解任ノ決議ヲ爲シタルトキハ同時ニ其ノ後任者ノ選任ノ決議ヲ爲ス

第二十三條 辭任其ノ他ノ事由ニ因リ理事又ハ監事ニ缺員ヲ生ジタルトキハ臨時總會ヲ開キ之ヲ補缺スルモノトス但シ理事八名以上監事三名以上存スルトキハ次ノ總會迄其ノ補缺ヲ延期スルコトヲ得

第二十四條 理事ノ任期ハ二年トシ監事ノ任期ハ一年トス但シ再選ヲ妨ゲズ

理事長及常務理事ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ

補缺ノ爲選任セラレタル者ノ任期ハ其ノ前任者ノ殘任期間トス

役員ハ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就職スル迄ハ引續キ其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十五條 理事長ハ組合ヲ代表シ組合ノ業務ヲ總理ス

常務理事ハ理事長ヲ輔佐シ常務ヲ執行ス



理事長事故アルトキハ豫メ理事會ニ於テ決定シタル理事之ヲ代理ス

## 第二十六條 監事ノ職務左ノ如シ

- 一 組合ノ財産ノ狀況ヲ監査スルコト
- 二 理事ノ業務執行ノ狀況ヲ監査スルコト
- 三 財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ總會又ハ商工大臣及農林大臣ニ報告スルコト

四 前號ノ報告ヲ爲ス爲必要アルトキハ總會ヲ招集スルコト

五 組合ト理事トノ利益相反スル事項ニ付組合ヲ代表スルコト

六 理事缺ケタルトキ其ノ職務ヲ行フコト但シ其ノ期間ハ三月ヲ超ユルコトヲ得ズ

第二十七條 理事及監事ノ報酬及賞與ハ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

## 第五章 會 議

第二十八條 會議ヲ分チテ總會及理事會トス

總會ハ組合員ヲ以テ之ヲ組織シ理事會ハ理事ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十九條 通常總會ハ毎年六月及八月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一 理事長必要ト認メタルトキ

二 監事第二十六條第四號ニ依リ必要ト認メタルトキ

三 第三十二條ニ依リタルトキ

第三十條 總會ニ於テ議決スベキ事項左ノ如シ

一 收支豫算

二 經費ノ分賦收入方法

三 事業報告及收支決算ノ承認

四 決算殘餘金ノ處分

五 借 入 金

六 基本財産ノ造成、管理及處分

七 第十條第一號ノ決定

八 第十條第二號又ハ第三號ノ事業ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ實施計畫及委託方法竝ニ手数料ノ額及

徵收方法

九 第十條第四號ノ事業ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ實施計畫竝ニ手数料ヲ徵收スル場合ニ於ケル其ノ額及徵收方法

十 定款ノ變更

十一 役員ノ選任及解任



十二 重要肥料業統制法施行地域外ニ於テ硫酸アンモニアノ製造業ヲ營ム者ノ加入

十三 其ノ他理事長ニ於テ必要ト認メタル事項竝ニ法令又ハ定款ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事項

第三十一條 總會ハ理事長之ヲ招集ス

第三十二條 組合員ハ總組合員ノ四分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載

シタル書面ヲ理事長ニ提出シテ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

理事長正當ノ理由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル請求アリタル後二週間以内ニ總會招集ノ手續ヲ爲サザ

ルトキハ請求者ハ商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

第三十三條 總會ヲ招集スルニハ少クトモ十日日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ各組合員ニ通知スベシ

總會ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ豫メ通知シタル事項ニ付テノミ議決ヲ爲スコトヲ得

第三十四條 總會ハ理事長ヲ以テ議長トス理事長事故アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ代理ス

監事又ハ第三十二條ニ依ル請求者ノ招集シタル總會ハ總會ヲ招集シタル者ヲ以テ議長トス其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

第三十五條 總會ノ議事ハ法令又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可ク同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス

前項ノ代理人ハ組合員タルコトヲ要ス但シ法人タル組合員ハ其ノ業務ヲ執行スル役員又ハ登記シタル支配人ヲ代理人ト爲スコトヲ得

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ提出スベシ

第三十六條 第三十條第七號、第十號及第十一號ニ掲グル事項ハ總組合員ノ半数以上出席シ其ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

第三十七條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ書面ニ依ル組合員ノ表決ヲ以テ總會ノ議決ニ代フルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ表決ヲ求メントスルトキハ理事長ハ十日ヲ下ラザル期限ヲ定ムベシ期限内ニ到達セザル表決ハ採決ノ數ニ加ヘザルモノトス

第三十八條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノハ理事長商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ理事長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ報告ヲ爲スベシ

第三十九條 組合員ハ總會ニ於テ各一個ノ議決權ヲ有ス

第四十條 總會ノ決議録ハ議長之ヲ作成シ左ノ事項ヲ記載シ議長及出席者二名以上之ニ記名捺印スベシ

一 開會ノ日時及場所

二 總會ヲ組織スル者ノ數



三 出席者數及其ノ氏名又ハ名稱

四 議事ノ要領

五 議決シタル事項及贊否ノ數

第四十一條 理事會ノ職務權限左ノ如シ

一 總會ニ付議スベキ議案ノ決定

二 業務ノ執行ニ關スル決定

三 其ノ他理事長ニ於テ必要ト認メタル事項

第四十二條 理事會ハ理事長之ヲ招集ス

理事會ノ決議ハ理事ノ半數以上ノ同意ヲ以テ之ヲ爲ス

理事會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ理事長ハ書面ニ依ル理事ノ表決ヲ以テ理事

會ノ議決ニ代フルコトヲ得

第四十三條 本組合ニ參與ヲ置キ理事長ノ諮問ニ應ゼシム

參與ハ參與會ヲ組織ス

參與會ニ關スル規程ハ總會ノ議決ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

第六章 會 計

第四十四條 本組合ノ事業年度ハ一年トシ八月一日ニ始リ翌年七月三十一日ニ終ル

第四十五條 理事長ハ每事業年度ノ終ニ於テ左ノ書類ヲ調製シ通常總會ノ會日ヨリ少クトモ一週間前

ニ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フベシ

一 財産目錄

二 收支決算書

三 事業報告書

四 決算殘餘金處分案

第四十六條 監事前條ニ掲ゲタル書類ヲ受理シタルトキハ遲滯ナク之ヲ監査シ意見書ヲ附シテ之ヲ理  
事長ニ送付スベシ

理事長ハ前條ノ書類及監事ノ意見書ヲ通常總會ニ提出シ其ノ承認ヲ求ムル事ヲ要ス

第四十七條 本組合ノ經費ハ組合員ノ負擔トシ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ賦課スルモノトス

第四十八條 組合員本組合ニ支拂フベキ金錢ヲ滯納シタルトキハ理事長ハ期限ヲ指定シテ督促スルモ  
ノトス

滯納金ニ對シテハ百圓ニ付一日四錢ノ割合ヲ以テ延滯金ヲ徴收ス

第四十九條 本組合ノ收支豫算及經費ノ分賦收入方法ハ毎年六月通常總會ニ於テ之ヲ議決スルモノト  
ス

第五十條 第十條第二號ノ事業ヲ行フ場合ニ於ケル收入支出ハ他ノ事業ニ關スル會計ト區分シテ之ヲ





經理スルモノトス

第五十一條 本組合ニ左ノ帳簿ヲ備フ

- 一 財産臺帳
- 二 經費徵收原簿
- 三 出納簿
- 四 其ノ他必要ナル帳簿

第七章 違約處分

第五十二條 組合員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ二百圓以上五千圓以下ノ過怠金ヲ課ス

- 一 第八條第二號又ハ第三號ノ届出ヲ怠リ又ハ不實ノ届出ヲ爲シタルトキ
- 二 第八條第四號ノ報告若ハ回答ヲ怠リ又ハ不實ノ報告若ハ回答ヲ爲シタルトキ
- 三 第十一條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ
- 四 第十三條ノ規定ニ違反シタルトキ
- 五 第十四條第一項ノ規定ニ違反シ其ノ製造ニ係ル硫酸アンモニアノ販賣ヲ組合ニ委託セザルトキ
- 六 第十五條ノ日報ノ提出ヲ怠リ又ハ不實ノ日報ノ提出ヲ爲シタルトキ
- 七 第十六條ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨グ又ハ忌避シタルトキ
- 八 第十八條第一項ノ規程中ニ組合員ノ義務ニ關スル規定ヲ定メタル場合ニ於テ之ニ違反シタルトキ

キ

第五十三條 違約處分ハ總會ノ議決ヲ經テ理事長之ヲ行フ

違約者ハ前項ノ議決ニ加ハルコトヲ得ズ

違約處分決定シタルトキハ理事長ハ違約者ノ氏名又ハ名稱及住所、違約事實、過怠金ノ額並ニ手續費用ヲ記載シタル處分書ヲ作成シ之ヲ違約者ニ送付ス

第五十四條 前條ノ處分ニ不服アル者ハ處分書ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ一週間以内ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第五十五條 異議ノ申立アリタルトキハ其ノ申立アリタル日ヨリ一月以内ニ異議裁決委員會ニ於テ之ヲ裁決ス

前項ノ裁決ニ對シテハ更ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得ズ

第五十六條 異議裁決委員會ハ異議ノ申立アリタル際總會ニ於テ選任シタル委員五名ヲ以テ之ヲ組織ス

第五十七條 違約者ハ處分書ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ二週間以内ニ過怠金ヲ納付スベシ但シ異議ノ申立ヲ爲シタルトキハ裁決書ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ一週間以内ニ之ヲ納付スベシ

第八章 解散

第五十八條 本組合ノ解散ノ決議ハ總會ニ於テ總組合員ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ以テ之ヲ爲ス



第五十九條 本組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル但シ總會ノ決議ニ依リ組合員又ハ組合員タル法人ノ役員ノ中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第六十條 解散ノ決議ヲ爲ス場合ニ於テハ併セテ殘餘財産ノ處分方法ヲ議決シ商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ受クルモノトス

附 則

本組合ノ設立當時ノ事業年度ハ第四十四條ノ規定ニ拘ラズ設立認可ノ日ヨリ昭和十二年七月三十一日迄トス

創立總會ニ於テ選任セラレタル役員ノ任期ハ第二十四條第一項ノ規定ニ拘ラズ理事ニ在リテハ昭和十三年八月ノ通常總會ノ日迄トシ監事ニ在リテハ昭和十二年八月ノ通常總會ノ日迄トス

○ 石灰窒素肥料製造業組合定款

(昭和十一年十二月二十四日認可)

第一章 總 則

第一條 本組合ハ石灰窒素ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖リ石灰窒素製造業ノ改善發達ヲ期スルコトヲ目的トス

第二條 本組合ハ石灰窒素肥料製造業組合ト稱ス

第三條 本組合ノ主タル事務所ヲ東京市ニ置ク

第四條 本組合ハ重要肥料業統制法ノ規定スル石灰窒素製造業ヲ營ム者ヲ以テ之ヲ組織ス但シ重要肥料業統制法施行地域外ニ於テ石灰窒素製造業ヲ營ム者ヲ組合員ト爲スコトヲ得

第五條 本組合ノ公告ハ官報ニ掲載シテ之ヲ爲ス

第六條 本組合ハ定款、總會ノ決議録及組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クモノトス

組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載ス

- 一 組合員ノ氏名及住所、法人タル組合員ニ在リテハ其ノ名稱、事務所並ニ役員ノ氏名及住所
- 二 組合員ノ石灰窒素ノ製造工場ノ所在地及一年間ノ工場別製造能力
- 三 經費徵收ノ基礎ト爲ルベキ事項

組合員名簿ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ理事長ハ遲滯ナク之ヲ訂正スベシ

第二章 組合員ノ權利義務

第七條 組合員ハ本組合ニ對シ左ノ權利ヲ有ス

- 一 總會ニ出席シ其ノ議決權ヲ行使スルコト
- 二 定款ノ定ムル所ニ從ヒ役員ヲ選舉シ又ハ役員ニ選舉セララルコト
- 三 組合ノ設備ヲ利用スルコト



四 組合ノ業務及財産ノ狀況ニ付理事ノ説明ヲ求メ又ハ組合ノ書類及帳簿ノ閲覧ヲ請求スルコト

第八條 組合員ハ本組合ニ對シ左ノ義務ヲ負フ

一 定款及決議ヲ遵守スルコト

二 左ノ事項ヲ届出ヅルコト

イ 第六條第二項各號ニ掲グル事項

ロ 兼營事業又ハ附帶事業ノ概要

三 前號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク之ヲ届出ヅルコト

四 組合所定ノ報告ヲ爲ス外照會質問ニ對シ速ニ正確ナル回答ヲ爲スコト

五 分賦收入方法ノ定ムル所ニ從ヒ組合ノ經費ヲ負擔スルコト

六 組合解散ノ場合ニ於テ組合ニ債務アルトキハ總會ノ決議ニ依リ其ノ債務ヲ分擔スルコト

第九條 第四條但書ノ規定ニ依リ組合員ト爲リタル者ハ組合ノ承認ヲ得ルニ非ザレバ脱退スルコトヲ得ズ

前項ノ承認ハ總會ニ於テ組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ決ス

### 第三章 事業及其ノ執行

第十條 本組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

一 石灰窒素ノ製造總數量及各組合員ニ對スル其ノ割當ノ決定、販賣價格ノ決定其ノ他生産又ハ販

### 賣ニ關スル決定

二 組合員ノ委託ニ依ル石灰窒素ノ販賣但シ前號ノ決定ヲ實行スル爲必要アル場合ニ限ル

三 組合員ノ石灰窒素製造業ニ必要ナル物ノ供給

四 其ノ他組合ノ目的達成上必要ナル事業

第十一條 本組合ガ製造總數量及各組合員ニ對スル其ノ割當ノ決定ヲ爲シタル場合ニ於テハ各組合員ハ其ノ割當テラレタル數量ハ之ヲ製造スベキモノトス但シ已ムコトヲ得ザル事由アル場合ニ於テ組合ノ承認ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ承認ヲ爲シタルトキハ組合ハ遲滞ナク之ヲ商工大臣及農林大臣ニ届出ヅルモノトス

第十二條 本組合ガ製造總數量及各組合員ニ對スル其ノ割當ノ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ組合員ノ製造數量ガ當該決定ニ依リ割當テラレタル製造數量ニ達セザルノ虞アリ爲ニ當該決定ニ依ル製造總數量ニ相當ノ不足ヲ生ズルノ虞アルトキハ組合ハ遲滞ナク割當製造數量ノ變更決定ヲ爲シ其ノ不足見込數量ヲ他ノ製造力ニ餘裕アル組合員ニ割當テ之ガ製造ヲ爲サシムルモノトス

第十三條 第十一條ニ掲グル場合ノ外本組合ガ第十條第一號ノ規定ニ依リ各組合員ニ對シ生産又ハ販賣ニ關スル決定ヲ爲シタル場合ニ於テハ各組合員ハ其ノ決定ニ從フベキモノトス

第十四條 本組合ハ第十條第一號ノ決定ヲ實行スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ總會ノ決議ヲ以テ各組合員ヲシテ其ノ製造ニ係ル石灰窒素ノ販賣ヲ組合ニ委託セシムルコトヲ得



前項ノ決議ハ總組合員ノ三分ノ二以上出席シ其ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ爲ス

第十五條 組合員ハ其ノ石灰窒素ノ製造數量、在庫數量及出荷數量ヲ記載シタル日報ヲ組合ニ提出スベシ

第十六條 本組合ハ必要アル場合ニ於テハ組合員ノ石灰窒素ノ製造數量及在庫數量竝ニ販賣狀況及出荷狀況ヲ検査スルコトヲ得

前項ノ検査ハ本組合ノ検査員ヲシテ之ヲ行ハシム

第十七條 第十條第二號乃至第四號ノ事業ヲ行フ場合ニ於テハ本組合ハ手数料ヲ徴收スルコトヲ得

前項ノ手数料ノ額及徴收方法ハ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 第十條第一號及第二號ノ事業ノ執行ニ關スル規程ハ總會ノ議決ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

前項ノ決議ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ爲ス

第四章 役員

第十九條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

理事 八名

監事 三名

理事ノ中一名ヲ理事長、一名ヲ専務理事トシ理事ノ互選ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 理事及監事ハ總會ニ於テ組合員又ハ組合員タル法人ノ役員ノ中ヨリ之ヲ選任ス

特別ノ事由アルトキハ理事又ハ監事ハ前項ニ該當セザル者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第二十一條 理事又ハ監事ニ選任セラレタル者ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ辭スルコトヲ得ズ

第二十二條 理事又ハ監事組合ニ對シ不正ノ行爲アリ又ハ不適任ト認めラルルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

總會ニ於テ理事又ハ監事ノ解任ノ決議ヲ爲シタルトキハ同時ニ其ノ後任者ノ選任ノ決議ヲ爲ス

第二十三條 辭任其ノ他ノ事由ニ因リ理事又ハ監事ニ缺員ヲ生ジタルトキハ臨時總會ヲ開キ之ヲ補缺スルモノトス但シ理事五名以上監事一名以上存スルトキハ次ノ總會迄其ノ補缺ヲ延期スルコトヲ得

第二十四條 理事ノ任期ハ二年トシ監事ノ任期ハ一年トス但シ再選ヲ妨ゲズ

理事長及専務理事ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ

補缺ノ爲選任セラレタル者ノ任期ハ其ノ前任者ノ殘任期間トス

役員ハ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就職スル迄ハ引續キ其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十五條 理事長ハ組合ヲ代表シ組合ノ業務ヲ總理ス

専務理事ハ理事長ヲ輔佐シ常務ヲ執行ス

理事長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ代理者ヲ定ム

第二十六條 監事ノ職務左ノ如シ

一 組合ノ財産ノ狀況ヲ監査スルコト



二 理事ノ業務執行ノ狀況ヲ監査スルコ  
 三 財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ總會又ハ商工大臣及農林大臣ニ報告スルコト

四 前號ノ報告ヲ爲ス爲必要アルトキハ總會ヲ招集スルコト  
 五 組合ト理事トノ利益相反スル事項ニ付組合ヲ代表スルコト  
 六 理事缺ケタルトキハ其ノ職務ヲ行フコト但シ其ノ期間ハ三月ヲ超ユルコトヲ得ズ

第二十七條 理事及監事ノ報酬及賞與ハ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第五章 會 議

第二十八條 會議ヲ分チテ總會及理事會トス

總會ハ組合員ヲ以テ之ヲ組織シ理事會ハ理事ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十九條 通常總會ハ毎年六月及八月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一 理事長必要ト認メタルトキ
- 二 監事第二十六條第四號ニ依リ必要ト認メタルトキ
- 三 第三十二條ニ依リタルトキ

第三十條 總會ニ於テ議決スベキ事項左ノ如シ

一 收支豫算

二 經費ノ分賦收入方法

三 事業報告及收支決算ノ承認

四 決算殘餘金ノ處分

五 借 入 金

六 基本財産ノ造成、管理及處分

七 第十條第一號ノ決定

八 第十條第二號又ハ第三號ノ事業ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ實施計畫及委託方法並ニ手数料ノ額及

徵收方法

九 第十條第四號ノ事業ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ實施計畫並ニ手数料ヲ徵收スル場合ニ於ケル其ノ

額及徵收方法

十 定款ノ變更

十一 役員ノ選任及解任

十二 重要肥料業統制法施行地域外ニ於テ石灰窒素ノ製造業ヲ營ム者ノ加入

十三 其ノ他理事長ニ於テ必要ト認メタル事項並ニ法令又ハ定款ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事項

第三十一條 總會ハ理事長之ヲ招集ス



第三十二條 組合員ハ總組合員ノ四分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ理事長ニ提出シテ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

理事長正當ノ理由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル請求アリタル後二週間以内ニ總會招集ノ手續ヲ爲サザルトキハ請求者ハ商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

第三十三條 總會ヲ招集スルニハ少クトモ十日日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ各組合員ニ通知スベシ

總會ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ豫メ通知シタル事項ニ付テノミ議決ヲ爲スコトヲ得但シ緊急且輕微ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十四條 總會ハ理事長ヲ以テ議長トス理事長事故アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ代理ス

監事又ハ第三十二條ニ依ル請求者ノ招集シタル總會ハ總會ヲ招集シタル者ヲ以テ議長トス其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

第三十五條 總會ノ議事ハ法令又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス

前項ノ代理人ハ組合員タルコトヲ要ス但シ法人タル組合員ハ其ノ業務ヲ執行スル役員又ハ登記シタル支配人ヲ代理人ト爲スコトヲ得

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ提出スベシ

第三十六條 第三十條第七號、第十號及第十一號ニ掲グル事項ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

第三十七條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ書面ニ依ル組合員ノ表決ヲ以テ總會ノ議決ニ代フルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ表決ヲ求メントスルトキハ理事長ハ十日ヲ下ラザル期限ヲ定ムベシ期限内ニ到達セザル表決ハ採決ノ數ニ加ヘザルモノトス

第三十八條 總會ノ決議ヲ經ベキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノハ理事長商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ理事長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ報告ヲ爲スベシ

第三十九條 組合員ハ總會ニ於テ各一個ノ議決權ヲ有ス

第四十條 總會ノ決議錄ハ議長之ヲ作成シ左ノ事項ヲ記載シ議長及出席者二名以上之ニ記名捺印スベシ

一 開會ノ日時及場所

二 總會ヲ組織スル者ノ數

三 出席者數及其ノ氏名又ハ名稱



四 議事ノ要領

五 議決シタル事項及贊否ノ數

第四十一條 理事會ノ職務權限左ノ如シ

一 總會ニ付議スベキ議案ノ決定

二 業務ノ執行ニ關スル決定

三 其ノ他理事長ニ於テ必要ト認メタル事項

第四十二條 理事會ハ理事長之ヲ招集ス

理事會ノ議決ハ理事ノ半數以上ノ同意ヲ以テ之ヲ爲ス

理事會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ理事長ハ書面ニ依ル理事ノ表決ヲ以テ理事會ノ決議ニ代フルコトヲ得

第六章 會計

第四十三條 本組合ノ事業年度ハ一年トシ八月一日ニ始リ翌年七月三十一日ニ終ル

第四十四條 理事長ハ毎事業年度ノ終ニ於テ左ノ書類ヲ調製シ通常總會ノ會日ヨリ少クトモ一週間前ニ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フベシ

一 財産目錄

二 收支決算書

三 事業報告書

四 決算殘餘金處分案

第四十五條 監事前條ニ掲ゲタル書類ヲ受理シタルトキハ遲滯ナク之ヲ監査シ意見書ヲ附シテ之ヲ理事長ニ送付スベシ

理事長ハ前條ノ書類及監事ノ意見書ヲ通常總會ニ提出シ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第四十六條 本組合ノ經費ハ組合員ノ負擔トシ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ賦課スルモノトス

第四十七條 組合員本組合ニ支拂フベキ金錢ヲ滯納シタルトキハ理事長ハ期限ヲ指定シテ督促スルモノトス

滯納金ニ對シテハ百圓ニ付一日四錢ノ割合ヲ以テ延滯金ヲ徵收ス

第四十八條 本組合ノ收支豫算及經費ノ分賦收入方法ハ毎年六月通常總會ニ於テ之ヲ議決スルモノトス

第四十九條 第十條第二號ノ事業ヲ行フ場合ニ於ケル收入支出ハ他ノ事業ニ關スル會計ト區分シテ之ヲ經理スルモノトス

第五十條 本組合ニ左ノ帳簿ヲ備フ

一 財産臺帳

二 經費徵收原簿



- 三 出納簿
- 四 其ノ他必要ナル帳簿

第七章 違約處分

- 第五十一條 組合員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ二百圓以上五千圓以下ノ過怠金ヲ課ス
  - 一 第八條第二號又ハ第三號ノ届出ヲ怠リ又ハ不實ノ届出ヲ爲シタルトキ
  - 二 第八條第四號ノ報告若ハ回答ヲ怠リ又ハ不實ノ報告若ハ回答ヲ爲シタルトキ
  - 三 第十一條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ
  - 四 第十三條ノ規定ニ違反シタルトキ
  - 五 第十四條第一項ノ規定ニ違反シ其ノ製造ニ係ル石灰窒素ノ販賣ヲ組合ニ委託セザルトキ
  - 六 第十五條ノ日報ノ提出ヲ怠リ又ハ不實ノ日報ノ提出ヲ爲シタルトキ
  - 七 第十六條ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタルトキ
  - 八 第十八條第一項ノ規程中ニ組合員ノ義務ニ關スル規定ヲ定メタル場合ニ於テ之ニ違反シタルトキ

キ

第五十二條 違約處分ハ總會ニ於テ之ヲ議決ス但シ違約者ハ議決ニ加ハルコトヲ得ズ

第五十三條 違約者ハ總會ノ議決アリタル日ヨリ二週間以内ニ過怠金ヲ組合ニ納付スベシ

第八章 解散

第五十四條 本組合ノ解散ノ決議ハ總會ニ於テ總組合員ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ以テ之ヲ爲ス

第五十五條 本組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル但シ總會ノ決議ニ依リ組合員又ハ組合員タル法人ノ役員ノ中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第五十六條 解散ノ決議ヲ爲ス場合ニ於テハ併セテ殘餘財産ノ處分方法ヲ議決シ商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ受クルモノトス

附 則

本組合ノ設立當時ノ事業年度ハ第四十三條ノ規定ニ拘ラズ設立認可ノ日ヨリ昭和十二年七月三十一日迄トス

〇過磷酸肥料製造業組合定款

(昭和十一年十二月二十四日認可)

第一章 總 則

第一條 本組合ハ過磷酸石灰ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖リ過磷酸石灰製造業ノ改善發達ヲ期スルコトヲ目的トス

第二條 本組合ハ過磷酸肥料製造業組合ト稱ス

第三條 本組合ノ主タル事務所ヲ東京市ニ置キ從タル事務所ヲ大阪市ニ置ク

第四條 本組合ハ重要肥料業統制法ノ規定スル過磷酸石灰製造業ヲ營ム者ヲ以テ之ヲ組織ス但シ重要



肥料業統制法施行地域外ニ於テ過燐酸石灰製造業ヲ營ム者ヲ組合員ト爲スコトヲ得

九二

第五條 本組合ノ公告ハ官報ニ掲載シテ之ヲ爲ス

第六條 本組合ハ定款及總會ノ決議録ヲ各事務所ニ備ヘ且組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クモノトス

組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載ス

- 一 組合員ノ氏名及住所、法人タル組合員ニ在リテハ其ノ名稱、事務所並ニ役員ノ氏名及住所
- 二 組合員ノ過燐酸石灰ノ製造工場ノ所在地及一年間ノ工場別製造能力
- 三 經費徵收ノ基礎ト爲ルベキ事項

組合員名簿ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ理事長ハ遲滞ナク之ヲ訂正スベシ

### 第二章 組合員ノ權利義務

第七條 組合員ハ本組合ニ對シ左ノ權利ヲ有ス

- 一 總會ニ出席シ其ノ議決權ヲ行使スルコト
- 二 定款ノ定ムル所ニ從ヒ役員ヲ選舉シ又ハ役員ニ選舉セララルコト
- 三 組合ノ設備ヲ利用スルコト
- 四 組合ノ業務及財産ノ狀況ニ付理事ノ説明ヲ求メ又ハ組合ノ書類及帳簿ノ閲覽ヲ請求スルコト

第八條 組合員ハ本組合ニ對シ左ノ義務ヲ負フ

一 定款及決議ヲ遵守スルコト

二 左ノ事項ヲ届出ヅルコト

イ 第六條第二項各號ニ掲グル事項

ロ 兼營事業又ハ附帶事業ノ概要

三 前號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク之ヲ届出ヅルコト

四 組合所定ノ報告ヲ爲ス外照會質問ニ對シ速ニ正確ナル回答ヲ爲スコト

五 分賦收入方法ノ定ムル所ニ從ヒ組合ノ經費ヲ負擔スルコト

六 組合解散ノ場合ニ於テ組合ニ債務アルトキハ總會ノ議決スル所ニ依リ其ノ債務ヲ分擔スルコト

第九條 第四條但書ノ規定ニ依リ組合員ト爲リタル者ハ組合ノ承認ヲ得ルニ非ザレバ脱退スルコトヲ得ズ

前項ノ承認ハ總會ニ於テ組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ決ス

### 第三章 事業及其ノ執行

第十條 本組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 過燐酸石灰ノ製造總數量及各組合員ニ對スル其ノ割當ノ決定、販賣價格ノ決定其ノ他生産又ハ販賣ニ關スル決定

二 組合員ノ委託ニ依ル過燐酸石灰ノ販賣但シ前號ノ決定ヲ實行スル爲必要アル場合ニ限ル

九三



三 組合員ノ過燐酸石灰製造業ニ必要ナル物ノ供給  
四 其ノ他組合ノ目的達成上必要ナル事業

第十一條 本組合ガ製造總數量及各組合員ニ對スル其ノ割當ノ決定ヲ爲シタル場合ニ於テハ各組合員ハ其ノ割當テラレタル數量ハ之ヲ製造スベキモノトス但シ已ムコトヲ得ザル事由アル場合ニ於テ組合ノ承認ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ承認ヲ爲シタルトキハ組合ハ遲滞ナク之ヲ商工大臣及農林大臣ニ届出ヅルモノトス

第十二條 本組合ガ製造總數量及各組合員ニ對スル其ノ割當ノ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ組合員ノ製造數量ガ當該決定ニ依リ割當テラレタル製造數量ニ達セザルノ虞アリ爲ニ當該決定ニ依ル製造總數量ニ相當ノ不足ヲ生ズルノ虞アルトキハ組合ハ遲滞ナク割當製造數量ノ變更決定ヲ爲シ其ノ不足見込數量ヲ他ノ製造力ニ餘裕アル組合員ニ割當テ之ガ製造ヲ爲サシムルモノトス

第十三條 第十一條ニ掲グル場合ノ外本組合ガ第十條第一號ノ規定ニ依リ各組合員ニ對シ生産又ハ販賣ニ關スル決定ヲ爲シタル場合ニ於テハ各組合員ハ其ノ決定ニ從フベキモノトス

第十四條 本組合ハ第十條第一號ノ決定ヲ實行スル爲テ必要アリト認ムルトキハ總會ノ決議ヲ以テ各組合員ヲシテ其ノ製造ニ係ル過燐酸石灰ノ販賣ヲ組合ニ委託セシムルコトヲ得

前項ノ決議ハ總組合員ノ三分ノ二以上出席シ其ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ爲ス

第十五條 本組合ハ組合員ノ委託アリタル場合其ノ使用スベキ原料及材料ヲ購入シ之ヲ組合員ニ分ツ

モノトス

第十六條 組合員ハ別ニ定ムル様式ニ依リ其ノ過燐酸石灰ノ原料及製品ノ受拂數量及在庫數量並ニ製品ノ出荷ノ狀況ヲ記載シタル日報ヲ組合ニ提出スベシ

本組合ハ必要アル場合ニ於テハ組合員ニ付前項ニ掲グル事項ノ検査ヲ爲スコトヲ得

第十七條 本組合ハ組合員ノ設備ノ検査ヲ爲スコトヲ得但シ技術上秘密ニ屬スル設備ニシテ豫メ組合ニ届出デ其ノ承認ヲ得タルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十八條 第十六條第二項及前條ノ検査ハ本組合ノ検査員ヲシテ之ヲ行ハシム

第十九條 本組合ハ過燐酸石灰ノ輸出ノ振興ヲ圖ル爲販路ノ調査其ノ他適當ナル方法ヲ講ズルコトヲ得

第二十條 第十條第二號乃至第四號ノ事業ヲ行フ場合ニ於テハ本組合ハ手數料ヲ徴收スルコトヲ得前項ノ手數料ノ額及徴收方法ハ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第二十一條 第十條第一號及第二號ノ事業ノ執行ニ關スル規程ハ總會ノ議決ヲ經テ別ニ之ヲ定ム前項ノ決議ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ爲ス

第四章 役員及顧問

第二十二條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

理事 二十一名以内



監事 四名以内

理事ノ中一名ヲ理事長、七名ヲ常務理事トシ理事ノ互選ヲ以テ之ヲ定ム

第二十三條 理事及監事ハ總會ニ於テ組合員又ハ組合員タル法人ノ役員ノ中ヨリ之ヲ選任ス

特別ノ事由アルトキハ理事又ハ監事ハ前項ニ該當セザル者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第二十四條 理事又ハ監事ニ選任セラレタル者ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ辭スルコトヲ得ズ

第二十五條 理事又ハ監事組合ニ對シ不正ノ行爲アリ又ハ不適任ト認メラルルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

總會ニ於テ理事又ハ監事ノ解任ノ決議ヲ爲シタトキハ同時ニ其ノ後任者ノ選任ノ決議ヲ爲ス

第二十六條 辭任其ノ他ノ事由ニ因リ理事又ハ監事ニ缺員ヲ生ジタルトキハ臨時總會ヲ開キ之ヲ補缺

スルモノトス但シ理事十一名以上監事一名以上存スルトキハ次ノ總會迄其ノ補缺ヲ延期スルコトヲ

得

第二十七條 理事ノ任期ハ二年トシ監事ノ任期ハ一年トス但シ再選ヲ妨ゲズ

理事長及常務理事ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ

補缺ノ爲選任セラレタル者ノ任期ハ其ノ前任者ノ殘任期間トス

役員ハ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就職スル迄ハ引續キ其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十八條 理事長ハ組合ヲ代表シ組合ノ業務ヲ總理ス

常務理事ハ理事長ヲ補佐シ常務ヲ執行ス

理事長事故アルトキハ豫メ理事會ニ於テ決定シタル理事之ヲ代理ス

第二十九條 監事ノ職務左ノ如シ

一 組合ノ財産ノ狀況ヲ監査スルコト

二 理事ノ業務執行ノ狀況ヲ監査スルコト

三 財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ總會又ハ商工大臣及

農林大臣ニ報告スルコト

四 前號ノ報告ヲ爲ス爲必要アルトキハ總會ヲ招集スルコト

五 組合ト理事トノ利益相反スル事項ニ付組合ヲ代表スルコト

六 理事缺ケタルトキ其ノ職務ヲ行フコト但シ其ノ期間ハ三月ヲ超ユルコトヲ得ズ

第三十條 理事及監事ノ報酬及賞與ハ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第三十一條 本組合ニ顧問ヲ置クコトヲ得

顧問ハ豫メ商工大臣及農林大臣ノ承認ヲ得タル者ノ中ヨリ總會ニ於テ之ヲ推薦スルモノトシ其ノ任

期ハ二年トス

第三十二條 顧問ハ理事長ノ諮問ニ應ズルモノトス

第五章 會 議

第五章 會 議



第三十三條 會議ヲ分チテ總會及理事會トス

總會ハ組合員ヲ以テ之ヲ組織シ理事會ハ理事ヲ以テ之ヲ組織ス

第三十四條 通常總會ハ毎年六月及九月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一 理事長必要ト認メタルトキ
- 二 監事第二十九條第四號ニ依リ必要ト認メタルトキ
- 三 第三十七條ニ依リタルトキ

第三十五條 總會ニ於テ議決スベキ事項左ノ如シ

- 一 收支豫算
- 二 經費ノ分賦收入方法
- 三 事業報告及收支決算ノ承認
- 四 決算殘餘金ノ處分
- 五 借入金
- 六 基本財産ノ造成、管理及處分
- 七 第十條第一號ノ決定
- 八 第十條第二號又ハ第三號ノ事業ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ實施計畫及委託方法並ニ手数料ノ額及

#### 徴收方法

九 第十條第四號ノ事業ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ實施計畫並ニ手数料ヲ徴收スル場合ニ於ケル其ノ

#### 額及徴收方法

十 定款ノ變更

十一 役員ノ選任及解任

十二 重要肥料業統制法施行地域外ニ於テ過燐酸石灰ノ製造業ヲ營ム者ノ加入

十三 其ノ他理事長ニ於テ必要ト認メタル事項並ニ法令又ハ定款ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事項

第三十六條 總會ハ理事長之ヲ招集ス

第三十七條 組合員ハ總組合員ノ四分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載

シタル書面ヲ理事長ニ提出シテ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

理事長正當ノ理由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル請求アリタル後二週間以内ニ總會招集ノ手續ヲ爲サザ

ルトキハ請求者ハ商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

第三十八條 總會ヲ招集スルニハ少クトモ十日日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ各組合員ニ通

知スベシ

總會ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ豫メ通知シタル事項ニ付テノミ議決ヲ爲スコトヲ得但シ緊急且輕微  
ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ



第三十九條 總會ハ理事長ヲ以テ議長トス理事長事故アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ代理ス

監事又ハ第三十七條ニ依ル請求者ノ招集シタル總會ハ總會ヲ招集シタル者ヲ以テ議長トス其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

第四十條 總會ノ議事ハ法令又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可非同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス

前項ノ代理人ハ組合員タルコトヲ要ス但シ法人タル組合員ハ其ノ業務ヲ執行スル役員又ハ登記シタル支配人ヲ代理人ト爲スコトヲ得

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ提出スベシ

第四十一條 第三十五條第七號、第十號及第十一號ニ掲グル事項ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

第四十二條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ書面ニ依ル組合員ノ表決ヲ以テ總會ノ議決ニ代フルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ表決ヲ求メントスルトキハ理事長ハ十日ヲ下ラザル期限ヲ定ムベシ期限内ニ到達セザル表決ハ採決ノ數ニ加ヘザルモノトス

第四十三條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノハ

理事長商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ理事長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ報告ヲ爲スベシ

第四十四條 組合員ハ總會ニ於テ各一個ノ議決權ヲ有ス

第四十五條 總會ノ決議錄ハ議長之ヲ作成シ左ノ事項ヲ記載シ議長及出席者二名以上之ニ記名捺印ス

ベシ

一 開會ノ日時及場所

二 總會ヲ組織スル者ノ數

三 出席者數及其ノ氏名又ハ名稱

四 議事ノ要領

五 議決シタル事項及贊否ノ數

第四十六條 理事會ノ職務權限左ノ如シ

一 總會ニ付議スベキ議案ノ決定

二 業務ノ執行ニ關スル決定

三 其ノ他理事長ニ於テ必要ト認メタル事項

第四十七條 理事會ハ理事長之ヲ招集ス

理事會ノ決議ハ出席理事ノ半數以上ノ同意ヲ以テ之ヲ爲ス



理事會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ理事長ハ書面ニ依ル理事ノ表決ヲ以テ理事會ノ議決ニ代フルコトヲ得

第六章 會計

第四十八條 本組合ノ事業年度ハ一年トシ八月一日ニ始リ翌年七月三十一日ニ終ル

第四十九條 理事長ハ毎事業年度ノ終ニ於テ左ノ書類ヲ調製シ通常總會ノ會日ヨリ少クトモ一週間前ニ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フベシ

一 財産目錄

二 收支決算書

三 事業報告書

四 決算殘餘金處分案

第五十條 監事前條ニ掲ゲタル書類ヲ受理シタルトキハ遲滯ナク之ヲ監査シ意見書ヲ附シテ之ヲ理事長ニ送付スベシ

理事長ハ前條ノ書類及監事ノ意見書ヲ通常總會ニ提出シ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第五十一條 本組合ノ經費ハ組合員ノ負擔トシ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ賦課スルモノトス

第五十二條 組合員本組合ニ支拂フベキ金錢ヲ滯納シタルトキハ理事長ハ期限ヲ指定シテ督促スルモノトス

督促ヲ爲シタルトキハ督促手数料トシテ一回ニ付一圓ヲ徴收ス

滯納金ニ對シテハ百圓ニ付一日四錢ノ割合ヲ以テ延滯金ヲ徴收ス

第五十三條 本組合ノ收支豫算及經費ノ分賦收入方法ハ毎年六月通常總會ニ於テ之ヲ議決スルモノトス

第五十四條 第十條第二號ノ事業ヲ行フ場合ニ於ケル收入支出ハ他ノ事業ニ關スル會計ト區分シテ之ヲ經理スルモノトス

第五十五條 本組合ニ左ノ帳簿ヲ備フ

一 財産臺帳

二 經費徵收原簿

三 出納簿

四 其ノ他必要ナル帳簿

第七章 違約處分

第五十六條 組合員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ二百圓以上五千圓以下ノ過怠金ヲ課ス

一 第八條第二號又ハ第三號ノ届出ヲ怠リ又ハ不實ノ届出ヲ爲シタルトキ

二 第八條第四號ノ報告若ハ回答ヲ怠リ又ハ不實ノ報告若ハ回答ヲ爲シタルトキ

三 第十一條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ



- 四 第十三條ノ規定ニ違反シタルトキ
- 五 第十四條第一項ノ規定ニ違反シ其ノ製造ニ係ル過燐酸石灰ノ販賣ヲ組合ニ委託セザルトキ
- 六 第十六條第一項ノ日報ノ提出ヲ怠リ又ハ不實ノ日報ノ提出ヲ爲シタルトキ
- 七 第十六條第二項又ハ第十七條ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタルトキ
- 八 第二十一條第一項ノ規程中ニ組合員ノ義務ニ關スル規定ヲ定メタル場合ニ於テ之ニ違反シタルトキ

第五十七條 違約處分ハ審判委員會第一審部ノ裁決ヲ經テ理事長之ヲ行フ違約處分決定シタルトキハ理事長ハ違約者ノ氏名又ハ名稱及住所、違約事實、過怠金ノ額並ニ手續費用ヲ記載シタル處分書ヲ作成シ之ヲ違約者ニ送付ス

第五十八條 前條ノ處分ニ不服アル者ハ處分書ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ一週間以内ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第五十九條 異議ノ申立アリタルトキハ其ノ申立アリタル日ヨリ一月以内ニ審判委員會第二審部ニ於テ之ヲ裁決ス

前項ノ裁決ニ對シテハ更ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得ズ

第六十條 違約者ハ處分書ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ二週間以内ニ過怠金ヲ納付スベシ但シ異議ノ申立ヲ爲シタルトキハ裁決書ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ一週間以内ニ之ヲ納付スベシ

第六十一條 審判委員會ニ關スル規程ハ總會ノ議決ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

前項ノ決議ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ爲ス

第八章 解 散

第六十二條 本組合ノ解散ノ決議ハ總會ニ於テ總組合員ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ以テ之ヲ爲ス

第六十三條 本組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル但シ總會ノ決議ニ依リ組合員又ハ組合員タル法人ノ役員ノ中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第六十四條 解散ノ決議ヲ爲ス場合ニ於テハ併セテ殘餘財産ノ處分方法ヲ議決シ商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ受クルモノトス

附 則

本組合ノ設立當時ノ事業年度ハ第四十八條ノ規定ニ拘ラズ設立認可ノ日ヨリ昭和十二年七月三十一日迄トス

創立總會ニ於テ選任セラレタル役員ノ任期ハ第二十七條第一項ノ規定ニ拘ラズ理事ニ在リテハ昭和十三年九月ノ通常總會ノ日迄トシ監事ニ在リテハ昭和十二年九月ノ通常總會ノ日迄トス



### 三、臨時肥料配給統制法

(昭和十二年九月九日)  
法律第九十一號

106

第一條 政府ハ支那事變ニ關聯シ肥料ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ適當ト認ムル者ニ對シ肥料ノ配給統制上必要ナル事業ヲ行フベキコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ事業ヲ行フ者ノ監督其ノ他ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ場合ニ於テ政府必要アリト認ムルトキハ肥料製造業者又ハ其ノ組織スル法人ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ製造又ハ取扱ニ係ル肥料ヲ第一項ノ事業ヲ行フ者ニ賣渡スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第二條 政府ハ支那事變ニ關聯シ肥料ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ前條ニ定ムルモノノ外肥料ノ販賣、使用、消費、移動又ハ輸出入ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第三條 政府必要アリト認ムルトキハ肥料ノ製造、取引、保管又ハ運送ヲ業トスル者ニ對シ前二條ノ命令ニ關係アル事項ニ付報告ヲ徵シ又ハ帳簿其ノ他ノ検査ヲ爲スコトヲ得

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第一條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

二 第二條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

第五條 第三條ノ規定ニ違反シ報告ヲ爲サズ、虛偽ノ報告ヲ爲シ又ハ検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六條 肥料製造業者其ノ他肥料ニ關スル業ヲ爲ス者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第七條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

#### 附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ支那事變終了後一年內ニ之ヲ廢止スルモノトス



(一) 臨時肥料配給統制法施行期日ノ件 (昭和十二年十一月二十二日 勅令第六百六十八號)

臨時肥料配給統制法ハ昭和十二年十一月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

(二) 臨時肥料配給統制法施行令 (昭和十二年十一月二十二日 勅令第六百六十九號)

- 第一條 臨時肥料配給統制法第一條ノ適用ヲ受クル肥料ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第二條 臨時肥料配給統制法第一條第一項ノ規定ニ依ル命令ハ肥料ニ關スル業務ヲ主タル目的トスル株式會社ニシテ農林大臣及商工大臣ノ適當ト認ムルモノニ對シテ之ヲ爲ス
- 第三條 臨時肥料配給統制法第一條第一項ノ規定ニ依リ命ズルコトヲ得ベキ事業左ノ如シ
  - 一 肥料製造業者又ハ其ノ組織スル法人ヨリ其ノ製造又ハ取扱ニ係ル肥料ノ買入
  - 二 肥料ノ販賣
  - 三 肥料ノ輸出、輸入、移出又ハ移入

- 四 其ノ他農林大臣及商工大臣肥料ノ配給統制上必要ト認ムル事業
- 第四條 臨時肥料配給統制法第一條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル株式會社(以下單ニ會社ト稱ス)其ノ命ゼラレタル事業以外ノ事業ヲ行ハントスルトキハ農林大臣及商工大臣ノ許可ヲ受クベシ
- 第五條 會社ハ其ノ命ゼラレタル事業ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ業務規程ヲ定メ農林大臣及商工大臣ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ
- 農林大臣及商工大臣必要アリト認ムルトキハ業務規程ノ變更ヲ命ズルコトヲ得
- 第六條 會社ハ農林大臣及商工大臣ノ許可ヲ受ケタル價格ニ依ルニ非ザレバ肥料ノ買入、販賣、輸出、輸入、移出又ハ移入ヲ爲スコトヲ得ズ但シ重要肥料業統制法ニ依リ肥料製造業組合ノ決定實施スル價格ニ依ル買入ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
- 第七條 會社ハ農林大臣及商工大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ肥料ノ販賣、輸出、輸入、移出又ハ移入ニ關シ統制協定ヲ爲スコトヲ得ズ
- 第八條 會社ハ其ノ命ゼラレタル事業ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ事業計畫ヲ定メ農林大臣及商工大臣ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ
- 農林大臣及商工大臣必要アリト認ムルトキハ事業計畫ノ變更ヲ命ズルコトヲ得
- 第九條 會社ノ取締役及監査役ノ選任及解任、定款ノ變更、利益金ノ處分、合併並ニ解散ノ決議ハ農林大臣及商工大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ



第十條 農林大臣及商工大臣ハ會社ニ對シ其ノ命ゼラレタル事業ノ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ命  
ジ又ハ検査ヲ爲スコトヲ得

農林大臣及商工大臣ハ會社ニ對シ其ノ命ゼラレタル事業ノ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ  
發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十一條 農林大臣及商工大臣ハ會社ノ決議法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞  
アリト認ムルトキハ其ノ決議ヲ取消スコトヲ得

農林大臣及商工大臣ハ會社ノ取締役又ハ検査役ノ行爲法令、定款若ハ業務規程ニ違反シ又ハ公益  
ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

取締役又ハ検査役農林大臣及商工大臣ノ爲シタル命令ニ違反シタルトキ亦同ジ

附 則

本令ハ臨時肥料配給統制法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(三) 臨時肥料配給統制法施行規則

(昭和十三年十二月二十七日  
農林、商工省令第六號)

第一條 臨時肥料配給統制法施行令第一條ノ肥料ハ過燐酸石灰(重過燐酸ヲ含ム)トス

第二條 臨時肥料配給統制法第一條第一項ノ規定ニ依ル命令ハ之ヲ告示シ且會社ノ各事務所ノ所在地

ヲ管轄スル登記所ニ之ヲ通知ス臨時肥料配給統制法第一條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ取消シタルト  
キ亦同ジ

第三條 會社臨時肥料配給統制法施行令第四條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ許可申請書ニ當該事業ノ  
概要及收支豫算ヲ記載シタル書類ヲ添附シ之ヲ農林大臣及商工大臣ニ提出スベシ

第四條 左ニ掲グル事項ハ業務規程ヲ以テ之ヲ定ムベシ

- 一 買入方法ニ關スル事項
- 二 販賣方法ニ關スル事項
- 三 受渡ニ關スル事項
- 四 代金決済ニ關スル事項
- 五 取引ノ違約ニ關スル事項



第五條 臨時肥料配給統制法施行令第六條ノ許可申請書ニハ申請價格ノ基礎ヲ明ニスル書面ヲ添附スベシ

第六條 會社臨時肥料配給統制法施行令第七條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ協定事項及統制ノ組織ヲ記載シタル許可申請書ヲ農林大臣及商工大臣ニ提出スベシ

前項ノ許可申請書ニハ統制協定ヲ必要トスル事由ヲ記載シタル書面、統制協定ヲ證スル書面及協定事項ノ基礎ヲ明ニスル書面ヲ添附スベシ

第七條 會社ハ毎年八月一日ヨリ翌年七月三十一日ニ至ル期間ノ事業計畫ヲ定メ六月三十日迄ニ認可申請書ヲ農林大臣及商工大臣ニ提出スベシ但シ第一回ノ事業計畫ニ付テハ臨時肥料配給統制法第一條第一項ノ規定ニ依ル命令アリタル日ヨリ一月内ニ之ヲ提出スベシ

前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 事業計畫ノ概要
- 二 銘柄別ノ買入先別買入豫定數量（月別ニ記載スベシ）
- 三 銘柄別ノ配給先別、配給區域別及月別配給豫定數量
- 四 銘柄別ノ仕向地別、輸出及移出豫定數量（月別ニ記載スベシ）

第一項ノ認可申請書ニハ需給推算其ノ他事業計畫設定ニ關スル基礎資料及説明書ヲ添附スベシ

第八條 會社ハ定時總會ノ會日ヨリ一週間前ニ商法第九十條ニ掲グル書類及株主名簿ヲ農林大臣及

商工大臣ニ提出スベシ

第九條 會社ハ株主總會終結後遲滯ナク其ノ決議録ノ謄本ヲ農林大臣及商工大臣ニ提出スベシ

第十條 會社ハ毎月十日迄ニ其ノ前月ニ於ケル業務ノ狀況ヲ農林大臣及商工大臣ニ報告スベシ

會社ハ每營業期ニ於ケル業務ノ狀況ヲ其ノ營業期經過後遲滯ナク農林大臣及商工大臣ニ報告スベシ

第十一條 臨時肥料配給統制法第一條第三項ノ規定ニ依ル命令ヲ爲ス場合ニ於テハ農林大臣及商工大臣ハ命令ニ從フベキ者ノ資格、賣渡先、賣渡方法其ノ他必要ナル事項ヲ定メ之ヲ告示ス

第十二條 過燐酸石灰製造業者ハ毎年六月三十日迄ニ其ノ年八月一日ヨリ翌年七月三十一日ニ至ル期間ノ月別製造豫定數量ヲ農林大臣及商工大臣竝ニ會社ニ報告スベシ

第十三條 臨時肥料配給統制法施行令又ハ本則ノ規定ニ依リ農林大臣及商工大臣ニ提出スル書類ハ二通ヲ作成シ農林省及商工省ニ各一通ヲ提出スベシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



(四) 粗製加里鹽類ノ輸入及販賣ニ關スル件 (昭和十三年七月十三日 農林、商工省令第三號)

第一條 粗製加里鹽類ノ輸入ヲ爲ス者其ノ輸入ニ係ル粗製加里鹽類ヲ肥料トシテ販賣セントスルトキハ豫メ其ノ販賣先別割當數量ヲ決定シ農林大臣及商工大臣ノ許可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第二條 粗製加里鹽類ノ輸入ヲ爲ス者輸入ヲ爲サントスルトキハ豫メ粗製加里鹽類ノ月別輸入豫定數量及販賣豫定價格ヲ農林大臣及商工大臣ニ届出ヅベシ

第三條 粗製加里鹽類ノ輸入ヲ爲ス者ハ毎月十日迄ニ前月ニ於テ輸入シタル粗製加里鹽類ノ數量及輸入沖着價格竝ニ前月ニ於テ販賣シタル粗製加里鹽類ノ販賣先別數量及價格ヲ農林大臣及商工大臣ニ届出ヅベシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
粗製加里鹽類ノ輸入ヲ爲ス者本令施行前ニ爲シタル販賣契約ニ基キ本令施行後肥料トシテ粗製加里鹽類ノ引渡ヲ爲ス場合ニ於テハ本令施行後遲滯ナク其ノ販賣先別數量ヲ農林大臣及商工大臣ニ届出ヅベシ

(五) 臨時配合肥料ニ關スル件 (昭和十三年十一月二日 農第一五一七號農林次官通牒)

時局ノ進展ニ伴ヒ食糧生産及軍需農産物供給ノ確保等農業生産力ノ維持増進ヲ圖ルノ要愈々緊切ナルモノ有之政府ニ於テハ農業生産上必須ノ物資タル肥料ニ付テハ必要ナル供給ヲ確保シ其ノ配給ヲ圓滑ナラシムル爲諸種ノ措置ヲ講ジ居ル次第ノ處各般ノ情勢ニ鑑ミルニ近キ將來ニ於テ肥料需給關係ノ著シク改善セラルベキコトハ到底之ヲ期待シ難キ實情ナルヲ以テ此ノ際今後ノ事態ノ推移ニ應ジ肥料ノ供給數量ニ即應シテ其ノ配給ヲ計畫的ニ統制シ且其ノ消費ヲ合理的ニ調整スルノ組織ヲ整備スルヲ以テ農業生産確保上刻下ノ急務トスル次第ニ有之配給統制強化ノ方策トシテハ其ノ配給數量ニ付割當制度ノ實施ヲ考慮シ居ル處右割當制度ヲ實施スル場合ニ於テハ各主要肥料ニ付配合肥料トシテ配給セラルル部分ト單肥トシテ配給セラルル部分トノ合計量ニ付之ガ割當ヲ爲スノ方法ニ依ルコトヲ要スル儀ナルガ配合肥料ノ製造ヲ現狀ノ儘トスルニ於テハ到底右方針ニ依ル適當ナル割當數量ノ決定ハ不可能ナルノ實情ニ有之且一面肥料消費調整ノ趣旨ニ基キ肥料需給ノ狀勢ニ照ラシ配合肥料ノ設計内容ニ付考究ヲ要スル點モ有之此際現行ノ道府縣獎勵配合肥料及市販配合肥料ノ配給ハ一時見合セ之ニ代リ配給スベキ現下ノ非常時局ニ對應スル配合肥料ニ付研究シ置クノ必要有之候條別記要項ニ基キ右ノ趣旨ニ依ル配合肥料ノ設計ヲ決定相成十一月二十日迄ニ當省ニ打合セ相成様致度此段及通牒候也



一、配合肥料ノ名稱ハ何々道府縣臨時配合肥料第何號トシ號數ハ通番號トスルコト  
 各號配合肥料ノ作物、土性及地域ニ對スル適應關係並ニ施用方法等ハ之ヲ明確ナラシムルノ措置ヲ  
 講ズルコト

右ノ適應關係ニ付テハ當該配合肥料ヲ其儘二種以上ノ作物、土性又ハ地域ニ適應シ得ル場合其ノ關  
 係ヲ明ニスルハ勿論消費者ニ於テ配給ヲ受ケタル後肥料成分ヲ補足スルコトニ依リ適用シ得ル作  
 物、土性又ハ地域アル場合ニハ其ノ關係ヲモ明確ナラシムルコト

二、配合肥料ノ種類ハ之ヲ少カラシムル方針トシ可成十五種以内トスルコト

三、配合肥料ノ燐酸及加里ノ含有率ハ施肥上支障ナキ限り其ノ節減ヲ圖ルコト

四、配合肥料ニ供用スル原料ノ種類及品位ノ限度並ニ其ノ使用量ヲ明示スルコト

五、配合肥料ノ表示成分量ニ付テハ前項ニ依リ算出スル成分量ニ幾分ノ餘裕ヲ見込ミ決定スルコト

六、配合原料トシテ有機質肥料ヲ使用スル場合ハ低廉豐富ナルモノヲ選擇スルコト

#### 四、硫酸アンモニア増産及配給統制法

(昭和十三年四月一日  
法律第七十號)

第一條 政府ノ認可ヲ受ケ本法施行後五年以内ニ於テ政府ノ指定スル期間内ニ命令ノ定ムル硫酸アン  
 モニア製造設備ノ新設又ハ増設ヲ爲シタル硫酸アンモニア製造業者ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ設備  
 完成ノ年及其ノ翌年ヨリ五年間其ノ設備ヲ以テ營ム硫酸アンモニア製造業ニ付所得税及營業收益稅  
 ヲ免除ス

前項ノ硫酸アンモニア製造業者其ノ設備完成前其ノ設備ノ一部ヲ以テ硫酸アンモニア製造業ヲ營ム  
 場合ニ於テモ其ノ事業ニ付所得税及營業收益稅ヲ免除ス但シ前項ノ規定ニ依ル期間内ニ設備ヲ完成  
 セザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準ズベキモノハ前條ノ規定ニ依リ所得税及營業收益稅ヲ免  
 除セラレタル硫酸アンモニア製造業者ニハ其ノ免除セラレタル事業ニ對シ地方稅ヲ課スルコトヲ得  
 ズ但シ特別ノ事情ニ基キ政府ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 硫酸アンモニア製造業ヲ繼續スル者又ハ其ノ事業ヲ繼續スルモノト認ムベキ事實アル者ハ前  
 事業者ガ本法ニ依ル所得稅及營業收益稅免除期間内ニ在ルトキハ其ノ期間ヲ承繼ス



第四條 第一條第一項ニ規定スル硫酸アンモニア製造業 爲必要ナル器具又ハ機械ヲ政府ノ認可ヲ受ケ輸入スルトキハ本法施行ノ日ヨリ五年間勅令ノ定ムル所ニ依リ輸入税ヲ免除ス

第五條 第一條第一項ニ規定スル硫酸アンモニア製造業ハ土地收用法第二條ノ土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業トシ同法ヲ適用ス

第六條 硫酸アンモニア製造業者タル株式會社ハ事業擴張ノ場合ニ於テ政府ノ認可ヲ受ケ其ノ事業ニ屬スル設備ノ費用ニ充ツル爲株金全額拂込前ト雖モ其ノ資本ヲ増加スルコトヲ得

第七條 硫酸アンモニア製造業者タル株式會社ハ政府ノ認可ヲ受ケ其ノ事業ニ屬スル設備ノ費用ニ充ツル爲商法ニ規定スル制限ヲ超エテ社債ヲ募集スルコトヲ得但シ社債ノ總額ハ拂込ミタル株金額ノ二倍ヲ超ユルコトヲ得ズ

最終ノ貸借對照表ニ依リ會社ニ現存スル財産ガ拂込ミタル株金額ニ滿タザルトキハ前項ノ規定ヲ適用セズ

第一項ノ規定ニ依リ募集スル社債ニ付テハ工場抵當法ニ依リ會社ノ事業ニ屬スルモノヲ抵當ト爲スコトヲ要ス但シ特別ノ事情アル場合ニ於テ政府其ノ必要ナシト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 政府公益上必要アリト認ムルトキハ硫酸アンモニア製造業者ニ對シ硫酸アンモニア製造設備ノ増設又ハ改良ヲ命ズルコトヲ得

政府ハ硫酸アンモニア製造業者ノ行フ硫酸アンモニア製造事業ニ依リ硫酸アンモニアノ供給ヲ確保スルコト困難ナリト認ムルトキハ日本硫酸株式會社ニ對シ硫酸アンモニア製造設備ノ新設、増設又ハ改良ヲ命ズルコトヲ得

政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前二項ノ規定ニ依リ爲シタル命令ニ因リ生ジタル損失ヲ補償ス

前項ノ補償ヲ伴フベキ命令ハ之ニ因リ要スベキ補償金ノ總額ガ帝國議會ノ協贊ヲ經タル金額ヲ超エザル範圍内ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第九條 政府公益上必要アリト認ムルトキハ日本硫酸株式會社ニ對シ硫酸アンモニアノ配給統制上又ハ供給確保上必要ナル事業ヲ行フベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十條 硫酸アンモニア製造業者及命令ヲ以テ定ムル硫酸アンモニアノ取扱ヲ爲ス者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ製造又ハ取扱ニ係ル硫酸アンモニアヲ日本硫酸株式會社ニ賣渡スベシ

第十一條 政府ハ硫酸アンモニア製造業者又ハ前條ニ規定スル硫酸アンモニアノ取扱ヲ爲ス者ニ對シ其ノ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得

第十二條 日本硫酸株式會社ハ硫酸アンモニアノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖ル爲必要ナル事業ヲ營ムコトヲ目的トスル株式會社トス

第十三條 日本硫酸株式會社ノ資本ハ一千萬圓トス但シ政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ増加スルコトヲ得

第十四條 日本硫酸株式會社ハ株金全額拂込前ト雖モ其ノ資本ヲ増加スルコトヲ得

第十五條 日本硫酸株式會社ノ株式ハ記名式トシ政府、公共團體、帝國臣民又ハ帝國法人ニシテ社員、



株主若ハ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上又ハ資本ノ半額以上若ハ議決權ノ過半數ガ外國人又ハ外國法人ニ屬セザルモノニ限り之ヲ所有スルコトヲ得

第十六條 日本硫安株式會社ニ非ザルモノハ日本硫安株式會社又ハ之ニ類似ノ名稱ヲ以テ其ノ商號ト爲スコトヲ得ズ

第十七條 日本硫安株式會社ニ取締役五人以上及監査役二人以上ヲ置ク

取締役ハ株主總會ニ於テ選舉シタル候補者中ヨリ政府之ヲ命ズ

第十八條 日本硫安株式會社ハ左ノ事業ヲ營ムモノトス

一 硫酸アンモニアノ買入及販賣

二 硫酸アンモニアノ輸出、輸入、移出及移入

三 硫酸アンモニアノ製造其ノ他硫酸アンモニアノ供給確保上必要ナル事業但シ硫酸アンモニアノ製造ハ硫酸アンモニア製造業者ノ行フ硫酸アンモニア製造事業ニ依リ硫酸アンモニアノ供給ヲ確保スルコト困難ナリト認メラルル場合ニ限ル

四 其ノ他硫酸アンモニアノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖ル爲必要ナル事業

前項第三號又ハ第四號ニ掲グル事業ヲ營マントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クベシ

第十九條 日本硫安株式會社ハ拂込ミタル株金額ノ五倍ヲ限り硫安債券ヲ發行スルコトヲ得

硫安債券ヲ發行スル場合ニ於テハ商法第二百九條ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要セズ

第二十條 硫安債券ヲ發行セントスル場合ニ於テハ政府ノ認可ヲ受クベシ

第二十一條 政府ハ硫安債券ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ニ付保證スルコトヲ得

第二十二條 硫安債券ハ無記名式トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ因リ記名式ト爲スコトヲ得

第二十三條 硫安債券ノ所有者ハ日本硫安株式會社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス

第二十四條 日本硫安株式會社ハ社債借換ノ爲一時第十九條ノ制限ニ依ラズ硫安債券ヲ發行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ發行後一月以内ニ其ノ社債總額ニ相當スル舊硫安債券ヲ償還スベシ

第二十五條 日本硫安株式會社ハ每營業年度ニ準備金トシテ資本ノ缺損ヲ補フ爲利益金額ノ百分ノ八以上ヲ積立ツベシ

第二十六條 日本硫安株式會社ハ拂込ミタル株金額ニ對シ勅令ヲ以テ定ムル割合ヲ超エテ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十七條 政府ハ日本硫安株式會社ノ業務ヲ監督ス

第二十八條 日本硫安株式會社借入金ヲ爲サントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クベシ

第二十九條 日本硫安株式會社ノ定款ノ變更、利益金ノ處分、合併及解散ノ決議ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第三十條 日本硫安株式會社ハ每營業年度ノ事業計畫ヲ定メ政府ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントス



ルトキ亦同ジ

第三十一條 日本硫安株式會社ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外政府ノ認可ヲ受ケタル價格ニ依ルニ非ザレバ硫酸アンモニアノ買入、販賣、輸出、輸入、移出又ハ移入ヲ爲スコトヲ得ズ

第三十二條 政府ハ日本硫安株式會社ノ業務ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第三十三條 政府ハ日本硫安株式會社監理官ヲ置キ日本硫安株式會社ノ業務ヲ監視セシム

第三十四條 日本硫安株式會社監理官ハ何時ニテモ日本硫安株式會社ノ帳簿書類、金庫其ノ他ノ物件ヲ検査スルコトヲ得

日本硫安株式會社監理官必要ト認ムルトキハ何時ニテモ日本硫安株式會社ニ命ジ業務ニ關スル諸般ノ計算及狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

第三十五條 政府日本硫安株式會社ノ決議又ハ役員ノ行爲ガ法令、法令ニ基キテ爲ス處分若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ役員ヲ解任スルコトヲ得

第三十六條 重要肥料業統制法第十條第一項ノ規定ハ日本硫安株式會社ニ付テハ之ヲ適用セズ

第三十七條 第九條ノ規定ニ依ル命令又ハ第十條若ハ第三十一條ノ規定ニ違反シタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條 第八條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條 第十一條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ報告ヲ爲シ又ハ検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌

避シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十條 人又ハ法人ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第四十一條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第四十二條 左ノ場合ニ於テハ日本硫安株式會社ノ取締役又ハ其ノ職務ヲ行フ監査役ヲ百圓以上二千圓以下ノ過料ニ處ス

一 本法ニ依リ認可ヲ受クベキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ

二 第十八條第一項ノ規定ニ依ラズシテ業務ヲ營ミタルトキ

三 第十九條ノ規定ニ違反シ硫安債券ヲ發行シタルトキ

四 第二十四條ノ規定ニ違反シ硫安債券ノ償還ヲ爲サザルトキ

五 第三十二條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタルトキ

第四十三條 第十六條ノ規定ニ違反シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ過料ニ處ス

第四十四條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二條ノ過料ニ之ヲ準用ス



本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

臨時肥料配給統制法第一條第一項ノ規定ニ依リ硫酸アンモニアノ配給統制上必要ナル事業ヲ行フベキコトヲ命ゼラレタル株式會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リ商法第二百九條ニ定ムル株主總會ノ決議ヲ以テ之ヲ日本硫酸株式會社ト爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ同時ニ名稱ノ變更其ノ他定款ノ變更ノ決議ヲ爲シ且第十七條第二項ノ取締役候補者ノ選舉ヲ行フコトヲ要ス

前二項ノ決議ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第二項ノ決議ナキ場合ニ於テハ政府ハ設立委員ヲ命ジ日本硫酸株式會社ノ設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム

設立委員ハ定款ヲ作成シ政府ノ認可ヲ受クベシ

前二項ニ定ムルモノノ外日本硫酸株式會社ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

登録税法第六條第一項第十一號中「東北興業債券」ノ下ニ「硫酸債券」ヲ加フ

(一) 硫酸アンモニア増産及配給統制法施行期日ノ件 (昭和十三年七月八日 勅令第四百九十五號)

硫酸アンモニア増産及配給統制法ハ昭和十二年七月十一日ヨリ之ヲ施行ス

(二) 硫酸アンモニア増産及配給統制法施行令 (昭和十三年七月八日 勅令第四百九十六號)

第一條 硫酸アンモニア増産及配給統制法第一條第一項ノ認可ハ硫酸アンモニア製造工場毎ニ之ヲ爲スモノトス

第二條 硫酸アンモニア増産及配給統制法第一條第一項ノ硫酸アンモニア製造設備ハ新設ノモノニ在リテハ製造能力一年五萬噸以上、増設ノモノニ在リテハ製造能力一年二萬噸以上ノ能力ヲ有スルコトヲ要ス

第三條 硫酸アンモニア増産及配給統制法第一條ノ規定ニ依リ所得税又ハ營業收益税ノ免除ヲ受ケントスル者ハ所得税法第二十四條又ハ營業收益税法第十一條ノ規定ニ依リ所得又ハ純益金額ヲ申告スルトキ硫酸アンモニア増産及配給統制法第一條第一項ノ認可ヲ受ケタルコトヲ證スル書類ヲ添附シ其ノ旨所轄稅務署ニ申請スベシ



前項ノ場合ニ於テ所得税及營業收益税ノ免除ヲ受クベキ事業ヨリ生ズル所得又ハ純益ト其ノ他ノ所得又ハ純益ト有スルトキハ之ヲ區別シタル計算書ヲ添附スベシ

第四條 硫酸アンモニア増産及配給統制法第四條ノ規定ニ依リ輸入税ノ免除ヲ受クルコトヲ得ベキ器具又ハ機械ハ商工大臣及農林大臣ノ定ムル物品ニシテ豫メ商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ受ケ輸入スルモノニ限ル

第五條 硫酸アンモニア増産及配給統制法第四條ノ規定ニ依リ輸入税ノ免除ヲ受ケントスル者ハ輸入申告書ニ前條ノ認可ヲ受ケタルコトヲ證スル書類ヲ添附スベシ

輸入申告ハ硫酸アンモニア製造業者ノ名ヲ以テスルコトヲ要ス

第六條 輸入税ノ免除ヲ受ケタル器具又ハ機械ヲ硫酸アンモニア増産及配給統制法第四條ノ規定ニ依リ輸入税ノ免除ヲ受クルコトヲ得ベキ他ノ用途ニ供セントスル場合ニ於テハ商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ旨税關ニ申告スルコトヲ要ス

第七條 輸入税ノ免除ヲ受ケタル器具又ハ機械ヲ輸入ノ日ヨリ三年以内ニ目的タル用途又ハ前條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル他ノ用途ニ供セザルトキハ其ノ輸入税ヲ追徴ス但シ已ムヲ得ザル事由ニ因リ其ノ期間ノ延長ニ付商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ旨税關ニ申告シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 日本硫酸株式会社ノ利益ノ配當ハ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ六ヲ超ユルコトヲ得ズ

附 則

本令ハ硫酸アンモニア増産及配給統制法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(三) 硫酸アンモニア増産及配給統制法施行規則 (昭和十三年七月九日 商工、農林省令第一號)

第一條 硫酸アンモニア増産及配給統制法第一條第一項ノ期間ハ認可ノ日ヨリ三年以内ニ於テ商工大臣及農林大臣之ヲ定ム

前項ノ期間ハ商工大臣及農林大臣已ムヲ得ザル事由アリト認ムルトキハ之ヲ延長スルコトアルベシ  
第二條 硫酸アンモニア増産及配給統制法第一條第一項ノ認可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ商工大臣及農林大臣ニ提出スベシ

- 一 工場ノ名稱及位置
- 二 製造設備及主要附屬設備竝ニ其ノ能力
- 三 工事ノ著手及完成ノ豫定期期
- 四 事業開始ノ豫定期期
- 五 製造方法



- 六 原料及電力ノ取得方法
- 七 主要設備ノ設計ノ概要（設計圖ヲ添附スベシ）
- 八 工事費豫算
- 九 事業資金ノ總額及其ノ調達方法
- 十 製造豫定計畫
- 十一 事業收支目論見
- 十二 硫酸アンモニア製造事業以外ノ事業ヲ兼營スル場合ニ於テハ其ノ兼營事業ノ概要  
前項ノ認可申請書ニハ定款、登記簿ノ謄本竝ニ最終ノ財産目錄、貸借對照表、損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書類ヲ添附スベシ
- 第三條 硫酸アンモニア増産及配給統制法第一條第一項ノ認可ヲ受ケタル者工事ニ著手シ又ハ工事ヲ完了シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨商工大臣及農林大臣ニ届出ヅベシ
- 硫酸アンモニア製造業者硫酸アンモニア増産及配給統制法第一條第一項ノ認可ヲ受ケ新設シ又ハ増設シタル設備ヲ以テ硫酸アンモニア製造事業ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨商工大臣及農林大臣ニ届出ヅベシ
- 第四條 硫酸アンモニア増産及配給統制法施行令第四條ノ物品ハ左ニ掲グルモノトス
  - 一 瓦斯發生爐及其ノ附屬裝置竝ニ水ノ電氣分解裝置
  - 二 窒素分離裝置及其ノ附屬機械
  - 三 瓦斯清淨裝置、瓦斯調整裝置及瓦斯轉化裝置竝ニ其ノ附屬機械
  - 四 壓縮機、送風機及ポンプ竝ニ其ノ附屬裝置
  - 五 合成爐及其ノ附屬裝置
  - 六 觸媒ノ製造ニ必要ナル器具又ハ機械
  - 七 硫酸又ハ亞硫酸瓦斯製造ニ必要ナル器具又ハ機械
  - 八 硫酸、亞硫酸瓦斯又ハ石膏トアンモニア瓦斯ノ化合精製ニ必要ナル器具又ハ機械
  - 九 前各號ニ掲グル機械又ハ裝置ノ部分品竝ニ其ノ機械ト共ニ一組トシテ輸入セラルル附屬品、附屬原動機及其ノ原動機ノ附屬裝置

第五條 硫酸アンモニア増産及配給統制法第四條ノ認可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ商工大臣及農林大臣ニ提出スベシ

- 一 輸入セントスル器具又ハ機械ノ品名、型式、能力、數量及價額
- 二 輸入セントスル器具又ハ機械ノ用途及之ヲ使用スベキ工場其ノ他ノ設備ノ説明
- 三 輸入ヲ必要トスル事由
- 四 製造者及輸出者
- 五 輸入豫定ノ時期及港



前項第五號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ豫メ其ノ旨商工大臣及農林大臣ニ届出ヅベシ

第六條 硫酸アンモニア増産及配給統制法第四條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケ輸入ヲ爲シタル者ハ輸入後  
遲滞ナク左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ニ輸入認可書寫ヲ添附シ之ヲ商工大臣及農林大臣ニ提出  
スベシ

- 一 輸入シタル器具又ハ機械ノ品名及數量
- 二 輸入ノ年月日及港

第七條 硫酸アンモニア増産及配給統制法第四條ノ規定ニ依リ輸入税ノ免除ヲ受ケタル器具又ハ機械  
ヲ目的タル用途ニ供シタルトキハ遲滞ナク左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届出書ニ輸入認可書寫ヲ添  
附シ之ヲ商工大臣及農林大臣ニ提出スベシ

- 一 輸入シタル器具又ハ機械ノ品名、數量及用途
- 二 使用工場名及使用時期
- 三 輸入ノ年月日及港

硫酸アンモニア増産及配給統制法第四條ノ規定ニ依リ輸入税ノ免除ヲ受ケタル器具又ハ機械ヲ目的  
タル用途ニ供セザルニ至リタルトキハ遲滞ナク其ノ事由竝ニ前項第一號及第三號ニ掲グル事項ヲ記  
載シタル届出書ニ輸入認可書寫ヲ添附シ之ヲ商工大臣及農林大臣ニ提出スベシ

第八條 硫酸アンモニア増産及配給統制法施行令第六條ノ認可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ

記載シタル認可申請書ニ輸入認可書寫ヲ添附シ之ヲ商工大臣及農林大臣ニ提出スベシ

- 一 用途ヲ變更セントスル器具又ハ機械ノ品名、數量及用途
- 二 變更セントスル用途及當該器具又ハ機械ヲ使用スベキ工場其ノ他ノ設備ノ説明
- 三 用途ヲ變更セントスル事由
- 四 輸入ノ年月日及港

第九條 硫酸アンモニア増産及配給統制法第六條ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載

シタル認可申請書ヲ商工大臣及農林大臣ニ提出スベシ

- 一 増加スベキ資本ノ總額及第一回拂込ノ時期及金額
- 二 資本増加ノ方法
- 三 資本増加ヲ必要トスル事由

前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

- 一 事業擴張ニ關スル説明書
- 二 増加スベキ資本ヲ以テ支辨セントスル設備ノ費用及其ノ設備ノ概要ヲ記載シタル書類（工事  
費計算書ヲ添附スベシ）
- 三 資本増加ニ關スル株主總會ノ決議録ノ謄本
- 四 會社ノ資本及拂込ミタル株金額ノ登記抄本



五 最終ノ貸借對照表

第十條 硫酸アンモニア増産及配給統制法第七條第一項ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ商工大臣及農林大臣ニ提出スベシ

一 社債ノ總額

二 社債募集ノ時期及條件

三 社債募集ヲ必要トスル事由

前項ノ場合ニ於テ擔保附社債信託法ニ依リ社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行セントスルモノナルトキハ認可申請書ニ前項第一號及第三號ニ掲グル事項ノ外左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一 社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル旨ノ表示

二 社債ノ利率ノ最高限度

第一項ノ場合ニ於テ硫酸アンモニア増産及配給統制法第七條第三項但書ノ規定ニ依リ擔保ヲ供セズシテ社債ヲ募集セントスルモノナルトキハ認可申請書ニ第一項各號ニ掲グル事項ノ外擔保ヲ供セザル特別ノ事由ヲ記載スベシ

第十一條 前條ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 社債ヲ以テ支辨セントスル設備ノ費用及其ノ設備ノ概要ヲ記載シタル書類（工事費計算書ヲ添附スベシ）

二 社債募集ニ關スル株主總會ノ決議録ノ謄本

三 會社ノ資本及拂込ミタル株金額ノ登記抄本

四 最終ノ貸借對照表

五 前ニ社債ヲ募集シタルトキハ其ノ償還ヲ了ヘザル總額ノ登記抄本

六 信託證書案

七 工場抵當法ニ依リ抵當トナスベキ物件ノ目錄

八 前號ノ擔保物件ノ帳簿價格ヲ最終ノ財産目錄ノ科目別ニ記載シタル書類

前條第一項ノ場合ニ於テ硫酸アンモニア増産及配給統制法第七條第三項但書ノ規定ニ依リ擔保ヲ供セズシテ社債ヲ募集セントスルモノナルトキハ前條ノ認可申請書ニ前項第一號乃至第五號ニ掲グル書類及社債募集ノ方法ニ關スル説明書ヲ添附スベシ

第十二條 硫酸アンモニア増産及配給統制法第七條第一項ノ認可ヲ受ケタル後信託契約又ハ擔保物件ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク其ノ旨商工大臣及農林大臣ニ届出ヅベシ

第十三條 日本硫酸株式會社ノ成立アリタルトキハ硫酸アンモニアノ製造業者又ハ硫酸アンモニア増産及配給統制法第十條ニ規定スル硫酸アンモニアノ取扱ヲ爲ス者ハ其ノ製造又ハ取扱ニ係ル硫酸アンモニアノ全部ヲ第十四條ノ規定ニ從ヒ日本硫酸株式會社ニ賣渡スベシ

前項ノ硫酸アンモニアノ取扱ヲ爲ス者ノ範圍ハ商工大臣及農林大臣之ヲ告示ス



第十四條 硫酸アンモニアノ製造業者又ハ前條ノ硫酸アンモニアノ取扱ヲ爲ス者ハ日本硫酸株式會社ヨリ價格、數量、受渡時期、受渡場所其ノ他取引上必要ナル事項ヲ指示シテ買入契約ノ申込アリタルトキハ遲滞ナク契約ヲ締結スルコトヲ要ス但シ商工大臣及農林大臣正當ノ事由アリト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

硫酸アンモニアノ製造業者又ハ前條ノ硫酸アンモニアノ取扱ヲ爲ス者ハ前項ノ契約ニ從ヒ日本硫酸株式會社ニ對シ硫酸アンモニアノ引渡ヲ爲スコトヲ要ス

第十五條 硫酸アンモニア製造業者又ハ第十三條ノ硫酸アンモニアノ取扱ヲ爲ス者ハ毎年六月三十日迄ニ其ノ年ノ八月ヨリ翌年七月迄ノ月別製造豫定數量又ハ月別取扱豫定數量ヲ商工大臣又農林大臣竝ニ日本硫酸株式會社ニ報告スベシ

第十六條 硫酸アンモニア増産及配給統制法第三十條ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ當該營業年度開始ノ一月前迄ニ之ヲ商工大臣及農林大臣ニ提出スベシ 但シ第一回ノ事業計畫ニ付テハ日本硫酸株式會社成立ノ日ヨリ一月内ニ之ヲ提出スベシ

- 一 事業計畫ノ概要
- 二 買入先別買入豫定數量（月別ニ記載スベシ）
- 三 硫酸アンモニアノ製造ヲ爲ス場合ニ於テハ月別製造豫定數量
- 四 仕出地別輸入及移入豫定數量（月別ニ記載スベシ）

五 配給先別、配給區域別及月別配給豫定數量

六 仕向地別輸出及移出豫定數量（月別ニ記載スベシ）

前項ノ認可申請書ニハ需給推算其ノ他事業計畫設定ニ關スル基 資料及説明書ヲ添附スベシ

第十七條 日本硫酸株式會社重要肥料業統制法ニ依リ肥料製造業組合ノ決定實施スル價格ニ依リ肥料製造業組合ノ組合員ヨリ其ノ製造ニ係ル硫酸アンモニアノ買入ヲ爲ス場合ニ於テハ硫酸アンモニア増産及配給統制法第二十一條ノ認可ヲ受クルコトヲ要セズ

第十八條 日本硫酸株式會社硫酸アンモニアノ販賣、輸出、輸入、移出又ハ移入ニ關シ統制協定ヲ爲サントスルトキハ商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ認可ヲ受ケントスルトキハ協定事項及統制組織ヲ記載シタル認可申請書ニ統制協定ヲ必要トスル事由ヲ記載シタル書類、統制協定ヲ證スル書類及協定事項ノ基礎ヲ明ニスル書類ヲ添附シ之ヲ商工大臣及農林大臣ニ提出スベシ

第十九條 日本硫酸株式會社ハ其ノ事業執行ニ關スル業務規程ヲ定メ商工大臣及農林大臣ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

業務規程ニハ左ニ掲グル事項ヲ定ムベシ

- 一 買入方法ニ關スル事項
- 二 販賣方法ニ關スル事項



- 三 受渡ニ關スル事項
- 四 代金決済ニ關スル事項
- 五 取引ノ違約ニ關スル事項

第二十條 日本硫安株式會社ハ毎月十日迄ニ其ノ前月ニ於ケル業務ノ狀況ヲ商工大臣及農林大臣ニ報告スベシ

日本硫安株式會社ハ每營業期ニ於ケル業務ノ狀況ヲ其ノ營業期經過後遲滯ナク商工大臣及農林大臣ニ報告スベシ

附 則

本令ハ硫酸アンモニア増産及配給統制法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
 臨時肥料配給統制法第一條第一項ノ規定ニ依リ硫酸アンモニアノ配給統制事業ヲ行フベキコトヲ命ゼ  
 ラレタル株式會社ヲ硫酸アンモニア増産及配給統制法附則第二項ノ規定ニ依リ日本硫安株式會社ト爲  
 スコトヲ得ル期間ハ硫酸アンモニア増産及配給統制法施行ノ日ヨリ二月以内トス  
 硫酸アンモニア増産及配給統制法附則第四項ノ認可ヲ受ケントスルトキハ申請書ニ決議録ノ謄本、株  
 主名簿、最終ノ財産目錄及貸借對照表並ニ取締役候補者ノ氏名ヲ記載シタル書類及履歷書ヲ添附シ之  
 ヲ商工大臣及農林大臣ニ提出スベシ

(附)

日本硫安株式會社定款

第一章 總 則

- 第一條 本會社ハ硫酸アンモニア増産及配給統制法ニヨリ設立シ日本硫安株式會社ト稱ス
- 第二條 本會社ハ硫酸アンモニアノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖ル爲必要ナル事業ヲ營ムヲ以テ目的トス
- 第三條 本會社ノ資本ハ一千萬圓トス但シ政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ増加スルコトヲ得
- 第四條 本會社ハ株金全額拂込前ト雖モ其ノ資本ヲ増加スルコトヲ得
- 第五條 本會社ハ本店ヲ東京市ニ、支店ヲ大阪市ニ置ク
- 第六條 本會社ノ公告ハ官報及本店所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ商業登記事項ヲ公告スル新聞紙ヲ以テス

第二章 株 式

- 第七條 本會社ノ株式ハ二十萬株トシ一株ノ金額ヲ五十圓トス
- 第八條 本會社ノ株式ハ記名式トシ政府、公共團體、帝國臣民又ハ帝國法人ニシテ社員、株主若ハ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上又ハ資本ノ半額以上若ハ議決權ノ過半數ガ外國人又ハ外國法人ニ屬セザルモノニ限り之ヲ所有スルコトヲ得



第九條 本會社ノ株主ニシテ前條ノ資格ヲ喪失シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ會社ニ通知シ且其ノ資格喪失ノ日ヨリ二箇月以内ニ其ノ株式ヲ他ニ讓渡スルコトヲ要ス

株主前項ノ規定ニ違反シテ其ノ株式ノ讓渡ヲ爲サザルトキハ本會社ハ二週間ヲ下ラザル一定ノ期間内ニ其ノ株式ヲ讓渡スベキ旨及讓渡セザルトキハ其ノ株式ヲ本會社ニ提出スベキ旨ノ催告ヲ爲スモノトス

前項ノ規定ニ依リ株式ノ提出ヲ受ケタルトキハ本會社ハ其ノ株式ヲ賣却ス

株主第二項ノ期間内ニ其ノ株式ヲ讓渡セズ又ハ株式ノ提出ヲ爲サザリシ場合ニ於テハ本會社ハ其ノ株式ノ無効ヲ公告シ新株式ヲ發行シテ之ニ依リテ其ノ株式ヲ賣却ス

前四項ノ規定ニ依ル株式ノ讓渡ニ關スル株式ノ名義書換ハ第十八條ノ名義書換停止期間中ト雖モ之ヲ爲スコトヲ得

第三項又ハ第四項ノ賣却ニ依ル賣得金ハ賣却及公告ニ要シタル費用ヲ控除シテ之ヲ從前ノ株主ニ交付ス

第十條 本會社ノ株式ハ一株式、十株式、百株式及千株式ノ四種トス

第十一條 株金拂込ハ一株ニ付第一回ヲ十二圓五十錢トシ第二回以後ノ拂込ノ金額、場所及日時ハ取締役會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 株主株金拂込期間内ニ株金ノ拂込ヲ爲サザルトキハ其ノ拂込ムベキ金額ニ對シ百圓ニ付一日四錢ノ割合ヲ以テ遲延利息ヲ支拂フモノトス

第十三條 株主又ハ其ノ法定代理人ハ株式取得ノトキ其ノ氏名、住所及印鑑ヲ本會社ニ届出ヅベシ其ノ變更アリタルトキ亦同ジ

第十四條 會社其ノ他公私ノ法人ガ本會社ノ株式ヲ所有スルトキハ其ノ代表者ヲ定メ本會社ノ株主名簿ニ之ガ記載ヲ受クベシ其ノ變更アリタルトキ亦同ジ

第十五條 株式ノ讓渡ニ因リ株式ノ名義書換ヲ爲サントスルトキハ本會社所定ノ書式ニ依リ當事者連印ノ書面ヲ作成シ之ニ株式及本會社ニ於テ必要ト認ムル證據書類ヲ添へ本會社ニ其ノ請求ヲ爲スベシ改氏名、相續其ノ他ノ事由ニ因リ株式ノ名義書換ヲ爲サントスルトキ亦同ジ

第十六條 株式ノ種類ノ變更ヲ爲サントスル株主ハ株式引換請求書ニ株式ヲ添へ之ヲ本會社ニ提出スベシ

株式ヲ亡失シタル株主ハ其ノ事由ヲ詳記シタル書面ヲ作成シ本會社ニ於テ適當ト認ムル保證人二名以上ノ連印ヲ以テ本會社ニ新株式交付ノ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ本會社ハ請求者ノ費用ヲ以テ直ニ其ノ旨ヲ公告シ三十日ヲ經ルモ異議ヲ申出ヅル者ナキトキニ限リ新株式ヲ交付ス

株式汚損又ハ毀損シタルトキハ株主ハ其ノ事由ヲ詳記シタル書面ニ株式ヲ添へ本會社ニ之ヲ提出シ新株式ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ本會社其ノ眞偽ヲ鑑別シ難キトキハ株式亡失



ノ例ニ依ル

第十七條 株券ノ名義書換ノ手数料ハ株券一通ニ付二十錢トシ株券ノ引換其ノ他新株券ノ交付ノ手数料ハ新株券一通ニ付五十錢トス

第十八條 本會社ハ毎決算期末日ノ翌日ヨリ其ノ期ノ決算ニ關スル定時株主總會終結ノ日迄株式讓渡ニ因ル株券ノ名義書換ヲ停止ス

前項ノ外特ニ必要アルトキハ豫メ公告ノ上株式ノ讓渡ニ因ル株券ノ名義書換ヲ停止スルコトアルベシ

### 第三章 株主總會

第十九條 定時株主總會ハ毎年九月、臨時株主總會ハ必要ニ應ジ之ヲ招集ス

第二十條 株主ハ本會社ノ他ノ株主ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ本會社ニ委任狀ヲ差出スベシ

第二十一條 總會ノ決議ハ出席シタル株主ノ議決權ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス但シ可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第二十二條 定款ノ變更、合併及解散ノ決議ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼザルモノトス

第二十三條 總會ノ議事ノ要領ハ總會決議錄ニ記載シ議長並ニ出席株主二名以上署名捺印シテ之ヲ本

會社ニ保存ス

### 第四章 役員

第二十四條 本會社ニ取締役五名以上十五名以内、監査役二名以上五名以内ヲ置ク

第二十五條 取締役ハ株主總會ニ於テ選舉シタル候補者中ヨリ政府之ヲ命ズ

第二十六條 監査役ハ株主中ヨリ株主總會ニ於テ選任ス

第二十七條 取締役ハ取締役會ヲ組織シ重要事項ヲ決議ス

第二十八條 株主總會ノ決議ヲ以テ取締役中會社ヲ代表スベキ取締役二名ヲ定ム取締役ノ互選ヲ以テ

取締役會長、社長及專務取締役各一名、常務取締役若干名ヲ置クコトヲ得

第二十九條 取締役會長ハ株主總會及取締役會ノ議長トナル

會長事故アル場合ハ社長又ハ專務取締役之ヲ代行ス

社長ハ取締役會ノ決議ヲ執行シ社務ヲ總理ス

專務取締役及常務取締役ハ社長ヲ輔佐シ會社ノ業務ヲ處理ス

第三十條 取締役會ノ決議ハ取締役ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス

第三十一條 取締役會ノ決議ハ決議錄ニ記載シ議長並ニ出席シタル取締役一名以上ノ署名捺印ヲ得テ之ヲ本會社ニ保存ス

第三十二條 取締役及監査役ノ任期ハ各二年トス但シ其ノ任期ガ任期中ノ最終ノ配當期ニ關スル定時



總會以前ニ終了スル場合ニハ其ノ任期ヲ該總會ノ終了スル迄伸長ス

第三十三條 取締役中缺員ヲ生ジ補缺ノ必要アルトキハ株主總會ニ於テ選舉シタル候補者中ヨリ政府其ノ後任者ヲ命ズ

監査役中缺員ヲ生ジ補缺ノ必要アルトキハ株主總會ニ於テ株主中ヨリ其ノ後任者ヲ選任ス  
補缺ニ依リ就任シタル取締役及監査役ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第三十四條 取締役、監査役ノ報酬ハ株主總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

### 第五章 營業

第三十五條 本會社ハ左ノ事業ヲ爲スモノトス

- 一、硫酸アンモニアノ買入及販賣
  - 二、硫酸アンモニアノ輸出、輸入、移出及移入
  - 三、硫酸アンモニアノ製造其ノ他硫酸アンモニアノ供給確保上必要ナル事業但シ硫酸アンモニアノ製造ハ硫酸アンモニア製造業者ノ行フ硫酸アンモニア製造事業ニ依リ硫酸アンモニアノ供給ヲ確保スルコト困難ナリト認めラルル場合ニ限ル
  - 四、其ノ他硫酸アンモニアノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖ル爲必要ナル事業
- 前項第三號又ハ第四號ニ掲グル事業ヲ營マントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

### 第六章 硫安債券

第三十六條 本會社ハ拂込ミタル株金額ノ五倍ヲ限リ硫安債券ヲ發行スルコトヲ得

硫安債券ヲ發行スル場合ニ於テハ第二十一條ノ規定ニ依ル株主總會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス但シ

商法第二百九條ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要セザルモノトス

第三十七條 硫安債券ヲ發行セントスル場合ニ於テハ政府ノ認可ヲ受クルモノトス

第三十八條 硫安債券ハ無記名式トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ因リ記名式ト爲スコトヲ得

第三十九條 硫安債券ノ所有者ハ本會社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權

利ヲ有ス

第四十條 本會社ハ社債借換ノ爲一時第三十六條ノ制限ニ依ラズ硫安債券ヲ發行スルコトヲ得此ノ場

合ニ於テハ發行後一月以内ニ其ノ社債總額ニ相當スル舊硫安債券ヲ償還スルモノトス

第四十一條 無記名硫安債券ヲ亡失シタルトキハ新債券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ本會社ハ請求人ノ費用ヲ以テ公示催告ノ手續ヲ爲シ無効ノ宣告アリタル後ニ非ザレバ新債券ヲ交付セズ

第四十二條 第十五條ノ規定ハ記名硫安債券ノ名義書換ニ、第十六條第二項及第三項ノ規定ハ記名硫

安債券ヲ發行シタル場合ニ、第十六條第四項ノ規定ハ硫安債券ヲ汚損又ハ毀損シタル場合ニ、第十

七條ノ規定ハ硫安債券ノ名義書換及債券ノ引換其ノ他新債券ノ交付ノ手数料ニ之ヲ準用ス



第七章 計 算

第四十三條 本會社ノ營業年度ハ毎年八月一日ヨリ翌年七月三十一日迄トス

第四十四條 本會社ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ借入金ヲ爲スコトヲ得ズ

第四十五條 本會社ノ利益金ハ當該營業年度ノ總益金ヨリ總損金ヲ控除シタル殘額トス

第四十六條 本會社ノ利益金ハ左ノ方法ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ處分スルモノトス

一、法定準備金 利益金ノ百分ノ八以上

二、別途準備金

三、從業員退職手當積立金

四、役員賞與金

五、利益金ニ前期繰越金ヲ加ヘタル額ヨリ前各號ノ金額ヲ控除シタル殘額ハ之ヲ株主ニ配當シ又ハ後期繰越金ト爲スベシ

第四十七條 株主配當金ハ毎期末日現在ノ株主ニ配當ス

第四十八條 株主配當金ハ年六米ヲ超ユルコトヲ得ズ

第四十九條 株主配當金ハ其ノ支拂開始ノ日ヨリ起算シ五年以内ニ支拂ノ請求ナキトキハ本會社ノ所得トス

五、肥料改善獎勵ニ關スル規則及通牒

(一) 肥料改良獎勵規則 (大正十年四月一日 農商務省令第五號)

第一條 農商務大臣ハ左ニ掲クル道府縣ノ費用ニ對シ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ道府縣ニ獎勵金ヲ交付ス

一 專ラ肥料ノ改良増殖及其ノ使用方法ノ改良ニ關スル獎勵事務ニ従事スル技術員ヲ道府縣ニ設置スル爲ニ要スル費用

二 府縣立農事試驗場ニ於テ施肥標準調査ヲ行フ爲ニ要スル費用

三 北海道又ハ府縣立農事試驗場ノ設置ナキ府縣ニ於テ農商務大臣ノ適當ト認ムル機關ニ依リ前號ニ掲クル調査ヲ行フ爲ニ要スル費用

第二條 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスル道府縣ハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シ前年度ニ月末日迄ニ農商務大臣ニ提出スヘシ

一 事業計畫

二 支出豫算



第三條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ前條各號ニ掲クル事項ヲ變更シタルトキハ直ニソノ旨ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ但シ輕易ナル事項ニ關スル變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ事業成績及決算ヲ翌年度九月三十日迄ニ農商務大臣ニ報告スヘシ

第五條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ノ經費支出額カ第二條ノ添附書類ニ記載シタル豫算額ヨリ減少シタルトキ又ハ事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキハ農商務大臣ハ獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命スルコトアルヘシ

附 則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二條中前年度二月末日迄トアルハ大正十年度ニ限り大正十年六月十日迄トス

(イ) 肥料改良獎勵規則施行ニ關スル件 (大正十年五月二日 農第六七六九號農務局長通牒)

今般農商務省令第五號ヲ以テ肥料改良獎勵規則公布相成候處肥料ハ農業生産ノ基礎ニシテ其ノ供給ノ多寡及施用ノ適否ハ本邦食糧ノ充實其ノ他農産物ノ改良發達ト密接ナル關係ヲ有スルヲ以テ之カ改良増殖及經濟的使用法ノ普及ヲ圖ルハ寸時モ忽ニスルヲ許サズ候條道府縣ニ於テ適當ナル技術者ヲ常置シ専ラ肥料ノ改良増殖ニ關スル指導及獎勵ノ任ニ當ラシメ或ハ施肥標準調査ヲ行ヒ其ノ成績ヲ調査攻究シテ施肥方法ノ改善ニ資シ農家ノ肥料施用法ヲシテ合理的且經濟的ナラシメ以テ一層其ノ効果ヲ増進セシムル様周到ナル指導獎勵ヲ行フ如キハ極メテ緊要ナル施設ト認メ大正十年度ヨリ是等事業ノ發達ヲ助長スル爲道府縣ニ獎勵金ヲ交付スルコトト相成候次第ニ付右本省ノ施設ニ對應シ相當施設相成候様特ニ御配意相成度尙同規則第一條ニ依ル獎勵金ノ交付ハ本省自ラ其ノ必要ヲ認メ交付スル場合ノ外別記ニ依リ取扱フコトト相成候條御了知相成度此段依命及通牒候也

記

第一 規則第一條第一號ノ技術員ハ道府縣廳ニ在勤ノ者タルコトヲ要ス

第二 規則第一條第二號又ハ第三號ノ施肥標準調査ハ別ニ通牒スル事業施行方法ニ準據スルコトヲ要ス

第三 獎勵金ハ左記標準ニ依リ之ヲ交付ス

一 規則第一條第一號ノ技術員ニ付テハ一人ヲ限リ其ノ俸給及旅費ノ二分ノ一以内トス但シ千三百圓ヲ限度トス

二 (昭和十二年六月六日改正)

規則第一條第二號又ハ第三號ノ施肥標準調査ニ付テハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付ス但シ一道府縣總額千三百圓ヲ限度トス

(一) 原地ニ於ケル三要素試験、三要素適量試験又ハ應用試験ニ關シテハ昭和十一年度以降新ニ着



手スルモノニ限り之ニ要スル費用（肥料其ノ他材料費、試験地管理費等）ニ對シ試験地一ヶ所ニ付三十圓以内トス但シ五百圓ヲ限度トス

- (二) 旅費ニ對シテハ二分ノ一以内トス但シ五百圓ヲ限度トス
- (三) 其ノ他ノ費用ニ對シテハ五分ノ一以内トス但シ七百圓ヲ限度トス

第四 獎勵金ハ左記ニ依リ計上シタル經費ニ對シ之ヲ交付ス

- 一 規則第一條第一號ノ技術員ニ關スル經費ハ豫算中ニ其ノ俸給及旅費ヲ他ノ技術員ノ分ト區別シテ明示スルコト

二 規則第一條第二號又ハ第三號ノ施肥標準調査ニ關スル經費ハ府縣立農事試驗場又ハ之ヲ施行スル道府縣ノ機關ノ豫算中ニ特ニ「施肥標準調査費」ナル一目ヲ設ケ別記様式ニ準シ他ノ經費ト區別シテ計上スルコト

大正十年ニ限り特別ノ事由アリト認ムルトキハ前項第二號ノ目ヲ設ケサル場合ト雖右經費ニ該當スルコトヲ明示スル場合ニ限り之ヲ交付スルコトアルヘシ

第五 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル經費ハ之ヲ他ノ經費ニ流用スルコトヲ得ス

第六 獎勵金ハ國庫ヨリ補助金ノ交付ヲ受クル經費ニ對シテハ之ヲ交付セス

第七 規則第一條第一號ノ場合ニ於ケル技術員ハ左ノ資格ノ一ヲ具備スル者タルコトヲ要ス若シ之ニ依リ難キ場合アルトキハ豫メ打合スヘシ

一 帝國大學農學部、農業專門學校又ハ之ト同等以上ノ農業學校ニ於テ農藝化學科又ハ之ニ該當スル學科ヲ卒業シタル者

二 前號ノ學校ニ於テ農學科又ハ之ニ該當スル學科ヲ卒業シタル者ニシテ國立若ハ府縣立農事試驗場又ハ之ニ準スヘキ試驗研究所ニ於テ二年以上肥料ニ關スル試驗研究ノ事務ニ從事シタル者

三 修業年限二年ノ高等小學校卒業程度ヲ入學資格トスル修業年限三年以上ノ農業學校ヲ卒業シタル者ニシテ東京農業大學農藝化學部ヲ卒業シ國立若ハ府縣立農事試驗場又ハ之ニ準スヘキ試驗研究所ニ於テ二年以上肥料ニ關スル試驗研究ノ事務ニ從事シタル者

四 前號ノ農業學校ヲ卒業シタル者ニシテ國立若ハ府縣立農事試驗場又ハ之ニ準スヘキ試驗研究所ニ於テ三年以上肥料ニ關スル試驗研究ノ事務ニ從事シタル者

五 道府縣ニ於テ二年以上肥料検査官吏タリシ者

第八 規則第二條第一號ノ事業計畫ニハ左記事項ヲ記載スルヲ要ス但シ前年度ト異動ナキ事項ニ付テハ其ノ旨附記シテ之カ記載ヲ省略スルコトヲ得

甲 規則第一條第一號ノ技術員ニ關スル事項

一 擔任セシムヘキ事項

二 官職氏名及履歷ノ大要

乙 施肥標準調査ニ關スル事項（省略）



第九 (省略)

(口) 施肥標準調査施行方法ニ關スル件 (昭和二年十月二十七日)

(農局第二四二二號農務局長通牒)

大正十年農商務省令第五號肥料改良獎勵規則ニ據ル大正十年五月一〇農局第六八二號通牒施肥標準調査施行方法ヲ今般左記ノ通變更致候條右御了知相成度此段及通牒候也

施肥標準調査施行方法

一 施肥標準調査ヲ行フニ當リテハ計畫上ノ參考資料トシテ豫メ管内各地ニ於ケル施肥慣行調査ヲ行フコト

二 施肥標準調査ヲ行フヘキ代表的土壤ヲ選定シ其ノ地ニ於テ先ツ原地調査ヲ行フコト

三 原地調査ニ於テ調査スヘキ主ナル事項ハ次ノ如キモノタルコト

一 代表地域内ノ町村及其ノ見込面積並同地域内ニ於ケル稻作、麥作其ノ他特ニ主要ナル作物ノ栽培見込面積及收穫量

一 耕種ノ梗概

一 肥料ノ種類及施肥量

一 施肥ノ回數及時間並施肥法ノ概要

一 灌溉水

一 地質、土性及土層

四 施肥標準調査ハ行政區劃ニ拘泥セスシテ主トシテ管内ノ代表的土壤ニ付施行スルコト

五 施肥標準調査ハ主要農作物ニ付テ行フモノトス

六 作物ノ生育著シク不良ナル地方又ハ團地若ハ從來ノ施肥慣行カ合理的ナラスト認ムル地方ハ可成速ニ着手スルコト

七 施肥標準調査ハ「ポット」試験、原地試験及分析檢定ヲ併セ行フヲ原則トスルコト但シ原地ニ於テ相當ノ管理ヲ爲シ得ル場合ニ於テハ「ポット」試験ニ該當スル試験ヲ直ニ原地ニ於テ行フモ妨ケナシ

八 「ポット」試験ニ於テハ左ノ五區ヲ設ケニ要組試験ヲ行フコト

一 完全區

一 無窒素區

一 無磷酸區

一 無加里區

一 無肥料區

九 三要素試験ハ其ノ成績ヲ調査シ先ツ各種土壤別ニ五區ノ成績ヲ絶對數量ヲ以テ比較シ供試作物ニ依リテ利用セラレ得ル土壤ノ三要素ノ多少ヲ査定シ更ニ各種土壤ニ就テ各該當スル區ヲ完全區



ノ成績ニ對スル差ヲ以テ比較對照シ原地試驗ノ準備或ハ肥料トシテ補給スヘキ三要素量ヲ推定スルノ材料トナスコト

一〇 三要素試驗ニ供用スル土壤中ニハ比較ノ爲農事試驗場所在地ノ土壤ヲモ加フルコト

一一「ポット」試驗ハ三箇年位繼續施行シ其ノ平均ヲ採リ且各年ノ成績ヲ相互比較スルコト

一二「ポット」試驗ニ於テハ同一ノ土壤ニ付同一ノ試驗ヲ少クトモ二組宛行フコト

一三 土壤ノ採收ニハ特ニ前作及施肥ノ關係ヲ注意シ選定地内ニ於テ五箇所以上ノ箇所ヨリ土壤ヲ採集シ(心土ヲ混セサル様特ニ注意シ)能ク混合シ供試土壤トスルコト

一四「ポット」試驗ニ供用スル「ポット」ハ磁製「ポット」ニシテ其ノ大サ一反歩ノ二萬分ノ一ニ相當スルモノヲ用ヒ之ニ施用スル肥料ハ硫酸「アンモニア」、過磷酸石灰、硫酸加里トシ其ノ施用量ハ一「ポット」ニ付三要素トモ何レモ一「グラム」ヲ標準トスルコト但シ土壤ノ性質ニ依リ多少加減ヲ爲スコト

一五「ポット」試驗ニ於テハ必要ト認ムル場合適量ノ炭酸石灰ヲ施用スルコト

一六「ポット」試驗ハ外界ヨリ惡影響ヲ受クルコト少キ様特ニ注意シ可成網室又ハ硝子室ヲ使用スルコト

一七「ポット」試驗ニ供用セシ土壤ハ別ニ化學的及理學的方法ニ依リ左ノ檢定ヲ爲スコト但シ農事試驗場ニ於ケル業務ノ繁閑ニ依リ其ノ一部ヲ省略スルモ妨ナシ

一 水分及灼熱消失量

一 窒素全量及石灰量

一 有効性磷酸及加里ノ量

一 酸度

一 窒素及磷酸ニ對スル吸收率

一 淘汰分析

一八 原地試驗ハ「ポット」試驗ヲ了リタル土壤ノ原地ニ付「ポット」試驗ノ成績ヲ應用シテ之ヲ行フコト但シ「七」ノ但書ノ場合若ハ之ニ準スヘキ特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニアラス

一九 原地試驗ハ可成區數ヲ少クシ一區ノ面積ヲ廣クシ且少クトモ二區平均ノ方法ヲ採リ尙各區ノ周圍ニハ必ス番外列ヲ適當ニ設クルコト

二〇 代表的土壤ヲ採收スルト同時ニ可成其ノ原地ニ於テ無肥料栽培試驗ヲ行ヒ原地ニ於ケル天然生産力ヲ查定スルコト但シ其ノ試驗成績ハ第二年目及第三年目ヲ平均スルコト

二一 原地試驗ニ於テハ少クトモ左ノ四區ヲ設ケテ經濟的施肥量ヲ決定スルコト

一 在來施肥區

一 查定標準區

一 同上増減二區



二二 査定標準區ニ於ケル三要素施用量ハ其ノ地ノ事情ト最モ近似セル土地ノ三要素適量試験成績ニ左ノ事項ヲ加味シテ査定スルコト

- (一) 第八項ノ方法ニヨリテ計算シタル「ポット」試験成績及原地ニ於ケル無肥料栽培試験成績又ハ原地三要素試験成績
- (二) 及原地調査ニ於ケル收穫量
- (三) 及原地調査ニ於ケル收穫量

二三 原地試験ニ供用スル肥料ハ基本肥料トシテ堆肥又ハ綠肥ノ適量ヲ用ヒ販賣肥料ハ可成廉價ナルモノヲ選擇シ之カ應用ニ便ナル様特ニ注意スルコト但シ特殊ノ事情アル土地ニ於テハ此限リニアラス

二四 各肥料ノ用量ハ養分吸收率ニヨリ算出スルコト

二五 原地試験ニ於ケル試験地ノ設定栽培管理等ニ就テハ特ニ相當ノ注意ヲ爲スコト

二六 原地試験ハ三箇年以上五箇年位繼續施行スルコト

二七 農事試験場ノ圃場ニ於テ完全ナル試験方法ニ依リ長期間ニ亘リ三要素適量試験ヲ行フコト

著シク土質氣候ヲ異ニスル爲原地試験設計上前項試験成績ヲ應用スルコト不適當ナリト認めラルル地方ニ付テハ正確ナル成績ヲ得ラルル場合ニ限リ其ノ地ニ於テ前項ト同様ノ試験ヲ行フコト但シ該土壤ヲ「ポット」試験ニ加フルコト

二八 前各項ニ記載スル施肥標準調査方法ニ異ナル點アル場合ト雖農務局長ニ於テ適當ト認めタル

トキハ其ノ方法ニ依リ之ヲ施行スルコトヲ得

(ハ) 施肥標準調査獎勵ニ關スル件

(昭和十一年六月六日 農第六五七四號農務局長通牒)

農産物ノ生産改良上施肥法ノ改善ハ極メテ重要ナル事項ニ有之候處自然的原因ニ依リ局所的ニ複雑ナル變化ノ存スル土壤ノ特質ヲ明ニシ之ニ適當スル施肥法ノ基準ヲ定ムル施肥標準調査ハ施肥法ノ改善上根本ヲ爲スモノト存セラレ候斯ノ見地ニ於テ本省ハ從來道府縣農事試験場ニ於ケル施肥標準調査事業ヲ助成シ來リ相當ノ成績ヲ收メ候處右ハ事情ノ許ス限り周密ニ施行スルノ要アルヲ以テ今回獎勵金ヲ増加交付スルコトト相成候條本省ノ施設ニ相對應シテ適當施設相成度尙獎勵金ノ交付ニ關シテハ大正十年五月二日農第六七六九號肥料改良獎勵規則施行ニ關スル依命通牒別記第三第二號ヲ左記ノ通改正相成特別ノ場合ヲ除ク外右ニ依リ取扱フコトト相成候條御了知相成度依命此段及通牒候也

記

(以下第一四七頁記載ノ大正十年五月二日農第六七六九號肥料改良獎勵規則施行ニ關スル農務局長通牒別記第三第二號ノ通)

(ニ) 肥料改良獎勵事業成績報告ニ關スル件

(大正十一年一月三十日 農局第五號農務局長通牒)

大正十年四月農商務省令第五號肥料改良獎勵規則第四條ノ事業成績ハ別記ニ依リ報告相成度此段及通牒候也



記

- 一 規則第一條第一號ノ技術員ニ關スル事項
- (一) 從事セシ業務ノ大要
- 二 規則第一條第二號又ハ第三號ノ施肥標準調査ニ關スル事項 (省略)
- 規則第一條第二號又ハ第三號ノ施肥標準調査ノ事業計畫書、事業成績書、收支豫算書及收支決算書ハ左記ノ様式ニ準據シ記載スルコト (昭和十一年六月十六日農局第一八一七號農務局長通牒)

様式

第一號 事業計畫書

一 施行計畫

事項	項目	施行地域	供試作物	既ニ終了セルモノ			繼續施行中ノモノ			新ニ施行セントスルモノ		
				町村數	田	畑	町村數	田	畑	町村數	田	畑
施肥慣行調査點數												
原地調査點數												
土壤採收點數												
代表的土壤採收點數												
採收土壤分析點數	化學分析											
理學分析												

三要素	原	地	試驗點數		
			ボ	ツ	ト
原地三要素適量試驗點數					
原地無肥料栽培試驗點數					
原地應用試驗點數					

備考

- 一 「既ニ終了セルモノ」及「繼續施行中ノモノ」トアルハ當該年度ノ前年末現在ノモノヲ記載ノコト
- 二 「新ニ施行セントスルモノ」トアルハ當該年度ニ於テ新ニ着手セントスルモノヲ記載ノコト

二 調査方法

備考

昭和二年十月二十七日農局第二四二二號施肥標準調査施行方法ニ關スル通牒ノ施行方法ニ依ル場合ハ其ノ旨ヲ記載シ之ガ内容ヲ記載スルニ及バズ、之ニ異ナル點アル場合ハ其ノ點ノミヲ明記ノコト

三 原地試驗施行計畫 (試驗地別ニ記載ノコト)

- (一) 三要素試驗、三要素適量試驗及應用試驗ノ別
- (二) 試驗地場所 (郡市町村大字名ヲ記載ノコト)
- (三) 試驗地ノ地目 (田、畑ノ別ヲ記載ノコト) 及供試作物



- (四) 試驗地面積及試驗地區數
- (五) 試驗設計
- (六) 創始年度

四 專任技術員ノ官職氏名及履歷ノ大要

五 其ノ他參考トナルベキ事項

第二號 事業成績書

一 實施點數

事	項	施行地域	供試作物	町村數	田	畑
施肥慣行調查點數	原					
	地					
土壤採取點數	代					
	表					
採收土壤分析點數	化					
	學					
三要素試驗點數	原					
	地					
原	原					
	地					
原	原					
	地					

原	原
地	地
無	無
肥	肥
料	料
裁	裁
培	培
試	試
驗	驗
點	點
數	數
原	原
地	地
應	應
用	用
試	試
驗	驗
點	點
數	數

- 二 施肥慣行調査ヲ施行シタル郡市町村名及其ノ調査成績
- 三 原地調査ヲ施行シタル場所及其ノ調査成績
- 四 土壤採取場所及其ノ地目、地質、土性（代表的土壤ニ對シテハ採取場所ノ上ニ㊦印ヲ記入ノコト）
- 五 採收土壤理化分析成績（代表的土壤ニ對シテハ採取場所ノ上ニ㊦印ヲ記入ノコト）
- 六 ポット三要素試驗土壤採取場所（郡市町村大字名ヲ記載ノコト）、地目、供試作物、創始年度及其ノ試驗成績
- 其ノ試驗成績
- 七 原地三要素試驗地場所（右ニ同シ）、地目、供試作物、創始年度及其ノ試驗成績
- 八 原地三要素適量試驗地場所（右ニ同シ）、地目、供試作物、創始年度及其ノ試驗成績
- 九 原地應用試驗地場所（右ニ同シ）、地目、供試作物、創始年度及其ノ試驗成績
- 十 實施シタル事業及分量カ豫定シタルモノニ對シ著シク相異セル場合ハ其ノ理由

第三號 收支豫算書（收支決算書）

收入ノ部



費目	本年度		前年度		備考
	決算額	預算額	決算額	預算額	
國庫獎勵金					
原地試驗費					
旅費					
其他					
道府縣負擔金					
其他收入					
計					

備考

- 一 備考欄ニ各其ノ費目ノ内譯ヲ明記ノコト
- 二 本年度豫算額(決算額)ガ前年度豫算額(豫算額)ニ比シ著シク相異シタル場合ハ其ノ理由ヲ明記ノコト
- 三 「其ノ他收入」ハ借地ヨリ生ズル生産物ノ賣却ニ依ル收入等ノ如キモノヲ記載ノコト

支出ノ部

費目	本年度		前年度		備考
	決算額	預算額	決算額	預算額	
施肥標準調査費					

費目	本年度		前年度		備考
	決算額	預算額	決算額	預算額	
俸給					一人月又八年 圓 人分
雇員給					一人月 圓 人分
備品料					一人日 圓 人分
備品費					
消耗品費					
借地料					
雜費					
小計					
原地試驗費					
旅費					
合計					

備考

- 一 備考欄ニ各其ノ費目ノ内譯ヲ明記ノコト
- 二 本年度豫算額(決算額)ガ前年度豫算額(豫算額)ニ比シ著シク相異シタル場合ハ其ノ理由ヲ明記ノコト

肥料改良獎勵規則第一條第一號肥料改良獎勵專任技術員設置ニ要スル費用並同第二號及第三號施肥標準調査ニ要スル費用ニ對スル獎勵金交付申請書ハ各別ニ提出スルコト(昭和十一年六月十六日農局第一八一七號農務局長通牒)



(二) 肥料配給改善助成規則 (昭和五年八月一日)  
農林省令第四號)

第一條 農林大臣ハ肥料ノ配給改善ヲ圖ル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ助成金ヲ交付ス

第二條 助成金ハ全國ヲ區域トスル購買組合聯合會(以下全國購買組合聯合會ト稱ス)、道府縣ヲ區域トスル購買組合聯合會(以下道府縣購買組合聯合會ト稱ス)、購買組合、郡農會、市農會、町村農會其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ノ左ニ掲グル費用ニ對シ之ヲ交付ス

一 全國購買組合聯合會ノ役員又ハ職員ニシテ專ラ肥料配給ノ業務ヲ擔當スルモノノ設置ニ要スル費用

二 全國購買組合聯合會ノ肥料配合所又ハ其ノ附屬設備ノ新設、増設、改設又ハ買入ニ要スル費用

三 道府縣購買組合聯合會ノ職員ニシテ專ラ肥料配給ノ業務ヲ擔當スルモノノ設置ニ要スル費用

四 購買組合、郡農會、市農會、町村農會其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ノ肥料配合ニ必要ナル器具機械ノ設置ニ要スル費用

第三條 助成金ノ額ハ前條ノ費用ノ二分ノ一以内トス但シ前條第四號ノ費用ニ對スル助成金ノ額ハ一箇所分千圓ヲ超エザルモノトス

第四條 助成金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

一 事業計畫書

二 第二條ノ費用ノ豫算書

第二條第二號又ハ第四號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ前項ノ書類ノ外設備ノ要領書ヲ添附スベシ

前二項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第五條 助成金交付ノ指令ヲ受ケタル者前條第一項各號又ハ同條第二項ノ書類ニ記載シタル事項ニ重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受クベシ

第六條 第二條第一號又ハ第三號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ費用ノ精算書ヲ翌年度四月三十日迄ニ農林大臣ニ提出スベシ

第七條 第二條第二號又ハ第四號ノ費用ニ對スル助成金交付ノ指令ヲ受ケタル者助成金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ第二條第二號ノ設備ニ在リテハ工事ノ全部若ハ一部ノ終了後又ハ物件買入終了後、

第二條第四號ノ設備ニ在リテハ設置完成後費用ノ精算書ヲ添附シ請求書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第八條 第二條第二號又ハ第四號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ第四條第一項第一號ノ事業計畫書ニ記載シタル目的及用途ニ從ヒ設備ヲ使用スルコトヲ要ス

特別ノ事由ニ因リ前項ノ目的又ハ用途ヲ變更セントスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受クベシ設備ニ重



大ナル變更ヲ加ヘ又ハ設備ヲ廢棄シ若ハ讓渡セントスルトキ亦同ジ

第九條 第二條第二號又ハ第四號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ設備滅失シ又ハ使用スルコト能ハザルニ至リタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ農林大臣ニ届出ヅベシ

第十條 助成金ノ交付ヲ受ケタル全國購買組合聯合會又ハ道府縣購買組合聯合會ハ毎月ノ肥料配給ニ關スル事業ノ狀況ヲ翌月十五日迄ニ農林大臣ニ報告スベシ

第十一條 助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ事業年度經過後遲滯ナク財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分書（産業組合及産業組合聯合會以外ノ團體ニ在リテハ收支決算書及事業報告書）ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第十二條 農林大臣又ハ地方長官ハ必要アリト認ムルトキハ助成金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ何時ニテモ其ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類、帳簿又ハ事業施行若ハ財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十三條 第二條第二號又ハ第四號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケ設置シ又ハ買入レタル設備ノ承繼人ハ第八條、第九條、第十一條、前條及第十六條ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ助成金ノ交付ヲ受ケタル者ト看做ス

第十四條 第八條、第九條、第十一條及第十二條ノ規定ニ依ル義務ノ存續期間ハ第二條第二號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ助成金交付ノ日ヨリ十年間、第二條第四號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ助成金交付ノ日ヨリ三年間トス

第十五條 全國購買組合聯合會ヨリ提出スベキ書類ヲ除クノ外本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ地方長官ヲ經由スベシ

第十六條 助成金交付ノ指令ヲ受ケタル者又ハ助成金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ助成金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル助成金ノ全部若ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本則ノ規定又ハ本則ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルトキ
- 二 助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 四 支出額ガ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四條中二月末日迄トアルハ昭和五年度ニ限り九月三十日迄トス

(イ) 肥料ノ配給改善助成ニ關スル件

(昭和五年八月一日 農第一〇二一九號農務局長通牒)

農業生産必須ノ資源ニシテ農家經濟上極メテ重要ノ地位ニ在ル肥料ニ關シ其ノ配給改善ノ施設ヲ講ズ



ルハ現下農村ノ實情ニ鑑ミ最緊要ナル事項ニ有之政府ハ本年度ヨリ相當豫算ヲ計上シ主トシテ産業組合ノ系統ニ依ル肥料配給改善ノ計畫ヲ樹テ今回之ガ實施ノ爲肥料配給改善助成規則ヲ制定公布相成候ニ付テハ左記事項御了知ノ上本目的達成ノ爲特ニ御配意相成度依命此段及通牒候也

追而本件ニ關スル事務ハ其ノ性質上地方廳ニ於ケル肥料獎勵及産業組合ノ事務トノ關係極メテ密接ナルモノアルヲ以テ特ニ是等事務トノ間ニ於ケル連絡協調ニ御留意相成度爲念申添候

記

- 一 肥料配給改善助成規則第二條第三號ノ費用ニ對スル助成金ハ一道府縣購買組合聯合會ニ付二人以内ノ專任職員ノ俸給及旅費ニ對シ之ヲ交付スルモノトス
- 二 前項ノ職員ニシテ俸給年額千二百圓ヲ超ユルモノハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者タルコトヲ要ス
  - イ 産業組合又ハ産業組合聯合會ノ役職員トシテ三年以上主トシテ購買事業ノ事務ニ從事シ月額八十五圓以上ノ俸給ヲ受ケタル者
  - ロ 一年以上奏任官待遇以上ノ職ニ在リ又ハ三年以上判任官待遇以上ノ職ニ在リテ主トシテ産業組合ニ關スル事務又ハ肥料ノ取締若ハ獎勵ノ事務ニ從事シ月額八十五圓以上ノ俸給ヲ受ケタル者
  - ハ 五年以上肥料取引ニ關スル事務ニ從事シ月額八十五圓以上ノ俸給ヲ受ケタル者
  - ニ 前各號ニ準ズル者
- 三 第一項ノ職員ノ命免ニ付テハ道府縣購買組合聯合會ハ豫メ農務局長ニ打合ヲ爲スコトヲ要ス

- 四 肥料配給改善助成規則第二條第四號ノ費用ニ對スル助成金ハ動力機、粉碎機、粉末機、秤量器等ノ購入費、荷造運搬費及据附費、電気内線工事費並ニ動力傳導裝置費ニ對シ之ヲ交付スルモノトス
- 五 肥料配給改善助成規則第二條第四號ノ費用ニ對スル助成金交付申請書ニ添附スベキ事業計畫書、費用豫算書及設備要領書ハ別紙様式ニ依ルコトヲ要ス（別紙様式ハ一七二頁ヲ參照）
- 六 地方長官助成金交付申請書ヲ受理シタルトキハ事業計畫書其ノ他ノ添附書類ニ付其ノ適否ヲ調査ノ上意見ヲ附シ尙肥料配給改善助成規則第二條第四號ノ費用ニ對スル申請書ニ付テハ順位ヲ定メテ之ヲ進達スルモノトス
- 七 肥料配給改善助成規則第二條第四號ノ設備ノ設置完成シタルトキハ地方長官ハ其ノ指定スル者ヲシテ設備及費用ニ付實地検査ヲ行ハシメ其ノ検査報告書ヲ助成金交付請求書及費用精算書ト共ニ進達スルモノトス
- 八 肥料配給改善助成規則第二條第四號ノ費用ニ對スル助成金交付請求書ニ添附スベキ費用精算書ハ別紙様式中ノ費用豫算書ノ様式ニ準ジ之ヲ作成スルコトヲ要ス

(ロ) 肥料配給改善助成金交付ニ關スル件 (昭和九年二月二十一日 農務局長通牒)

肥料配給改善助成規則第二條第四號ノ費用ニ對スル助成金ハ昭和九年度ヨリ助成ヲ受クベキ團體ニシテ肥料配合設備ニ依リ配合セントスル肥料ノ製造見込數量ガ一ケ年一萬五千噸ヲ超ユルモノニ限リ肥



料配合機並ニ之ニ附屬ノ昇降機、肥料ノ粉碎機及粉末機ヲ聯結スル昇降機並ニ横送機ニ對シテモ之ヲ交付スルコトニ決定候條右御了知ノ上適當御指導相成度又助成スベキ配合機ハ差當リ昭和五年五月大日本農會ノ懸賞ニ入賞シタルモノニ限ル見込ニ有之候條右周知方可然御配意相成度此段及通牒候也

様式

事業計畫書

- 一 事業主體ノ概況
- イ 地 區
- ロ 團體員ノ職業別數及地區内ニ於ケル農業者ノ數
- ハ 肥料ニ關スル事業ノ狀況
- ニ 前號以外ノ主ナル事業ノ概要
- ホ 財務狀況

- 二 前項イ號ノ地區内ニ於ケル肥料ノ需給及取引ノ狀況
- 三 肥料配合設備設置ノ理由
- 四 肥料配合設備ニ依リ配合シタル肥料ノ配給區域及配給ヲ受クベキ者ノ數
- 五 肥料配合設備ニ依リ配合セントスル肥料ノ種類別見込數量
- 六 肥料配合設備ニ依リ配合セントスル肥料ノ原料ノ種類及配合割合ノ決定方法
- 七 肥料配合設備ニ依リ配合シタル肥料ノ賣渡價格ノ決定及其ノ代金ノ徵收方法
- 八 肥料配合事業ノ起業費ノ收支概算
- 九 肥料配合事業ノ收支概算
- 十 其ノ他必要ナル事項

備考

第四項ノ配給區域ガ第一項イ號ノ地區ノ一部ニ限ラルルトキハ其ノ理由ヲ附記スルコト  
費用豫算書

科 目	員 數	單 價	金 額	備 考
購入費				
動力費				何式石油發動機何馬力 何式電 動 機
粉 碎 機				何式何型
粉 末 機				何式何型
臺 秤				何貫秤
荷造運搬費				動力機何圓、粉碎機何圓、粉末機何圓、何々
据 附 費				砂利何立坪何圓、セメント何樽何圓、人夫何
電氣内線工事費				人何圓、何々 配電盤何圓、結線何尺何圓、工事費何圓、何々







- 九 同上ノ肥料配給事業ノ收支概算
- 十 其ノ他必要ナル事項

道府縣購買組合聯合會ノ出資金又ハ所屬組合ノ増加ニ關スル計畫アルトキハ之ヲ記載スルコト

費用豫算書

科 目	金 額	備 考	俸 給		旅 費		計	
			主 事	何 々	主 事	何 々	主 事	何 々
			一 人	年(月)俸何圓 何箇月分	一 人	年(月)俸何圓 何箇月分	一 人	一日ニ付何圓 何日分
			一 人	一日ニ付何圓 何日分	一 人	一日ニ付何圓 何日分	一 人	一日ニ付何圓 何日分

ロ 肥料配給改善助成規則第十條ノ規定ニ依リ道府縣購買組合聯合會ヨリ報告スベキ事業狀況ノ報告様式

肥料事業月報

- 一 種類別仕入先別肥料ノ仕入高(數量及金額)及年度内累計
- 二 種類別肥料ノ賣却高(數量及金額)及年度内累計
- 三 肥料ノ配合事業ヲ行フ場合ニ於テハ配合肥料ノ配合所別製造高及年度内累計
- 四 肥料ノ配給改善ニ關シ實行セル事項ノ概要
- 五 所屬組合及所屬聯合會ノ數竝ニ道府縣購買組合聯合會ヨリ肥料ノ配給ヲ受ケタル組合及聯合會ノ數
- 六 試算表(月末現在)
- 七 其ノ他必要ナル事項
- ハ 昭和五年八月一日農第一〇二一九號農務局長通牒記七ニ依ル検査報告書様式

(昭和六年二月二十五日肥料課長ヨリ道府縣内務部長宛通知)

肥料配合設備竝ニ費用検査報告書

- 一 設置者 道府縣 郡市 町村 字 番地
- 團 體 名
- 二 設置場所 道府縣 郡市 町村 字 番地
- 三 完成期日 昭和 年 月 日



四 設置シタル設備並ニ之ガ費用ニ付實地ニ検査シタル設備ニ付テハ助成金交付申請書ニ添付ノ設備要領書ト、費用ニ付テハ費用精算書ト相違ノ廉ヲ認メズ（設置シタル設備ガ設備要領書記載ト相違セル場合ハ左記但書ニ準ジ記載ノコト）

但シ左記設備ハ設備要領書記載ノモノト相違スルモ效力價值ニ於テ之ト同等以上ト認ム

記

設備ノ種類 粉碎機、動力機、何々等

相違セル點 尾上式Y型三號トアリタルモ尾上式Y型二號ヲ設備セリ

明電舎發動機三馬力トアリタルモ芝浦電動機三馬力ヲ設備セリ等々

五 其ノ他參考トナルベキ事項

六 検査施行年月日

右ノ通相違無之候也

昭和 年 月 日

官職 氏

名 印

(三) 自給肥料改良増産及施用改善獎勵ニ關スル件

(昭和十一年六月六日農第六五七三號農務局長通牒)

自給肥料ノ改良増産及施用方法ノ改善ヲ圖ルハ農村ノ現状ニ鑑ミ極メテ緊要ナル事項ナルヲ以テ從來

之ガ獎勵ニ努メ相當ノ効果ヲ收メ候ヘ共現下農村ノ實情ニ徴シ更ニ一段ト意ヲ用フルノ必要ヲ認メ施設ヲ整備シ之ニ相當スル獎勵金ヲ増加交付スルコトト相成候條本省ノ施設ニ相對應シテ適當施設相成度尙獎勵金ハ特別ノ場合ヲ除ク外別記要項ニ依リ之ヲ取扱ヒ又本施設ノ實施ト共ニ從來施行セラレツツアル綠肥作物増殖獎勵（昭和六年六月二十日農第一〇四五〇號依命通牒）、堆肥改良増産獎勵（昭和七年七月二十九日農一四二五八號依命通牒）及自給肥料改良増産獎勵（昭和七年九月十日農第一七四四九號農林次官通牒）施設ハ之ヲ廢止セラレ候條御了知相成度依命此段及通牒候也

自給肥料改良増産及施用改善獎勵金交付要項

第一 農林大臣ハ自給肥料ノ改良増産及施用方法ノ改善獎勵ノ爲本要項ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス

第二 獎勵金ハ左ニ掲グル道府縣ノ費用又ハ道府縣農會其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ニ交付スル道府縣ノ助成金ニ對シ道府縣ニ之ヲ交付ス但シ同一事項ニ對シ國庫ヨリ獎勵金、補助金又ハ之ニ準ズルモノノ交付ヲ受クル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 自給肥料ノ改良増産及施用方法ノ改善ニ關スル實地指導地ノ設置ヲ爲スニ要スル費用又ハ助成金

二 綠肥作物改良増産ノ爲左ノ一ニ該當スル施設ヲ爲スニ要スル費用又ハ助成金

(一) 綠肥作物種子配付ノ目的ヲ以テスル綠肥作物ノ原種圃又ハ採種圃ノ經營



(二) 綠肥作物種子ノ購入配付

(三) 府縣立農事驗場(北海道ニ在リテハ農林大臣ノ適當ト認ムル機關)ニ於ケル綠肥作物根瘤菌ノ培養配付

三 自給肥料ノ改良増産及施用方法ノ改善ニ關スル講習會、共進會、堆肥製造場等ノ設置助成其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル促進獎勵ニ關スル施設ヲ爲スニ要スル費用又ハ助成金

四 自給肥料ノ改良増産及施用方法ノ改善ニ關スル指導督勵ヲ爲スニ要スル費用又ハ助成金

第三 獎勵金ノ額ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付スルモノトシ一道府縣總額<sup>二</sup>千五百圓ヲ限度トス

一 第二第一號ノ費用又ハ助成金ニ對シテハ實地指導ニ必要ナル材料費及實地指導地管理費ニ對シ實地指導地一反步當五圓以内トシ一道府縣總額二千圓ヲ限度トス

二 第二第二號ノ費用又ハ助成金ニ對シテハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付スルモノトシ一道府縣總額<sup>一</sup>千五百圓ヲ限度トス

(一) 第二第二號(一)ノ費用又ハ助成金ニ對シテハ原種圃又ハ採種圃一反步當十五圓以内

(二) 第二第二號(二)ノ費用又ハ助成金ニ對シテハ購入配付費ノ二分ノ一以内

(三) 第二第二號(三)ノ費用ニ對シテハ一道府縣總額<sup>六千五百</sup>圓以内

三 第二第三號ノ費用又ハ助成金ニ對シテハ一道府縣總額<sup>六千五百</sup>圓ヲ限度トス

四 第二第四號ノ費用又ハ助成金ニ對シテハ一道府縣總額<sup>六千五百</sup>圓ヲ限度トス

第四 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ事業計畫書及收支豫算書(各正副二通)ヲ添附シ前年度二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スヘシ但シ昭和十一年度ニ限り申請書提出期限ハ之ヲ昭和十一年七月三十一日迄トス

第五 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者第四ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ事業成績書及收支決算書(各正副二通)ヲ翌年度七月三十一日迄ニ農林大臣ニ提出スヘシ

第七 不正ノ手段ニ依リ助成金ノ交付ヲ受ケ又ハ受ケントシタル事實ヲ認知シタルトキハ其ノ處分ニ付豫メ農林大臣ニ協議スヘシ

第八 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命スルコトアルヘシ

一 本要項又ハ獎勵金ノ交付條件ニ違反シタルトキ

二 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ

三 支出額カ豫算額ニ比シ減少シタルトキ

自給肥料改良増産及施用改善獎勵金交付要項ノ事業計畫書、事業成績書、收支豫算書及收支決算書ハ左記ノ様式ニ準據シ記載スルコト(昭和十一年六月十六日農局第一八一七號農務局長通牒)



様式

第一號 事業計畫書

一 第二第一號ニ關スル事項

甲 直接事業ノ場合（實地指導地各箇所別ニ記載ノコト）

(一) 實地指導地場所（郡市町村大字名ヲ記載ノコト）

(二) 實地指導ヲ受クヘキ團體ノ名稱及人員

(三) 實地指導地ノ面積（田、畑別ニ記載ノコト）

(四) 實地指導ヲ爲スヘキ事項及實地指導ヲ必要トスル理由

(五) 實地指導ノ方法

(六) 創始年度

乙 助成事業ノ場合

(一) 助成計畫（助成金交付先、助成率及助成金交付先別ニ事業計畫ヲ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト）

(二) 助成金交付規程又ハ交付條件

丙 其ノ他參考トナルヘキ事項

二 第二第二號ニ關スル事項

甲 第二第二號(一)ニ關スル事項

(一) 直接事業ノ場合（種類及品種別ニ記載ノコト）

(イ) 採種圃場所（郡市町村大字名ヲ記載ノコト）

(ロ) 採種圃面積（採種圃場所別ニ記載ノコト）

(ハ) 採種量（同上）

(ニ) 配付種子數量及之カ栽培面積

(ホ) 有償配付、無償配付ノ別（有償配付ノ場合ハ配付單價ヲ記載ノコト）

(ヘ) 配付先

(ト) 配付方法

(二) 助成事業ノ場合

(イ) 助成計畫（助成金交付先、助成率及助成金交付先別ニ事業計畫ヲ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト）

(ロ) 助成金交付規程又ハ交付條件

乙 第二第二號(二)ニ關スル事項

(一) 直接事業ノ場合（種類及品種別ニ記載ノコト）

(イ) 購入種子數量、購入先及購入單價



- (ロ) 配付種子數量及之カ栽培面積
- (ハ) 有償配付、無償配付ノ別(有償配付ノ場合ハ配付單價ヲ記載ノコト)
- (ニ) 配付先
- (ホ) 配付方法

(二) 助成事業ノ場合

- (イ) 助成計畫(助成金交付先、助成率及助成金交付先別ニ事業計畫ヲ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)

(ロ) 助成金交付規程又ハ交付條件

丙 第二第二號(三)ニ關スル事項(種類別ニ記載ノコト)

- (一) 配付數量(培養容器別ニ記載ノコト)
- (二) 接種面積
- (三) 有償配付、無償配付ノ別(有償配付ノ場合ハ配付單價ヲ記載ノコト)
- (四) 配付先
- (五) 培養配付方法

丁 其ノ他參考トナルヘキ事項

三 第二第三號ニ關スル事項

甲 直接事業ノ場合(施設ノ種類別ニ記載ノコト)

- (一) 施設ノ種類
- (二) 施行方法

乙 助成事業ノ場合

- (一) 助成計畫(助成スヘキ施設、助成金交付先、助成率及助成金交付先別ニ事業計畫ヲ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)
- (二) 助成金交付規程又ハ交付條件

丙 其ノ他參考トナルヘキ事項

四 第二第四號ニ關スル事項

甲 直接事業ノ場合

指導督勵ノ方法

乙 助成事業ノ場合

- (一) 助成計畫(助成金交付先、助成率及助成金交付先別ニ事業計畫ヲ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)
  - (二) 助成金交付規程又ハ交付條件
- 丙 其ノ他參考トナルヘキ事項



第二號 事業成績書

一 第二第一號ニ關スル事項

甲 直接事業ノ場合（實地指導地各箇所別ニ記載ノコト）

- (一) 實地指導地場所（郡市町村大字名記載ノコト）
- (二) 實地指導ヲ受ケタル團體ノ名稱及人員
- (三) 實地指導地ノ面積（田、畑別ニ記載ノコト）
- (四) 實地指導ヲ行ヒタル事項
- (五) 實地指導ノ方法
- (六) 實地指導ニ依リ農産物ノ改良増産、地力ノ維持増進及肥料費其ノ他生産費ノ節減等ニ及ホシタル効果（隣接費ト比較シ成可ク具體的ニ記載ノコト）

乙 助成事業ノ場合

（助成金交付先別ニ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト）

- 丙 實施シタル事業及分量ヲ豫定シタルモノニ比シ著シク相異シタル場合ハ其ノ理由
- 丁 其ノ他參考トナルヘキ事項

二 第二第二號ニ關スル事項

甲 第二第二號(一)ニ關スル事項

(一) 直接事業ノ場合（種類及品種別ニ記載ノコト）

(イ) 採種圃場所（郡市町村大字名ヲ記載ノコト）

(ロ) 採種圃面積（採種圃場所別ニ記載ノコト）

(ハ) 採種量（同上）

(ニ) 配付種子數量及之カ栽培面積

(ホ) 有償配付、無償配付ノ別（有償配付ノ場合ハ配付單價ヲ記載ノコト）

(ヘ) 配付先

(ト) 配付方法

(チ) 配付種子ノ栽培成績概要（成可ク具體的ニ記載ノコト）

(二) 助成事業ノ場合

（助成金交付先別ニ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト）

乙 第二第二號(二)ニ關スル事項

(一) 直接事業ノ場合（種類及品種別ニ記載ノコト）

(イ) 購入種子數量、購入先及購入單價

(ロ) 配付種子數量及之カ栽培面積

(ハ) 有償配付、無償配布ノ別（有償配付ノ場合ハ配付單價ヲ記載ノコト）



(ニ) 配付先

(ホ) 配付方法

(ヘ) 配付種子ノ栽培成績概要(成可ク具體的ニ記載ノコト)

(二) 助成事業ノ場合

(助成金交付先別ニ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)

丙 第二第二號(三)ニ關スル事項(種類別ニ記載ノコト)

(一) 配付數量(培養容器別ニ記載ノコト)

接種面積

(三) 有償配付、無償配付ノ別(有償配付ノ場合ハ配付單價ヲ記載ノコト)

配付先

培養配付方法

(六) 根瘤菌接種成績ノ概要(成可ク具體的ニ記載ノコト)

丁 實施シタル事業及分量カ豫定シタルモノニ比シ著シク相異シタル場合ハ其ノ理由

成 其ノ他參考トナルヘキ事項

三 第二第二號ニ關スル事項

甲 直接事業ノ場合(施設ノ種類別ニ記載ノコト)

(一) 施設ノ種類

(二) 事業成績(事業實施ノ結果現ハレタル效果ヲモ記載ノコト)

乙 助成事業ノ場合

(助成金交付先別ニ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)

丙 實施シタル事業及分量カ豫定シタルモノニ比シ著シク相異シタル場合ハ其ノ理由

丁 其ノ他參考トナルヘキ事項

四 第二第四號ニ關スル事項

甲 直接事業ノ場合

指導督勵ノ方法及其ノ成績(事業實施ノ結果現ハレタル效果ヲモ記載ノコト)

乙 助成事業ノ場合

(助成金交付先別ニ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)

丙 實施シタル事業及分量カ豫定シタルモノニ比シ著シク相異シタル場合ハ其ノ理由

丁 其ノ他參考トナルヘキ事項

第三號 收支豫算書(收支決算書)

收入ノ部